

始

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 18 8 0 1 2 3 4 5

CURRENT THOUGHTS

時代思潮と重要諸問題

下
卷

特 214
858



CURRENT THOUGHTS

時代思潮と重要諸問題

下
卷



目 次

第九章	各人は何を読むべきか	I
	H. G. ウイルズ	
第十章	英国の氣候の防禦	15
	マーリー、ボオーデン	
第十一章	世界貿易への日本の躍進	31
	エスアール、エルトリツケ	
第十二章	支那文明の潰滅	44
	ナザーニイル、ペファ	
第十三章	將 介 石	59
	P. Q. R.	
第十四章	極東問題	64
	J. O. D. ブランド	
第十五章	日本はこれを護り権利を	74
	有すりや	
	デヨー、ブロンソニー	
第十六章	次の戦争	98
	ドリエウ、ラ、ロシエル	
第十七章	日本は同盟か 敵か	109
	ドナルド、カースウエル	

第九章 各人は何を読むべきか

H. G. ウイルズ

各人は何を読むべきかの議論は此頃であり、全く当然
で、永久的に困難な物である。私が、少々の小供であつ
た時以來、今迄各人は何を読むべきか、の議論が、揮り
廻して居るのを憶ひ出す事が出来る。

先づ私に各人が、彼、若しくは彼女の生活の毎年、毎月
の幾分かを歴史で読むべきだ。歴史は我々の生活の一部
分である所の終らない大敵である。

各人は歴史の多少、理解を持つべきを除外しては、自己を
理解する事が出来ぬ。勿論ウエリアム征服王を殺した
馬や、羅馬を救つた鷲の旗、人間の世界に住んで居る
カモ知れない、又何等かの歴史的智識なしに、一個の
重要な役割を演ずる事すら得る、併し多少の理解
なしに、ヨクシタ所が、各人に打たばたして居る恐ろ
くは有害な役者である。爾れ生存中、非常な忙しき労働
者でも、非常な忙しき商人でも、カナリ沢山の事を精
読し得るし、又読むべきだ。私は一週間普通の一冊の
本を理解するのハ不合理な要求トハ思はない。故に一
年間各人の四五冊の善い大きな歴史の本を精読出来る

ト云フ理由ハ私ニハ解ラナイ。歴史ハ過去ノ各人ノ物語デアリ。現在ニ於ケル各人ノ物語デモアル。歴史ハ各人ニ等シク関聯シテ居ル。例ヘ歴史ハ異ル使命ニ於ケル異ル人々ニ関係シテ居ルニシテモ、彼等ノ位置が何ンデアラウトモ、最も忙シイ人デモ、或ル歴史ニ関スル読書ノ最少量ヲモ読了シ得ナイト云フ理由ハ私ニハ見出セナイ。

ソシテ特別ナ好物ニナルト、人ノ歴史ニ関スル読書ノ大部分ハ、各人ハ彼、若クバ彼女自身ノ趣味及ビ好奇心ニ従ハネバナラヌ様ニ私ニハ思ハレル。吾人ノ内ノ一人ハ中世史ニ興味ヲ感ジ、他ノ者ハエヂスト史ニ又別ノ者ハ支那ノ歴史ニ興味ヲ感ズルカモ知レナイ。ソシテ私ハ次ノ事ヲ信ズル。即チ正当ナル事ハ興味ガアリ、人間自身ニ生キテ居ル一種ノ歴史ノ本ヲ求メル事及ビ他ノ人ノ趣味及ビ注意ニハ全ク無関係ニ本カラ本ヘト読破シ続ケル事デアル。併シ私ハ各人ハ全体ノ歴史ヲ要約シ及ビ全人類ノ冒險ノ新聞ニ人間生活ヲ置イテ居ル、アル本ヲ絶エズ再三読ムベキデアルト思フ。ソレヲ私ハ一級的な要求トナスドラウ。

各人ハ普通ノ歴史ヲ読ムベキダ。併シ各人ハ幾分ノ普通史ハ読ム必要ナシ。世界史ハ吾人ノ普通ノ物語デアル。世界歴史ハ吾人ノ生活ノ一部分デアル行動デアル。

ソレハオ互ノ関係及ビ義務ノ説明デアル、而シテ私ガ世

界ノ史ヲ読ンダ時、私ハ最も本イ興味ニ於イテ、私ハ人間ノミナラズ人間ノ先祖者及ビ生活全体ノ總ベテノ知識シタ過去ヲ覆フ事ヲ理解シタノデアラウダ。普通史ハ自然史及ビ地球ノ描写及ビ燦爛タル宇宙ノ描写ヲ含ンテ居ル様ニ此処デハ読マレネバナラヌ。一級ノ史エノ発見ノ進歩ノミナラズ発見ノ趨勢及ビ科学的理想ノ発展ト共ニ進ム事ハ今日ノ各人ノ仕事デアル。

次ニ私ハ、新聞ハ読ムベキダト思フ。若シ日刊新聞ガナイアラバ、少クとも週報ヲ、何ントナレバ、正當ナ智識アル男女ニ取ワテハ新聞ハ史ノ生キテ居ル端デアル。其ノニツハオ互ニ（共通ノ物ヲ）抽出シテ居ルカ。ソシテ私が、一ツノ新聞ヲ書ク時ハ私ハニユスヲ供給スル新聞ハ、保険ノ巻、証巻、談、逸話、短話、陽気ナ風、オドケタ字臭及ビ赤兎ハ何故泣クカ、年忌ヘタル未婚ノ男子ハドウシテ樂シイカノ種多ノ談話等ノヨイ事ヲソワト知ラセル一板ノ紙デハナクテ、今日ノ人々特ニ英國人ガ新聞トシテ受ケ入レテ居ル新聞ヲ意味スル、大戦アツテ以来數年間ニ於ケル英國ノ日刊新聞ノ墮落ハ非常ニ顕著ニナツタ。彼等ハニユスヲ段々少ク供給シテ、ソマラナイ読書記事ノ小部分（小片）ノミヲ段々多ク供給スル。今ロンドンハ良ニ善イ新聞ハニツダケ残ワテ居ル、他ノ残りハ、選抜キ記事

及ビ宣伝記事ナドノ隆起ナ雑誌グケデアル。一方アメリカノ日刊新聞ハ彼等ノ供給スルニユースノ感服、階級、公平サニ於イテ確實サガ増大シテ居ル。二十年前ニハ彼等ハ皆(日刊新聞)世界的ニユースノ比較的弱イ制限サレタル論議ヲ揚ナル地方色ノアル新聞デアツタ。

多クノ記事ニ忙シイ一般市民ナカリセバ毎日ノ公刊新聞ヨリモ寧ろ週報ニヨリテ現時迄ニ表ハレタ出来事ニ付イテノ彼ノ考ヘヲ持ツニハ尙遙ニ便利デ有効デアラドウ。彼ハ緻密ナ形ニ於イテ、モツト善イ結果ノ問題ヲ得ル事ガ、出来タラウ。日曜新聞ノ発展ハ尙段々進ンデ居ル。偉大ナルソウンテ強カナル新聞ハ、モハマロンドンタイムズ、デハナクシテイクラカノ英國又ハアメリカノ週刊新聞デアルト云フ時代ハ、タイシテ遠イ末末デアナイ。

各人ハ其ノ階級以内ニテハ世界ノ最も正直ナ、ソシテ痛怪ナ新聞デアル。ロンドンノ「自然」ト云フ週刊新聞若クバ人類ノ智識及ビ偉業ノ総エズ進ンデ居ル世界ニ接觸ヲ保タセテ居ル「科学アメリカ」誌ノヨウナモノヲ読ムベキダト思フ。若シカカル時代のナ物ヲモ讀ミ得ナイハアリトセバソノ時ニハ、カクノ如キ人間ヲ作りホシタ学校ヲ調査シテ有効ナ、モツト高イレベルニ進スツテ直スニ善イ時分デアアル。各人ハ現代ノ社会ニ於テ読マホ

クナラ、又物ヲ私ガ、書イタ時、私ハ勿論其社会ノ学校ハ彼等ノ読書ノタメニ彼等ニ準備シタ事ヲ假定シタ。

楯テ、私ガ前ニ言ツタ如ク、体系トシテアズノ一般の読者カラ區別セバ人々が、読マホバナラヌ特別ナアズハ各個人ノ好ミノ問題ダ。吾人ハ吾々ノ趣味、同情ヲ延バシ、広メル様ニ又各々ノ個々ノ問題ニ光明ヲ得ンガタメニ読書スル。ソシテ人ハアセス及ビアレキサンドリアニ於ケルギリシヤノ科学ノ不思議ナ物語ニ彼ノ精心的食料ト利戦ヲ見出スカモ知レナイ。他ノ物ハ西洋帝国ノ腐敗ニ法律、若クバ秩序ノ運モ、ロオマンテツクナ発見ニ依リ懸セラレテキルカモ知レナイ。

又別ノ人ハ中央アメリカノ中央ニ居住シタ、マーヤ人ノ文化ノ不思議サノ測ヲ究明スルカモ知レナイ。カカル一個ノ撰取シタ興味ニ從フ事及ビ人間ノ想像ニ横ハル場所及ビ人物ニ付イテ記載サレタ総エル物ヲ得ル事、及ビ博物館、遺蹟ヤ記録が見出サレル場所ニ行ク事モ精心及ビ魂ニハ非常ニヨイモノデアアル。各人ハ此ノ趨勢ニ於イテ多少トモ、カカル特別ノアズヲ読ムベキダシ、又從フベキダ、併シ各人ハ同ジアズヲ読ム必要ハナイ。

アル特別ノアズ事實ヲ知ラナカツタタメニ害モ取モナイガ、人ハ彼等ノ幾分モ善ク知ラゲイト尙弱ナ次ニ野鄙ナ生物トナル。人ハ思想ノ同様ニ拡張、慰安、高貴ニス

ル事ノ何ニカハ善イ伝記ヲ読ム事ニヨリテ役立ツノデア
ル。併シ再ビ人間ハ自己ノ内部ノ光ニ従ハネバナラス。
一人ノ人間ハ。ファラアデイ並ニ、アブレハム、リンコル
ンノ伝記ニ生命トインスピレーションヲ見出スカモ知レ
ナイ。別ノ人ニ取ツテハ此等ノ伝記ハ全ク死物デ、無用ナ
本カモ知レナイ。多ク読者ハ決シテ、ホスワエル、ジ
ョンソンニ満足ハシナイ。ガ併シアル人達ニ取ツテハ、
ソレハ寧ろ先紳士ニ、テイナルニ向ヒ合フテ話シテ居ル
様ナ物デアアル。

プロクターノ「伝記」ニ再三登場スル政論記者ノ、セ
ントレザアーノ様ナ偉大ナル政治的識見ノアル婦人ノ
伝記中ニ刺戟ヲ見出ス婦人ヲ私ハ知ツテ居ル。各人ニ取
ツテハ充分ニ世論ニ闘ハル物ヲ持ツテ居ル。

伝記文学中ニ記録サレテ居ル幾人カノ人格者ガアルニ
違イナイ。各人ハ彼氏若クバ彼女ノ異性婚姻ニ関シテホ
メホバナラス。吾人ハ此等ノ増大スル人格的接觸ヲ得ル
事ノ出来ルノハ伝記物ヲ通ジテ、ミデハナイ。
人間ノ興味ヲ持チ、人間ノ理想ヲ清クシ、且ツ新シイ飛
越ヲ開カセル質問ニ基ヅイテ、カト誠實サデ書イタ或ル
人ノ著書ヲ読ム事ニ依ツテ、ソレハ得ラレル。文学ノ全
体ノ階級ヲ誰レモ覆フ事ハ出来ナイシ、又覆フ必要モナ
イ。吾々ノ内ノ一人ノタメニハ、ホルタイマー若シクバ

彼ノ近代ノ同種物、バアナアード シヨウ、別ノ人ニハ
ブラアート、及ビ、ゲイムス、ハアーベイ、ロビンソン又別
ノ人ノタメニハ、ラスキン及ビバアートランド、ラッセ
ィル等々ハ 故意ニ私ハ不釣合ノ名前ヲ引用シタガ

聖書デアアルカモ知レナイ。私ハ此等ノ著者ハ偶然
ニ逢ベク。最後ノ二人ノ名前ノ著者ハ私ハ全ク読ム事ガ
出来ナイ。併シ私ハ最後ノ二人ノ名前ノ著者ガ、流転シ
居ル水ノ源泉デアアル人達ニ取ツテハ、此般モ深遠ナル、
尊敬ヲ持ツテ居ル事ヲ知ルシ又敬フ。各人ハ右書デモ、
現代物デモ称讃サレタ物デモ、禁ジラレタ物デモ、彼若
シクバ彼女ノ心ニ付キ纏フ読ミタイト思フ物ヲ読ムベキ
ダ。而シテ、己ニ答ハル一ツノ苦心ヲ見出シタ時、其ノ
時ハ其著者ニ依リ、又其ノ著者ニ関シテ、又其ノ著者ニ
反対シテ君ガ 出来ル読ム物ヲ得ク。而シテ彼、若シ
クバ彼女ノ一番奥ノ思想ヲ作り、且ツ君自身ノ物ニナワ
タノダト私ハ言フダラウ。

若シ各人が、読マネバナラヌ何ニカ特別ノ本ヲ指名ス
様ニ乞ハレタトシタラ、福音書及ビ「ブラート」ノ「英和
政考」以外ハ何ヲ指名スベキカニ付イテ、私ハソレヲ
疑フ。

私ハ前著ヲ指名スル何ントナレバ福音書ハ本トシテ、
殆ンド余ス所ナク読マレテ居ルトハ思ハナイカラ、少ク

トモ 私ハソレヲ如何ニ高ヒ表ハスデアラウカ
然知シテ、充分ニ大膽ニ読マレテ居ルトハ思ハナイカラ
、多クノ人達ハ今尚福音書ヲ藝術ノ本トシテ又 神話ノ
本トシテ読ンデ居ル。彼等ハ汎汎ノ神学ニ混乱サセラレ
タ彼等ハ此等ノ福音書ニテ、或ル人ガ天ノ王國及ビ神ノ
父ニ付イテ平明ニ偉大ニ何ニカヲ彼等ニ話シテ居ル其ノ
本体ヲ惑ヒ慕フテ居ル。

各人ハ本トシテハ此等ノ本ヲ読ムベキダ。又此等ノ理
想ヲ把握シ様ト試ムベキダ。何ントナレバ彼等ハ健全ナ
ル基礎ノ社会ト政治的見識ガ(包含サレテ)アルカラ。
ソシテ彼等ガ諸君ニ遠イ敬虔ヲ言葉以上ノ深遠ノ意味ガ
何ニモナイ内ハ、諸君ハ到底正シク商売ニ努力スル事ハ
出来ナイシ又正シク金ヲ投資スル事モ清キ一票ヲ投ズル
事モ出来ナイ。ソコデ私ハ アラートノ「共和政治」ヲ
指名スル。何ントナレバソレハ人類設立ニ付イテノ数多
ノ月並的ナ及ビ仮託的ナ見解カラ精心ヲ放フカラ。ソレ
ハ全ク容易ナ読書デハナイ。各々が道理ニ合ヘル「理
窟ヲコネル」ト叫ブカモ知レナイ所ノペーダガアル。
理窟ヲコネテ居ル所ハ多クノ読者が、善ク読ミシヨシ
タ方がヨイト注意サレテイルガ、併シ其ノ本ノ実質ハ全
ク通常デナイ興味ト価値ガアル。

各人ガ読マネバナラヌ物ノ此ノ説明ニ関スル限リ、私

ハ、ホーマー、バナーゲル、シイクスピアー、ミルトン
ガエター若クハズクベカラスル者トシテ真面目ナ若イ人
ヤニ、多ク課セラレテ居ル偉大ナ名前ノ幾人カノ此ノ人
達ヲ述ベル事スラシナイ事ヲ諸君ハ注意スルデアラウ。
私ハ「福音書」ヲ読ンデ見ヨ」ト云フダラウ。

然シ諸君ハ給ベテ此等ノ偉大ナ著者ノ死ニ際シテ
諸君ハ死ガ扱ケルカモ知レナイ。而モ諸君ノ過失デハ
ナイカモ知レナイガ唯ダ諸君ノ見解ノ相違ナノダ。

此等ノ尸體的ナ名士ニ付イテ名ミ徳シナイ様ニシヨウ。
彼等ハ人々ノ首ニ話止ンデ居ル。彼等ハ若イ人達ニハ
重要デアル。彼等ニ反シテ保護スル必要ガアル。ホーマ
ー及ビ、シイクスピアーヲ読マナイ又読ム事ガ出来ナイ人々
ハ何故ニ彼等ノ智的自尊心カラ滅カサレネバナラヌノカ
ノ理由ハナイ。

シイクスピアーハ彼ノ晩年ニハ、ダウエンヲ逐底サシ
タ、タソシテ其ノ偉大ナル自然科学者ハソレヲ(シイクス
ピアーノ著作)クダラナイ作品ダト告白スルノニ充分ナ人
デアツタ。

全ク他ノ理由ノタメニ、シイクスピアーハ諸君ヲ不快ニ
シ、又死嫌ヲ摘ジタカモ知レサイ、ソレニ付イテ取グベ
キ必要ハナイ。個人的ニ付私ハ、フアルスタフ及ビジュ
リエットノ乳母及ビ「真夏ノ夜ノ夢」ノ中ノ人物ヲ余リ

10
感心シナイ。併シ多クノ少女及ビ婦人ハ此等ノ性格上ノ
粗末、不愉快ヲ見出ス。一方私ハ情ニ動キ易イ石筆ノ、
キユーキユー云フ者ト同ジニ愉快ニジユリエツトノ感
震ヲ愉快ナ物ニ見出ス。シエクスピア一ガ喜イタトサ
レル戯曲ハ、彼ガ喜キスハ喜カナカツタ事ニ付イテ、異ツ
タ、真似ベカラザル内容ヲ、カクノ如キ無我無中ニ居ル
所ノ筆テノ感心ナル文筆家ニ非ザル彼ニ依ツテ全部書カ
レタノデハナイ事ガ解ルカラ、ハムレツトノ戯曲及ビソ
レガ如何ナルモノデアルカニ付イテ喜イタ莫大ナ文学ガ
アル。此ノ據テ人ヲ迷ハス戯曲ハ全ク優秀ナ作品デナイ
様ニ思ハレル。ソレハ不出末物が捨テ置カレヌ謎デアル
。人々ハハムレツトガ狂人カ、イツワリノ狂人デアツ
タカ、ドウカモ断定スル事ガ出来得ナイシ、ソシテ全体
ノ戯曲ハ疲レテ居ル人々ニ依リ書カレタカ、又彼ガ選ン
ダ残酷ナ脚色ニ不真面目ニ喜イタカノ影響ニヨリ、彼ハ
脚色ニ飽キテ居ルノミナラズ彼ハ彼ノ世界ニヨリ不真ニ
サレ、イラヤサレタ。人ハカカル事情ノ元ニ属ス事ガ、
適當デアル様ニ彼ハ本題ヲ離レテ枝葉ニ渉ル事、人工的
ナ第二ノ飛行ニ脱奔スル、ハムレツトノ劇ソノ物ノ価値
ガ其ヘルモノハ此等ノ附隨的ニ發生デアル。——ソノ附
隨的ニ發生ヲ味得スル所ノ人々ハ、同時代ノ俳優ノ活氣
アル攻撃ガアル。ソシテボロニウスハ フランシイス、

11
ベーコン卿ノ漫画ヲ優美ナ物ニシテ居ル。
シエクスピアハ彼ノ劇ニ於イテ、オナリ多量ニ嘲弄ヲシ
タ、ソシテ彼ノ同時代ノ多クノ俳優ニ無愛想ナ眼ヲ明カ
ニ持ツテ居タ。沼ニ沈メラレテア^ハツタ独学者及ビ彼等
ノ不用意ナ心ニ不適當ナ不意味ノ傑作ノ強制ニヨリ、
全ク絶望シテ居タ独学者ヲ鼓舞スル無限ケヲ考ヘル事
ハ真ニ非常ニ困難デアル。大芸術品ハ歎息ガ存スル音
樂ニ於ケル歎息ニ同様ニ文学ニ於ケル歎息ハソノ唯一
ノ証明デアル。

偉大ナル作品ノ骨ノ折レル、勤勉ヲ欲スノナイ読書
ハ全ク証明ガナイ。各人ハソレヲ読ムベキダト私が
云フタトシテモ、文学的芸術ノ言葉モアケレバ詩
モナイ。詩ヲ書キ作ツタ事ハ各人ニハ必要デハナイ
。歴史ノ壮大サ、星ノ光彩モ、自然ノ法則ノ不思議
サ、水中ノ波紋等ヲ取り、ソシテ詩ノ助けガナツト
モ花ノ美シサヲ取ル多クノ人々ガアル。「ヘイロオ
メル」ト叫ンデ居ル夜鷹カラー個ノ附加シタ愉快ヲ
引キ抜ク何ノ他ノ人モアリ。ソシテシエリイヲ暗
誦スル事ニ依ツテ、眞金色ノ午後ニ雲雀ノ歌ヲ消ス
人モアル。——何ントアレバ彼等ハ明カニ雲雀ヨリ
モ、シエリイヲ好ムカラ、併シ諸君ハ文学的意見
無シニ見ル事ガ出来ル事實中ニ恥ノ基礎ハナイ。

各人ハイクラカノ小説ヲ読マネバナラヌガラウカ、私ハ其ノ必要ヲ見ナイ。告々ハ今日小説ノ最大ノ推積ノ中ニ生活シテ居ル、ソシテソノ小説ノ推ニ絶エズ増加シテ行く、ドンマト進ンデ行く小説ノ読者ノ大比例ハ單ナル読書ノ破壊デアル又罪惡デアル。

其ノ本ハ麻酔劑トシテ、経験ニ對スル安西ナ破壊トシテ特別ニ青年ニヨリ読マレル。屢々彼等ハ、其ノ本ガ突然彼等カラ取ラレタトシタラ、ソノ本ノ表題及ビ特價ヲ殆ンド名指ス事が出来ナイ様ナ不注意ヲ讀ンデ居ル。

カカル諸君ハ眞ニ空想ヲ助カスル人生ヲ氣取ニスル習慣デアル。總テノカカル物語ハ悉クハ善カレテハ居ナイ。

ロバート、ラウエス、ステブenson及ビマアソホット、ワートソンノ様ナ急入りナ注意深イ着看ハ心ノコノ急進ナ濫用ニ彼等ノ時間ヲ

ソノ様ニウオールトーノスコットモ寫シタ。私ハ子供ラシキ同情アル夢ヨリウエバアーレイ及ビエバンホートニ寫スベキ多クガアルトハ思ハナイ。併シソレハ別ノモノヲ供シナイシ、又小説ノヨリ重大ナ型デモナイ、小説ハ常ニ社会制度ノ批評及ビ行爲ニ付イテノ新シイ思想ノ表現ノ機關トナワタ。

ニニノ学看ラシイ批評家及ビ着看ノ想像ヲ除イテハ、ソレハ純然タル藝術作品デハナカワタ。ソレハ常ニ誇

張的デアツタ。其ノ小説家ハ出来ルダケ平明ニ生キルガ如クニ人及ビ物ニ付イテ彼ガ思フテ居ル事ヲ、諸君ニ誌ス。

フィレデング及ビスモーレワトハ社会ノ重要ナル批評家デアツタ。其ノ彼等ハフオサイス、サガアス及ビプロハワクス代及ビ当今ノバアベワトノ存在ニ元ヅイテ評論ノ評註者ノ長イ線ヲ通ジテ送り渡サレタ。

小説ガ彼ノ質物ヲ助ケル限リ人ハ彼等ヲ讀ムベキダ。併シ私ハ各人が小説ヲ讀ムベキダトハ思ハナイ。ソシテ各人が讀マネバナラヌ總テハ——小説デハナイコトハ確カダ。ソレ故ニ私が此ノ質問ヲ選抜シタ後ニ私ハ此ノ事ヲ離レテ居ル。「各人」ハ習慣的ニ多ク讀ムベキデアル事、世界ノ歴史ノ組織並ビニ宇宙ニ付イテノ多少ノ一級理想ガアルベキデアル事、而モ此等ハ屢々デアル筈ニナワテ居ル事ハ新シク見出シタ本ヲ讀ム事ニ依リ、又彼等ヲ吾イ本ト比較スル事ニ依ツテ、気分ヲ換ニシタ。福音書マアラーノ「天和政治」ガアル筈ダ、

ソシテ其ノ他ノ物ハ個々ノ読者ノ利益及ビ好奇心ノ線ニ沿ヒテ、傳記、識論、誠實ナ小説ノ確實ナ、熱烈ナル読書モアル筈ダ。各人ハソレヲモット一般的ニ讀ムベキダ、ソシテ又ソレハ多クノ相異ガアル、一般歴史、四海同胞ノ偉大ナ、メツセーダ及ビ天ノ玉國、完成シ

夕側度ニ対スル精心的阿諛カラノ解放、總テノ世界ノ出
 未事ハ意志ト理由ノ問題デアルト云フ認識デ、此等ノ物
 ヲ各人ハ読ムベキダ。何ントナレバ此等ノ物ハ普通ノ意
 志及ビ今日行ハレテ居ル人類ノ法則、秩序ノ復興ノ基礎
 ヲ形成スルニ必要デアルカラ、ソシテソレヲ越エテ、人
 類ノ偉大ノ冒険ノ組織内ニ「各人」ハ彼ノ能力並ニ好機
 ヲ極度ニ彼自身ノ個々ノ利益ヲ追求スベキダ。ソシテ
 彼が出来ル物又出来ルダケ多ク読ムベキダ。

第十章 英國の氣候の防禦

マアライ、ボオーデン

英國ノ氣候ハ大變ニ善クナイ評判デアル。英國ノ氣候
 ハ一般ニ非常ニ汚イ物デアル様ニ思ハレテ居ル。英ノ氣
 候ニ付イテ稱揚スル様ナ言葉ヲ述ベル人ハ殆ンドナイ。
 ソシテ私ハ世界デ最モ悪イ氣候デアツタト云フ事ニ同意
 スルノヲ常トシテ居ル。楯テ私ハ英國ノ氣候ハ最モ善ク
 アルト確心スル。例ヘ私ハ此等ノ濕冷ナル、濕氣ノアル
 濕ツタ大氣ノ陰鬱ヲ最高ヲ表現スルノヲ常トスル冬ノ英
 國ノ一日ヲ喜イタニシテモ、私ハ熱心ニ、特別ナ熱心サ
 デ私ノペンヲ取ツタ。何ントナレバ改原者デアルカラ、
 ソシテ改原者デアル事ヲ私ハ話シ又權威ヲ以ツテ、私ハ
 希望スル。

私ハ英國ニ生レタノデハナカツタ。私ハソレヲ
 勿論善イ事トハ思ハナイ。私ハ霧ヲ一吞ニスル事ハ
 出来ナイ。私ノ母ノ乳ヲ吸ヒ私ガ生レテ六ヶ月立ツタ時
 フランネルノナイトガウンヲ濕ス嚼躑トナツタ。太陽ガ
 輝イテ居ル日ニ突然ニ暗夜ニ變化シ、又戸内、戸外ノア
 ラユル物が濡レ、冷モアイスノ箱カラ取出シタカノ如ク
 ニ、觸レルト冷氣ヲ覺ユルト云フ事ハ私ノ幻ニハ、

自然ノ様ニハ 思ハレナカツタ。私ハ十ニ廿カ、ソノ位ノ年令ノ時ニ、大洪水ガ冬毎ニ来ルノゾトモ思ハナイシ又太陽ハ子供ノエニ、月ハ優シイ心ヲ持ツテ居ル人ニ、星ハ望遠鏡ヲ持ツテ居ル老人ニハ輝カナイ様ニ神ガ、願ツタノダト、私ハ信ジテ居タ 私ハ合衆國ノ一部デアアル高イ立派ナスキー場ノアル所ニ生レタ。

其処ノ季節ノ変化ハ鋭イ対照ノ劇的ナ事件デアツタ。其ノ場所ノ畑ハ燃エル太陽デ焦サレタ。ソシテ秋ノ森ハ突然霜ノ一夜デ深紅色ニ塗りツグサレタ。

冬ハ吹雪ヲ齎シ、寒イ静寂サニ、雪ニ囲マレタ谷ヲ包ンダ。ソシテ其ノ爲ニ春ハ一ツノ神秘劇ノ様ニ思ハレル。ソレダカラ私ガ一婦人デアツタ時、ソシテ五月ロンドンデ餘所ニ招カレテ食事ヲシタ時、私ノ腕ハ惹ベテ鷲ノ肉デ針ダラケニ爲ツタ。ソシテ私ノ唯一ノ仲間ハ自分ノ着物ノ押入カラ取出シタ護蹠引キ布、本靴、傘等デアツタ事ヲ見出シタ。私ハ何ンダカ充分ガ善クナイト感ジタ。ソシテ私ハ舌シミ、不平ヲ漏シ、ブルヤ震ヘ、暴レタ。ソシテ此ノ如ク陰鬱ナ意氣銷沈シタモノダカラ私ハ甚ダシイ睡眠ヲ取ツタ。私ガ考ヘタ様ナ絶望カラ、私ハ悪カツタ此ノ睡眠問題、英國ニ於イテ私ニ追付イタ新シイ習慣ハ奇妙デアリ、ソシテソレハ或ル意味ヲ持ツテ居ル、私ハテニス、狩獵ヲスル、アル人達ト同シ

ニ睡眠ヲ取ツタ。何ントナレバ此等ノ魯鈍ニ組織サレタ生キモノノ一人デ、神経質ナ、アメリカ人デアツタカエ私ハ睡眠ヲ必要トシタ。何ントナレバ私ガ必要トシタモノヲ得ク様ニ認メタカラ、英國ノ気候ハ私ノ神経質ノ機関ヲ適当ナ、テンボウニユルメタ、而シテアル精神的熱病ヲ下ゲル様ニ齎ラス保証ヲシテ居ル濡レテ居ル毛布ニ私ヲ包ンダ。ソシテ シカゴ 紐育、モントリオールベルリン、パリ一デ私ニ確カト取付イタ神経質ヲ破壊カラ、私ヲ救ツタ。英國ノ気候ガ世界デ善イモノデアルノハ真理デアアル。何ントナレバ英國ノ気候ハ充分ニ私ヲ圧ヘ付ケルカラ、ソシテソレハ活レテ居ルニシテモ、ソナニ汚レテハ居ナイ、ソレダカラ人間ニ對シテハ、ニツノ事ヲスルノダ

英國ノ気候ハ神経質ナ精力ノ人ニハ、グレーキノ役目ヲ爲スノダ。併シ感覺ヲ優シク鞭ケ、ソシテ英國ノ気候ハ スウープロヲ送ル、スウープノ中ニ入ツテ居ル雷ノル植物ノ汁ヲ送ルカクシ、彼等ノ血管ヲ通シテ、流レテ居ル人間ノ血液ヲ送ル。ソレハ生命ノ通常ノ象ヲ爽カニシ再新ニスル。其ノ影響ノ下ニ生命、ソレノ要素ハ活氣アリ、爆發スル。地球上ノ最モヨイ血液ノ蓄積ハ結果デアアル。何ントナレバ飼育シテ居ル馬及ヒ家畜、ブタ人間ノ養育ハ英國ノ様ナ國ハナイカラ、紐育州ト同様ノ大キサ

ノ事情ノ元ニアルハサイ国デアラガ、併シ他ノ容積ニ於
イテハ無限デアアル。私ハ深い、庭、深い牧場、表キ草、
深キ地ヲ考ヘル、生命ハ此等ノ島デハ臆病、確実及ビ暗
朗ニ、ユラマカニ発展シテ居ル。霧ニ包マレテ居ル海岸
ハソレヲ保護スル壁デアアル。空ノ灰色ノ外套ハ保護シ
テ居ル淋雨園デアアル。ココノ生命ハ次ノ物ヲ潤マス様ニ
日中飛シナイ。ソレハ深い根、大木ノ幹、枝、強イ硬イ
緑ノ葉ヲ持つテ居ルボガアス様ニ注意深ク持ち上リ、ユ
ルマカニ成長スル。

英國ノ気候ハ温室デハナイ。英國ノ気候ハ外国産ノ花
ハデナル植物、華麗ナル鳥若シクバ、マバエイ光沢ノ男女
ヲ作り出サナイ。パラダイスノ鳥モ、果樹園モホクレオ
パトラモ、ムフソリニ一モ塩荒ノアル霧デ浸サレテ居ル
、此ノ朦朧タル霧深キ英國ニハ茂ル事ハ出来ナイ。併シ
堅実ナ優美ナ、然ラテノ作法、更節ナ及ビ空深ナ事ガ
英國ノ気候ノ中ニ茂ル。

ソシテ或ル物ハ非常ニ脆クアリス、綿密デアアル。競馬
及ビ愛ラシイ花ノ様ナ顔ヲシテ居ル長身ノ婦人、櫛ノ木
垣、詩ノ極ナ嗜好、微笑、一年中緑デアアルノンビリトシ
タ緑ノ草、深い水気タツアリノ芳香ノアル草等々モ繁茂
シテ居ルノデアアル。

私ハ此ノ前ノ十二月アメリカニ居リマシタ。私ハ其ノ

大陸ノ半分ヲ渡ツタ。ソシテ ニューヨークカラ シカ
ゴヘノ途中私ハ窓カラ眺メタ、ソシテ身震ヒシタ。何ン
トナレバ其ノ土地ハ硬モテ、砂利ダラケデ石板トシテハ
灰色デアツタ。其ノ土地ニハ頼ラサレテ居ナカツタガ、
私ハ考ヘタ。「其ノ土地ハ死ンデ居ル、其ノ土地ハ雨デ
活潑ニナル事ハ出来ナイ」トソシテ私ハ自分ノ側ニ觸レ
テ居ル冷イ手ヲ感ヅタ。ソシテ私ハ客車ノ内部ノ温度ガ
華氏寒暖計デ150度位デアツタ。

ソシテ私ハ冬ノアメリカノ世界ハ不自然デ、寧ロ恐ロ
シイ世界デアアル様ニ感ヅタ。悪寒ノ如キ頭痛ヲ私ニ興ヘ
タ。併シ、ハドソン河ハ其ノ日ハ恣ケタル鋼鉄ノ橋デア
ツタ。ソシテ ハドソン河ノ下流西岸ノ断崖ハ灰色デ
標デアツタ。ソシテ風ハ北方カラピューピュー吹キ下シ
テ来タ。ソシテ到ル所ニ見ラレル緑ノ葉ハ其ノ地方ニハ
ナカツタシ。又離散シテ居タ荒涼タル農場ノ廻リニスラ
見ラレナカツタ。ソシテ私ハ、アメリカノ西部ノ農場生
活ノ憂鬱サニ付イテ読ンダ小説ヲ思ヒ出シタ。

ソシテ英國ニ於イテハ此ノ時分ハ戶外ニ成長シテ居ル
バラマ色々ノ種類ノ花ガ、アツタノヲ突然思ヒ出シタ。
「私ハ今日 自分ノ庭デ三十種類ノ花ヲ摘ミ取ル事ガ
出来タ」

一人ノ友達ハ私ハ英國ニ帰ツタ時ノ二月私ニ言ツタ。

ソシテ次ノ日ニ月ノ中旬ノ金曜日デアツタノデ 私ハ、
ドライブニ行ツタ、ソウシテ ウイリントソ兵營ノ門ヲ
通りナガラ、簡畧ナ服衣ヲ速歩ニ着テ居ル一團ノ兵
隊ヲ見タ。ソレカラ ハイドパークノ円池ヲ被等ノホ
ートヲ潜イデ居ル子供ヲ見タ。ソシテ緑ノ園ニ伸進ンデ
行クト、白クフランネルヲ着テ居ル若イ沢山ノ人達が到
ル所テ テニス遊ビマ蹴球ゲームヲシテ居ルノヲ見タ。
ソシテ、ゴルフ道ハ人々ヲ臭綴シテ居タ。全世人ハ戶外
ニアツタ。老人スラモ戶外ニ在ツタ。何時モノ様ニ彼等
ハ橋ノ所カラ奥取リヲシタリ、ボート漕ギヲシタリ、又
テムス河ノ堤ノ上ニ座シテ居タ。ソシテ柔カイ灰色ノ
雲ヲ通シテ見エテ居ル、バラノ様ナ光ノアル。陽氣ナ日
デ 総ベテノ乳光ヲ発シテ居ル日デアツタ。

ソシテ私ハ、英国、愛蘭、スコットランドノ到ル所デ
同ジ事ガ 起ツテ居タノヲ知ツテキル。真冬ノ金曜日ノ
午後、全住民ハ市外デ休息ヲ取ツテ居タ。圧遣サル芝生
ノ上ヲ突進シテ行ク馬ノ背ニ乗ツテ跳ビハネテ居タ。

疾風ノ黒イ所デ、彼等ガ石炭ヲ切りダシテ居タ地下ノ
内部カラ今出テ来タカノ如ク、彼等ハ、肥ツタ、満足サ
ウナ牝シイ鳥等ガ、バサバサト音ヲ立テテ居タ、紫色ノ
森ヲ通ジテ散歩ニ行ツタ。

英ノ國ニ對スル、ソレノ爲ニ對スル、及ビソレノ感念

ニ對スル一國ノ感情ハ英國ニ於ケル全階級ノ人々ノ間ニ
アル此ノ大變ニ怨ム英國ノ氣候ノ明カナ結果ノ一ツデ
アル、ソシテソレハ煤煙地方ニ於テ述ベタ如ク、現代
産業社会ノ恐ルベキ問題ニ對スル一解毒劑デアル。實際
大英帝國カラ血ヲ流セル革命カラ救ヒ、又馬鹿ゲタ愚行以
外ハ他ニ人ヲ苦シメル事ノナイノハ英國ノ氣候ノセイデ
アルト私ハ思ヒマス、何ントナレバソレハ歐羅セル過大
ノ苦デハナイカラ、ソレハ暴民ノ心理ニスラ眞實ナ影響
ヲ及ボシテキル、又熱シテ居ル頭ヲ冷静ニスルモノトシ
テ、政治的精心ニソノ氣候ハ作用スル。

英國ノ氣候ハ、發展スルノニ數百年ヲ要シタ又決シテ或
ル種類ノ秩序立ツタ構造ニ置カナカツタ附ノ、アノ無比
ノ、信ジラレヌ、怪物ノ如キ國家ノ成長ニ對シテモ責ヲ
負ツテ居タト私ハ断言スル。ソシテ尚其國ハ成長——
英國ノ組織——ハドンマ違ンデ居ル。

併シ私ハ余リ早ク行ツテ居ル、私ハ前提ヲ定メル前ニ
私ノ議論ハ前ニ進ンデ居ル、結局善イ氣候トハ何ニカ、
貴男ハ人ガ好ム物ニ依ルト言フカモ知レサイ。若シ貴男
ガソオトスルナラバ悪イ事デアラウ。人ノ好ム所ノ物ハ
英國ノ氣候ト無関係デアル。善イ氣候デアル事ハ愉快ナ
氣候デハナイ、反對デアル。

若シ用俾ガ、地球ノ諸國民ト相談サレ、遷善ガ行ハレタ

トシハラ、私ハ以テノ事ヲ断言スル、即チ旅行者ノ大
 数ハ、レイベリアノ気候ノ様ナ気候ガヨイト換標スルデ
 アラウト、日光ガ第一ノ要求デアラウ、火山ノ日光、吾
 々ガ、ロニスル太陽ハ、サハラ沙漠ノ真又中ニ於ケル如
 ク、一年中毎日ハ照ラナイガ、併シ一週間ニ六日位照ル
 ソウシテ其レニ基因スルモノウモ温カサデアアル。
 モノウクアル事、モノウクアル事ヲ享受スル事、貴男ハ
 ソレヲ持ツテキル。温イ陽氣ヲ堤ノ上ニ一匹ノトカゲガ
 様ニ、日向ボツコヲシナガラ横ハツテ居ル事、ソレハ大
 部ノ吾人ノ神聖ナ夢デアアル。「樹枝ノ下ノ一片ノパン」
 オーマーカマムスノ庭園、ソレヲ吾々ハ真ニ享受スルモ
 ノデアアル。柯ントアレバ、吾々ハ既ニニテテ越エテ
 居ル。吾々ノ総ベテハ本質的ニ第一ニ怠惰デアアル、而シテ
 我々ノ夢想シ得ル最大ナル奢侈ハ結構ナル純粹ノ盛
 福デアアル。平穩ナル怠惰——甲斐ナル——デアアル
 。私ハ良心ノ幾ラカノ激動ニヨリ、又ハ不幸ナル結果ノ
 或ル恐怖ニ依ツテ、吾々ノ総ベテハ、自然ニ生レタ安逸
 ヲ貪ル有デアルト云ヒタイト思フ、子供等ハエデンノ庭
 ニ放タレタノデアラフタ。ソノエデンノ庭ハ吾々ガ、骨
 ヲ折ラナカフタ、又紡ク事ヲシナカフタ樂園デアアル。ソ
 シテ余ク、絶対的ニ墮落カラ吾人ヲ救ワテクレタノハ、
 粗末ナ、苦痛ナ、刺戟ノアル気候ノ媒介物ヲ通ジテ吾人

ノ終リノナイ不安ニ動イテ居ル神ノ恩恵ニ依ツテノミデ
 アル。

併シ理想的ナ気候ハ余リ荒々シクハナイニチガヒナイ
 シ又 余リ柔カスギルヨリ以上ノモノガアルニチガヒナ
 イ。極度ノ寒サ、若シクベ熱帯ノ熱モ吾々ニハ、善クナ
 イ。若シ総ベテノ吾人ノ精力ガ、單ニ北極ノ條件ヲ生キ
 残ル事ニ依ツテ 吸収シテ居ルナラバ、吾々ハ吾人ノ文
 化ト非常ニ速ザカルテハ居ナイダラウ。

アメリカノ上ニ、ボンマリト兎エル唯一ノ危険ガアル、
 其ノ気候、ソレハ白人ニトツテハ悪イ。ソレハ世界ニ於
 ケル幾ラカノ國民ヨリモ、更ニ大キナ摩天閣、更ニ多ク
 ノ機械、更ニ多クノ労働者救助法案、更ニ多クノ宗教上
 ノ狂者、精心分析、神經破壊、更ニ多クノ大酒家、胃弱
 ノ人、更ニ多クノ明白ナ食物、更ニ多クノ賭博者、砲手
 マ、黄色人ノ記者等ヲ作り出シタ

ソレハ無法ナ、観物ノ、劇的ナ急激ナ利戟デ、甚ダ鼓舞
 スル気候デアアル。ソシテソレハ、総エル種類ノ解毒藥ヲ
 発見セントシテ居ル。ソレハ余リニモ、吾人ノ元ヲアセ
 ラセル気候デアリ、スピードノ気候デアアル、早ク金持ニ
 ナレ、早ク起キヨ、早ク船ニ跳ベ、早ク私ニキフスセヨ
 早ク私ニ結婚セヨ、速カニ離婚セヨ、早ク生キヨ、早ク
 年ヲ取レ、ト気候ハ人ニセカセル。死ハ結果デアアル。

ソシテソレハ、一ツノ眼ノメバタキニ東ル様ニ消エル
デアラウ。非現実的ナ、法外ナ幻影ノ感念デアアル。若シ
止マル事ナク米國ニ六ヶ月ノ間、雨ガ降ルダケダトシタ
ラ、ドウダロウ。若シ風ガ静カニナルナラバ、北東ノ風
ガ大キナ湖水ノ岸ニ吹キ止ル。若シ柔イ静カナ霧ハ、紐
育カラ サンフランシスコニ到ル迄ノ市ヤ、大草原、亦
揺レル寒暖計ノ上ニ、総ベテヲ包ミナガラ、総ベテヲ止
メナガラ、又總ベテヲエルメナガラ、波動シテ行クダラ
ウ。

私ハ合衆國ノ氣候ハ危悪ナル物トハ言ハナイ。私ハ合
衆國ノ氣候ハ危儉デアリ。英國ノ氣候ハ安全デアルト言
フ。ソシテ、イクラカノアメリカノ読者ハ、戦争馬ノ操
ニ畢竟ヲ吹クデアラウシ又 跳廻リ、彼等ノ頭ヲ振り又
彼等ハアノユルイ安全ナ國ニ生レナカワタノヲ、去ン
デ居ルデアラウ。サウダ若シ君ガ、若クテ、激シテ居ル
ナラバ、君ノ感情ハ自然的デアアル。アメリカノ青年ハ、
非常ニ、鼓吹サレテ居ル。非常ニ鼓吹スルノハ、アメリ
カノ古イ時代デハナイ。アメリカノ生命ハ長ク燃エル迄
ノ非常ニ輝キデ燃エテ居ル。

男女ハ アメリカヲ破壊シタ、頃度其ノ時、英國ニ於
イテハ 彼等ハ精心的ニ又 倫理的権力ノ高度ニ達シテ
居ル。昔々ハ アメリカニ於イテハ、英國ニ於ケル老

家ノ階級ニ比較スル様ナ同ジ階級ハ持ツテ居ナイ。
我ガアメリカハ危高イ老人ハ少ナシシ又 危高イ老婦人
ハ少ナイ。老婦人ハ合衆國ニ於イテハ、速カニ衰ヘテシ
マウカ又ハ肥ワテシマウ。ソシテ老婦人ノ側ニ、ケヨコ
レートノ入ツタ箱ヲ置イテ、揺レル椅子ニ座シテ、静マ
リカヘワテ居ル。ソウシテ私ハ、此ノ事ハ氣候ノ才傑デ
アルト思フ。實際到ル所ノ國ノ總ベテノ物ハ氣候ノセイ
デアルト思フ。ソレガ、此ノ論題ノ要旨ナノデアアル。

此ノ國ノ組織、其政府ノ特殊形態、其ノ國民ノ習慣、
彼等ノ藝術、文學、美德、又及娛樂ト云フタ、總ベテ
ハ、氣候ノ問題ナノデアアル。アメリカノ燒印ハ巨大ナ努
カト、勇敢ナル経験ニ人々ヲ馳立テル。ソレハ(米國ノ
燒印)精カノ不思議、自然ノ障害ヲ征服スル空想的ナ勝
利ヲ達成スル。ソレハ山ノ下ニ坑道ヲ掘リ、砂漠ニ灌溉
シ、空中ニ市ヲ作り、(巨大ナ建物ノ空中高クナル事)
ソシテ、地球ノ静カナル場所ヲ妥音ヲ満ス。ソレハ世界
ノ何處ノ氣候ヨリモ以テニ動ク等ニ、活動スル事ニ、強ク
ユタル。ソレハ石級ノ高レテ居ル急傾ナ人ヲ軍ニ殺ツノ
ハ、急傾ノ塔ヘガタイモノデアリ。ソレニ對シテハ、全
ク無用デアアル。理想的ナ仕事カラ神ヲ作ツタ事ハ、ア
メリカノデモクラシーノ精心得ハナイ。仕事ノ崇拜、デ
モクラシーノ精心得、両方共同ジデアアル。私ハ氣候ニ帰スル

ト主張スル。ソウシテ、ソレニ付イテノ最も希望ニ滿テ居ル物ノ一ツハ、今述ヘタ息情ナ此ノ堪ヘガタキ物デアルト主張スル。

同様ナ事ハ英國ニ付イテハ云フ事ハ出来ナイ。英國ハ息情ヲ懇懇スル、英國ニハ悲哀ガアル。私ノ大友ニ誇リトシタ英國ノ氣候ニ付イテノ希望ノナイ根本的ナ何ニカガアルト云フ一北候ガアリマセンカ、併シ私ハ英國ノ氣候ハ完全ナモノデアルトハ云ヒマセン。概括的ニ言ヘバ私ハソレハ地球ガ英ヘネバナラヌ、最も善イ物ガアルト言フタニ過ギナイ。英國ニ於イテハ、百五十万ノ失業者ハ英國ノ氣候ガ悪イト云フ證據トシテ、正当ニ取ラレル事ハ出来ナイ。彼等ハ、氣候ガ余リヨクアツタ理由デアル。英國ノ氣候ハ飽和英以エニ人間ヲ産ム事ヲ奨励シヌ保護シタト云フ證據デアル。吾人ハ英國ニ於イテハ、余リ多クノ人ヲ持チスギタノデアル。ソレガ全部デアルノデアル。ソシテ彼等ガ飢エテ居ル時デスラ、他ノ何処カニ行キタガルノハ彼等ガ、氣候ヲ好ミ過ギルノデアル。ソレガ、全体ノ困難デアルノデス。産業主義者トハ如何、彼等ハ初歩ニ於イテ、想像ニ於イテ、経験ニ対スル勇氣ニ於イテ欠ケテ居ル息情デハアリマセンカ、ソウデス。彼等ハ息情デアルト思ヒマス。ソシテ私ハ大英帝國ガ、世界ノ強國トシテ、丁度ノ最も偉大ナ期間、伸バシ

経過シタ事ハ当然デアルト思ヒマス。併シソレガ兵災——ソレガ起ルデアラウ——デアル様ニ行ツテ居ルナラバ、私ハ英ノ氣候ヲモ顧ミズ云ヒマス。ソシテ大英帝國ガ、強國トシテ、偉大ナ帝國ノ中心トシテ、生き残ルナラバ、英國ヲ救フデアラウモノハ氣候デアル。

私ハ、大英帝國ノ一ツノ讓ラレナイ占有物ト、ソレノ一ツノ計算サレナイ、偉大ナ遺産ハ英國ノ氣候デアルト云フ事ハ、全ク重要ナモノデアルト主張スル。湾流ガ南方カラ、暖流ヲ持ツテ来ル限リ、又太陽ガ表ヘガハル熱デ赤道ヲ輝ク限リ、英國ノ氣候カラ、此レヲ取ル事ノ出来ル叔カハ地上ニナイ。次ノ氷ノ時代ノ出現デ、色々ノ物ハ相異スルデアリマセウ。若シ海ノ底ガ、ソレ自身卷キエゲ始メルナラバ、英ノ時ハ人類ノ重兵ノ中心ハ何処ニ滑ルダラウカ、併シ地球ノ地形ガ今日アル如ク多少トモ生ジタナラ重カノ英ノ中心ハ井戸ノ様ニ冷タク、深クアル此ノ島ニアル所ニ残ルデアラウト私ハ主張スル。ソシテ若シ貴男ガ丁度ニ附イテ、私ニ話スナラバ、私ハ議論、文化丁度ノ許答ノ鉄智カラ滑ルデアリマセウ。併シ、同時ニサラシキ強情サデ、英國ノ氣候ハ、不滅ノ何ニカラ造リ出シタ、又何ニカ、地球エニアルト同ジク、殆ンド永久ノ何ニカラ造リ出シタ。ナポレオン法英又ハインゲンノ大理石彫刻及ビ紐育ノ空際線ヨリ以上

ニ彈カアリ永続スル何ニカヲ進リ出シタ。
 私ハソレヲ何ンド呼ボウカ、私ハソレヲ何ニカト呼バネ
 バナラス。何ントナレバソレハ生キテ居ルカ、ダイナマ
 イトノ強カサ、及ビ人類ノ進化ニ一歩々ト進メル物ヲ、
 代表シテ居ルカラ、ソレハ人間ノ形ヲシタ物ト呼ンデモ
 ヨイ。ソレハ溫和ナ人ト呼ンデモヨイ。其ノ人間トハ、
 吾人ノ時代ニ於イテ、恐ラク共產主義カラ、吾々ヲ救フ
 人間ノ形ヲシテ居ル者、巨大ナ人間、アノグロテスク
 ナ怪物ニ反対シテ居ルト同ジ、個体ヲ、彼ノ正義ノ間ニ
 均衡ガ、ヤヤ取レタ人間デアル。火山集フタ人間ノ魂、
 彼ノ機械ノ神様デアル。ソレハ此等ニフノ将来ノ動運ヲ
 論ズル人ハ、彼等ノ荒涼タル野原ニ住ンデ居ル、露國ノ
 農夫デハナイ。ソシテ又火山ノ機械ノ生産ヲ持フテ居ル
 アメリカ産業界ノ王者デモナイ。ソレハ邊鈍ナ気取ノア
 ル、頑固ナ、法律ノ永続サセル目ニ波ノ凶兆ヲタダヘテ
 居ル英國人デアル。其ノ英國人ハ彼ノ凶兆等ニ妨害スル
 ノヲ黙認シナイダケノ法律ヲ保存シテ居ルノデアル。

此等ノスベテヲ、低イ國際的競争ノ見地カラ暫クノ間
 考察シテ見ヨウ。新ラシイ第一等ノ盛装セザル武風ヲ有
 シテ居ル英國ノ叔カト、何國ガ挑戦シ得ルカラ一寸想像
 シテ見給ヒ。末系ノ戰デ、トモカクモ何ニガ勝フダラウ
 カ、大キナ船、小キナ船、潜水艇、及ビ飛行機、若シク

バ彼等ヲ守ルトコロノ人デアラウカ。弱々シイ機械ハ、
 或ル極悪ノ科学的衝動ニ依フテエラレルカ。又ハ機
 械ヲ組織サレタ練習艦隊ハ、智的目的ノ精心ニ依リテ、
 指導サレタ。最モヨイ人間ヲ插マ、クリステンドム地方
 ノ稠密ナ大群衆ヲ産ンダト地ハ今ヤ、機械ガ彼等自身ノ
 道、結ビテヲ有シタタメニ敗亡スルダラウカ、私ハソレ
 ヲ疑フカシラン。若シ真ニ硬キ彈カノアル勇敢ナ人々ヲ
 産マナイナラバ、水夫連ヤ偉大ナル軍隊ヲ養成シナイ大
 海軍、大商船ヲ持ツ事ガ出来ル國ハナイト思フ。

併シ私ハ、軍隊ヤ海軍ノ優越サナドニハ、余リ興味ヲ
 持タナイ。ソシテ私人文字通りノ世界強國ニ付イテ話シ
 タクハナイ。

大英帝國ハ大度ノ戦争ニ敗レタケレドモ尙吉業ノ私ノ
 意味ニ於イテハ、世界ニ於ケル最大ノ強國トシテ、残ツ
 テ居ルト思フ。將ニ来ラントスル火山ノ次ノ時代ノ青年
 ニ取フテノ心ノ確カナル、溫和ナル者ノタメ、一強國ト
 シテ生キ残ル事ハ、全ク愚鈍デアリ、全ク遲鈍デアリ、
 全ク偏狹デアル。佛蘭西ハ侵入サレタニモ拘ラズ、以前
 トシテ生キ残ワタ。何ントナレバ佛蘭西ハ偏狹デアリ、
 狭量デアリ、頑固デアルカラ、併シ佛蘭西ハ英國以上ニ、
 ソレ自身ハ反対ニ別レテ居ル。佛蘭西ハ大種類ノ人種ト
 大種類ノ氣候ヲ以フテ居ル、ブリトン及ビ地中海ノ海

岸ニ住ンデ居ル住民ハ、オ五ニ外国人デアリ、又印度ノ
 ポンジヤブ人ガマドラスノ住民ニ対シテ好敵手デアルト
 同様ニ敵対者デアル。若シ此レガ佛蘭西ニ於イテ、英實
 ナラ合衆國ハ如何。南方ノ人々ハチヌウトン人マミネタ
 アーノ スカンデナヴィノ市民及ピウイスコンシエント
 ト血族兄弟デアルガ、併シ私ハアメリカニ於イテ、此ノ
 故ケ國々語ヲ話ス人々ノ混合シテ、成立シテ居ル。弱兵ヲ
 指摘スル必要ハナイ、皆々ハ皆ンナハ、アメリカハ素ダ
 人類ヲ産マナイシ又人種的ナタイプモ、又人種的ナ精進
 モ産マナイ事ヲ知ワテキル。而シテ此ノ事實ハ——淡
 白ニ話スト次ノニ三百年ノ間、大英帝國ノ道徳的優越ノ
 保証デアル。合衆國ノ住民ハソレニ別ノ一億ノ人々が、
 増加シタ後ハ、大英帝國ハ第二位ニナラネバナラヌオモ
 知レナイ。免角シテ居ル間以上ハ、私ハ英國及ビ英國ノ
 永続スル叔カ、英國ノ奇ニナ運命ヲ發展スル社会ト、英
 國ノ我慢強キ、無敵ノ和合、ヲ瓦推シシタ。

ソレ等ハ、外國ノ政治家ニ依フテハ、少シモ理解サレ
 テ居ナイモノデアル。又ソレ等ハ全ク英國ノ地形ニ依ル
 モノデアル。他ノ言葉デ云ヘバ、氣候ニ要フノデアル。

第十一章 世界貿易ハノ日本ノ躍進

エスアール、エルドリツチ

全世界ヲ挙ゲ、製造業者及商人ハ日本商品ノアラユル
 市場ヘナシテ居ル侵入ニ対シテ (*our the inroad*)
 警戒ヲ増シツ、アル。ソノ結果トシテ貿易ノ障害 (*trade barriers*)
 ハ到ルトコロニ於テ高メラレル。ダンピング禁止法 (*-dumping legislation*)
 ハ日本商品ノ潮ヲセキ止メル湯メニ實施サレツ、アル。少シ
 实例ヲ見ヨウ。日本製自転車ハ五弗デ売ルベク英國ニ置
 カレテアル。コレハ英國製自転車ト比較スルト見カケハ
 (*inappearance*) 尠シテ居テ然モ半値デアル。日本製
 ゴム靴ハ (*japanese rubber soled shoes*) 一足ニ付キ
 六仙ノ特別関稅 (*exduty*) ヲ課セラレテ合衆國ニ運上ゲ
 サレルガ而モ尚アメリカ製ノ靴ヨリモ35パーセント方
 安ク売ラレル。日本製電球 (*japanese made electric light bulbs*)
 ハ10セントスターデ売ラレテ居ル。日本製電球ハ高価ナアメリカ製ノ電球程長ク
 永続ハシナイガ、併シ彼等ハ幾百万カハ毎年売ラレル。1932年
 ニ合衆國ハ七十八万八千二百四十弗ノ日本製玩具ヲ買ツ
 タ。独逸品ボイコットガ此ノ國ニ起ツテ以來此ノ項目

(item)ノ輸入ハ殆ンド倍化シタ。日本製磁器陶器
(japanese made china-ware & pottery)ハアメリ
リカ製ノヨリモ遙カニ50パーセントガラ60パーセ
ント方安ク売ラレル。二年間ノ中ニ英領印度マ蘭領印
度ニ対スル日本ノ輸出ハ各々九千四百万円程度増加サ
レタ。英領印度ノ場合ハ90パーセント蘭領印度
ノ場合ハ150パーセントデアル。大英帝國ノ対シテ
ハ50パーセント増加シタ。埃及ニ対シテハ50パー
セント、海峽植民地ニ対シテハ190パーセント、荷
蘭西ニ対シテハ250パーセントノ増加デアル。

又ニツノ國——支那トオナダ——ニ対シテハ日本
ノ輸出ハ過去ニ年同寂微シタ。

1934年1月中ニ日本ハ一億二千八百二十八万八
千円ノ各種商品ヲ輸出シタ。1933年1月ノ輸出高
ト比較スレバ、正ニ二千八百七十九万九千円ノ増加デアル
。千九百三十三年ノ輸出総額八十八億六千四万五千
円デアツテ千九百三十二年ニ比スレバ四億五千百万円
ノ増加又千九百三十一年ニ比スルト七億一千四百万円
ノ増加デアル。吾人等實上ハ世界ノ各國、各市場ノ製
造業者ト競争シテ成功ヲ收メタ日本ノ能力ノ拡張ヲ發
見セント試ミル前ニモ少シ数字ヲ見ル事ヲ許サレタイ
1934年1月ノ日本ノ輸出ノ中デ最モ重要ナル

品目三ツヲ挙ゲルト、綿織物28,808,000円、生糸
21,474,000円、絹織物11,429,000円デアル
。輸出總額ハ126524円デアツタガ再輸出ヲ加ヘル
ト(with the addition of re-exports)128,28
8,000円デアツタ。斯クノ如ク綿及絹織物ハ日本ノ輸
出ノ實ニ30パーセントヲ占メルコトガ分ル。ソノ他デ
ハ原料品ガ20パーセントヲ占メテ居ル。50パーセン
トハ各種ノ織雜品カラ成立シテ居ル。ソノ生産ニ於テハ
程度ノ差コソアレ(ingrate or less degree)此ノ勞
働ハ如何ニシテ作ラレル。日本ノ輸出スル玄範圍ニ亘ル
商品ヲ生産スル男女ハ如何ニシテ生活シ働クカハ輸出國
トシテノ日本ノ成功ヲ知ル秘鍵デアル。

英國ハ商人ノ國(a nation of shopkeepers)ト称
セラレテ来タ。日本ハ工場ノ國(a nation of work-
shops)デアル。此ノ多種類ノ商品(these miscellaneous
goods)ノ大部分ハ大工場デ生産サレナイ。工業日本ハ
家内工業ノ状態(the household stage of industry)
カラ辛ジテ脱シタニ過ギナイ。大工場ハ綿糸紡績ト人絹
工場(cotton and rayon mills)ノミデアル。
等實上日本ハ輸出スルスベテノ他ノ商品ハ小工場ニ於テ
生産サレル。此等小工場ハ東京ニハ数百、大阪ニハ数千
アル。

日本、急流ナ山嶽ノ多イ河川ニ取付ケラレタ水車カラ供給サレル安価ニシテ、豊富ナ電カガアル。相当廉ノアル日本ノ労働者 (*japanese workers some highly skilled*) ハ、アメリカ人が弗デ辨ハレル教ヨリモ少クナイ教可デ支拂ハレル。(1円ハ30センニ相当スル) 機械ハ驚ク程最新式 (*up-to-date*) ナ。併シ注意シテ調べルト製作者ガ、ソノ特許権 (*their patent right*) 日本ニ於テ保護スル手續ヨシナカツタ西洋型、忠実ナ模倣デアルコトガ判明スル。生産品ヲ生産スル工場 (*building*) ハ粗末小屋ト変ラナイヤウナモノデアルコトガ多イ。最モ例外ハ又山アルガ、例ハバ電球ヲ製造スル川崎ノゼネラルエレクトリックノ支配スル東京電灯会社ヤ東京芝浦製作所。此レモ又ゼネラルエレクトリックノ支配ニ属シ、ソレハ電動機 (*electric motors*) ヲ製造スルノ新式工場建築物、モ如ギデアル。

タガ多クノ輸出品、陶器、玩具、編ンダ短靴下 (*knit-ting socks*) 麦藁真田 (*straw braid*) 宝石細工、洋傘等ハ内地ノ町村ノ家庭ニ事実上全部請負ハセル。海外ニ支店ヲ有スル (*with branches overseas*) 大輸出業者ヨリ注文ヲ受ケルト大阪若クバ東京ノ企業 (*entrepreneur*)、ハ原料ヲ買付ケテ之ヲ幾ツカノ村ニ引渡ス、村ニハ親方ガ居テ、親方ハ正確ニ見本通り作ラ

作ラウト一定ノ期日迄ニ仕エゲルコトヲ監督スル責任ヲ持ツ。此ノ方法デハ製品ノ型ニ統一アル訳ガナイ。大キナ注文ニナルト外国ノ買手ハ見本ト違フ事ヲ不平ニモラス、政府ハ品質ノ性質ヲ保持センガ爲メニ検査所 (*inspection service*) ヲ設置シテ居ルケレドモ、或ル種ノ産業ハ通常狭イ地方ニ局限サレテ居ル。原料品ガ日本ノ此ノ特別ノ地方ニ於テ最モヨク育ツ事実ニ依ルンデアル。此ハ薄荷腦 (*menthal crystals*) 樟腦 (此等、悉ベテハ台湾カラ来ル) 殺虫剤ノ花 (*insecticide flower*) 茶デアル。生糸ハ實際本邦ノ各地デ生産サレルケレドモ、之レモ亦信州ノヤウニ品質デ有名ナ地方モアル。信州ハ蚕ヲ養フ桑ノ葉ノ品質、養蚕及紡績サエ (*girl reeling*) コノ地、生糸ガ検定サレルトコロノ、優秀ナル標準ヲ作ル。

日本輸出品ヲ生産スル工場ノ過半ハ家族ノ所有デアル彼等ノ多クハ商社 (合名会社) デアル。移動的労働者ハ少イカラ (*for migratory workers are not common*) 彼等ハ労働争議 (*labor troubles*) ニヨリテ悩マサレルコトガナイ。労働者ハ主人ト産業家族ノ首長トシテ尊敬スル。若シ景気が悪ク (*slack*) ナリ労働者ガ解雇サレ (*laid off*) オバナラヌ習慣ハ解雇達が大ケ月乃至一ケ年分ノ給料ヲ受ケル事ヲ要求スル。

大紡績=於イテスラ労働者=対シテ此ノ家族主義 (paternal attitude) ヲ採用シテ居ル。ソレ故=日本ガ独リ産業上ノ成功ヲ收メタ理由ハ多程多様デアアル。—

安価=シテ豊富ナル動力、安価=シテシカモ比較的能率アル労働、最新機械=適ホセルコト、設備建築物ノ原価ノ安イコト、工場費ヲ完全=除去スル (eliminating) 輸出品=於ケル家族制度 (factory overhead) ノ使用、産業ノ所在地ガ有効=撰択サレテ居ルコト、少サナ生産單位=於イテハ尚可能ナル家族主義ヲ採用スルガ故=労働争議ガ一般=少クナイコト等デアアル。之等諸要素中最モ重要ナ、ハ労働費デアアル。ソレハ日本人ガ習慣トスル比較的簡素ナ生活=基ク。日本人ノ家族ハ米ト奥並ビ=少量ノ野菜デ生活スル事ガ出来ル。食事=於イテハ豆腐 (saga bean curd) ハアメリカヤ欧州ノ労働者ガ高価ナ肉ノ食事デ見出サレル必要ナ蛋白質ヲ供給スル。食物ハ日本ノ労働者=安価=得ラレル、何ントナレバ、ソレハ直接ホ地ヤ海カラ来ルカラ。肉ヤミルクノ食事=基ク経済ノ元デハ日本ノ生活デハモソト高価=ナリ、ソレ故=日本ノ給料ハヨリ高価=ナルダロウ。月十=弗位デ五人ノ家族ガ、東京又ハ大阪ノ近郊デ、≡同若シクバ四間ヲツテ庭付ノ家ヲ借リル事ガ出来ル。畳ノ上= (on the matting-covered straw stuffed

made) 蒲團ヲ敷クト居間 (sitting room) ハ、全家族ノ寝台=変ズル、家具ハ少イコト甚シイ。扉ノ前=安全自動車 (flier) ハナイ。外出用ノヨイ絹ノ着物 (a good silk kimono for dress occasion) ハ一生持ツデアロウ。概シテ日本人ハ買フ物ノ多クハ吾々が、弗デ支辨フノト同ジ數額ヲ再デ支辨フ、然モ一人当リ (per capita) ノ需要ハ殆ンド我々ノ半分デアアル。

斯クシテ産業工ノ労働費=関スル日本ノ比較的有利=分析スル=当ツテ (in attempting to) 賃銀標準ノ尺度 (the measuring stick) ヲ用フルコトハ、無意味デアアル。何ントナレバ、日本織物工場ノ男工 (a male worker in a textile mill) ハ一日僅カ五十八仙ノ賃銀ヲ受ケルガ、此ノ事ハ合衆国ヤ、多クノ欧州産業國ノ労働者デ同額ノ賃銀ヲ受ケル者ノ生活振リト同様ノ生活ヲスルコトヲ意味シナイ。其ノ賃金デ、其ノ國デハ生活必需品ガドレカ買ヘルカト云フコトガ、考慮セホバナラヌコトデアアル。

日本ノ労働者ガ日本ノ労働者ノ賃銀ノ大倍モ受ケルアメリカ労働者ト同ジ程度=幸福=愉快=生活スル事ガ出来ル。日本ガ競争者=対シテ利益ヲ持ツノハ生産費 (cost of production) ノミデハナイ。大戦前ノ独ニハ例外トシテモ (with the possible exception

of the war germany) 日本ハ如何ナル他国ヨリ
 モ一層綿密ニ強度ニ輸出拡張ノ為戦ワタ。例ヘ「移動市
 場」(floating markets) ト云フ斯ル新規ノ奇案(novel
 devices) デアツタニシテモ、小サナ個人輸出業者ハ
 蘭領印度(the Dutch East Indies) 近東(the near
 East) 南阿(south Africa) 等ノ原始的の中心市場
 (the primary marketing centres) ハ浸入スル
 好機ヲ得タ。一方大商社ハ支那、合衆国、濠洲、印度
 等ノ支店ヲ通ジテ、販売ヲ集中シタ。此等ノ土地デハ製
 品ノ販売ニモ原料品ノ買付ニモ同一ノ設備(支店)ヲ利
 用スル事ニヨリ(selling costs)ヲ引下ゲル。
 小商人ハ余リニ引合ヒサウニナイ土地デハ(in places
 not so effectively covered) 恒久的ノ商品陳列館
 ノ様ナ機能ヲ利用スル。日本ノ貿易業者ノ代表ハ、市場
 ガ、需要シ、注文シテ居ル見本ヲ集メテナガラ南米全土ヲ
 旅行スル。此ノ方法デ日本ノ工場ヤ仕事場ハ繁此ヲ続ケ
 タ。生産ノ増加ニ基ク一單位当リノ総計費ノ低下ハ(the
 increased production on lowered overhead
 cost per) 更ニ日本ニ付加的ノ利益ヲ興ヘタ。

昨年ハ百万台ノ紡錘ヲ以テ、日本ハ英國ノ綿糸品ノ2
 0億磅ト同額ノ輸出ヲシタ。英國ハ五千万磅ヲ所有シテ
 居ル。日本ノ紡錘ハ時間ノ許ス限り活動シタ。然ルニ

英國ノ紡錘ハ六分ノ一ダケガ繁此デアツタ。日本ニ於イ
 テハ絶エズ食料供給ノ不足アル程ノ人口ヲ持ツ為メニ、
 個人間ノ競争ハ激烈デアル。打テ明ケテ言ヘバ日本ノ經
 済ハ資本主義的デアル。軟カク社会主義的ノ温床(socialistic
 cushion) ハナイ。我が國ノ如ク余レル
 経済デハナイ。不足ノ経済デアル。ソシテ激シイ労働ガ
 普通デアツテ(the rule) 例外デハナイ。

英國ハ其ノ分配物ヲ數百万人ヲ扶持スル事ノ出来ル如
 クニ日本ハ巨額ノ海外投資カラ得ル利益ハナイ。不景氣
 中ノ總項ニ、英國ノ再禁止後同モナク、1931年11
 月ノ金輸出再禁止(the reimposition of the embargo
 on gold export)ニヨリテ、日本ハ貿易躍進ヲ救ハレ
 タ。金輸出禁止ハ日本ノ物価標準ニデフレーションヲ
 強行スルタメニ1929年ニ解除サレタ。金再禁止サレ
 タ時ニ円ノ為替価値ハ下落シ、国内物価ノ標準ハ騰貴シ
 タ。其ノ意味ノ結果ハ、1931年2月ノ大四、五迄
 アメリカノ貨幣ヲ表示サレル対外的物価標準ニ低下サセ
 タコトデアル。同期間中ニアメリカ国内物価標準ハ85.5
 カラ67.7ニ下落シタ。同ジ基礎ニ於イテ日本ノ輸出物価
 標準ハ87.9英國ノ国内物価標準ニ対スルト同ジ磅ヲ標
 準トシテ(1913ヲ100トシテ)1933年4月ニ91.8
 デアツタ。日本輸出ガ好調ニナツタノハ「為替ダンピン

グ」(exchange dumping) = 依ルノデハナクシテ、1931年 = 高イ丹ヲ買フタ原料ガ、1932—1933ノ中加工品(fabricated materials)トシテ安価ナ円ヲ売ラレタ事實 = ヨルノデアル。

既ニカカル原料ノストックハ今ヤ彼等が売ラレル時ト同ジ安イ価値ノ円ヲ(with the same low yen)買ヒ付ケタ原料 = 置キ換ヘラレソフアル。日本ノ輸出品ノ価格ハ必然 = 硬化シ、而シテ貿易ノ躍進ハ其ノ強度ヲ弱メルト云フ結果ヲ示ソフアル。嘗ツテノ英國貿易勢力範囲ヘノ日本貿易ノ進出即チ英帝國ノミナラズ亦英内地産業ト競争シテ、ラテン、アメリカヘノ進出、和蘭本國ノ産業ト競争シテ蘭領東印度ヘノ進出、而シテ又伊太利、佛蘭西ノ貿易範囲ヘノ進出ノ結果ハ、日本ノ得意トスル商品ノ輸入 = 対シテ関税障壁ヲ高メ(to raise barriers)

ノ様ニナワタ。其ノ結果ハ経済的國家主義ノ傾向ヲ強化シタ。日本ノ唯一ノ武器ハ原料品ヲ多量ニ買付ケク(heavy purchases)ト云フ事デアル。例ヘバ(such as) 印度カラノ綿花、南米、濠洲ヨリノ羊毛、加茶陀ヨリノ木柞紙料(woal pulp) 伐木 蘭領東印度ヨリノ粗糖ト石油(mineral oils) アルゼンチンヨリノ皮類、智利ヨリノ硝石、其他多數品目ノ輸入(a long list of other imports) デアル。

此等輸入合計ハ1934年ノ一月 = 輸出額ヨリモ、十六百五十四万四千円ヲ超過シタ。而シテ之等輸入品ハ多量 = 日本ガ輸出スル同ジ國ニ各々ノ場合 = 日本商社(japanese organization)ヲ通ジテ買ハレタ。此ノ理由ノタメニ、日本ノ商工業者ノ意見ノ趨向(a large and growing body)ハ西條貿易ノ自由、無制限ニ向ツテ来テ(coming to favor) 居ル。

日本ガ生産費ノ明カナ優位ト日本ガ競争力アル事ヲ示シタ多種品目ノ輸出ヲ維持スル限リ、此等植民地ノ消費者(consuming population)中 = 非難ナシニ、植民地 = 於テ日本商品 = 対スル障壁ヲ設ケル事ハ其ノ本國(the home countries) = 取ツテ困難トナリツ、アル此ノ困難ハ既ニ印度 = 於テ示サレタ。印度棉花ノ日本ノ輸入禁止ノ脅威ノタメニ印度ハ日本綿布輸入ノ制限割当(restrictive quota)ノ問題ハ協定スルノ止ムナキニ至ツタ。日本ト云フ羊毛ノ好販路ヲ失フヲ恐レテ濠洲ハ、日本ヨリノ輸入品ニダンピング禁止関税(antidumping duties)ヲ適用スルコト = 用心深イ態度ヲ採ツテ居ル。今会商ガバタビヤデ行ハレテ居ルガ、此ノ会商 = 於イテ和蘭政府ハ同様ノ微妙ナ問題 = 直面シテ居ル。之等ノ会商 = 於テ日本ハ其ノ増大セル原料購買力ガ日本 = 共ヘタ最右ノ譲歩(the very last concession)ヲ強制

スルモノヲ予期出来ル。印度ノ如ク本國ノ支持拂少ナ国ニ於テハ、日本ハ最上ノ取引ヲ以テ立去ラントシテ居ル。加茶院ノ如ク本國トノ血液ノ蓄積濃厚ナ国ニ於テハ日本ノ貿易ハ過去三年間ニ衰頹ヲ示シタ。本國ト新米国間ノ貿易戦ハ激シイ。

其理由ハ多ク、場合ニ於テ殖民地自体ノ産業的将来ヲ包含スル三角戦争 (a three cornered fight) デアルカラ、南米ノ市場ノ如ク中立ノ市場ニ於イテ「吾々カラ買フ所ノ此等カラ買フ」ト云フアルゼンチンノ如キ国ノ決意ハ我国ノ輸出ヲ削減シタト同標ナカラ以テ日本ノ輸出ト衝突シツツアル。輸出スル国 (selling Countries) ノ購買高ニ応ジテ自國ハノ輸入高ヲ定メル嚴格ナ輸出入割合制度ヲ実施スル場合、日本ハラテン、アメリカ諸國ノ輸入ヲ増大スルコト困難デアル。若シ日本ガ、彼等ニ對シテ拂ネバナラヌ交換ガ、免ゼラレルナラバ、ラテン、アメリカニハ日本品ノ溢濫ヲ需要ガアル、或ル責任アル日本ノ機関 (quarters) ハ that 以下ノ事ヲ示唆シテ居ル。即チ合衆國ガブラジルニ對シ輸出高以上ニ多ク輸入シ、日本ニ對シテハ輸入高ヨリ多ク輸出スルナラバ、ブラヂルカラノ合衆國ニ依ツテノ輸入超過ヲ通シテ日本ハブラヂルヘノ超過輸入ノ代金ノ支拂ヲ受ケル事ガ出来ルノデ (合衆國ヨリ) 三國間ニ方的相互調整 (a three

way reciprocal arrangement) ガ有利ニ出来エルデアラウト。日本ハ嘗ツテ見ザル大規模ヲ世界各國ニ對スル貿易ヘノ自己ノ自由ヲ維持スル爲メニアラユル武器ヲ使用シツツアルコトハ疑ノナイコトデアル。英國、伊太利、独逸、和蘭、白耳義其ノ他ノ政州工業國ハコンナ恐ルベキ競争者ニ際会シタ事ハナイ、合衆國ダケハ大キナ影響ヲ受ケナカツタ。1933年日本カラノ一億二千八百四十二万一千弗ノ我總輸入高ノ5パーセントガ競争範圍デアルノデアツタ。此ノ與我々ハ幸福デアル。何ントナレバ世界ノ多クノ工業國ハスバルタ的尙易生活様式ニ後援サレ想像以上ニ之ト争フコトノ困難ヲ日本ノ競争ヲ受ケツツアル。

{ 看看ハニユーヨーク大学ノ外國貿易担当ノ
教授デアル。本文ハ1934年八月カレント
ヒストリーヨリ取載 }

第十二章 支那文明の潰滅

ナザーニイル、ペフア

東ハ東、西ハ西、其他此レニ類セル誤レル公式ニ於ケル真理ノ核心ハ他ノ言葉ニ翻訳シマツハザル事柄デアル

此等ノ個々ノ文化的言語ハ余リニモ広汎ニ差別ガアル若シモ両者ガ全クソウデアム様ニ成シテ、相合スル事ヲ得ナカワタトシタナラバ、其ノ理由ハ主トシテ、西洋ガ其ノ固有ノ標準、習慣及ビ信仰ヲ適用シ、更ニ又判断ヲ下サントスル事ヲ固執シタト云フ事デアル。

吾々ハ政治的ナ猜心ヲ持ツタ國民デアル。特ニ英國民タル吾々ニ於テ然リデアル。吾々ハ所謂、國家ノ公共生活ニ専心シ、又「局面」及ビ「危機」ヲ造リエゲル所ノ狭ク極限セラレタ事件ニ没頭スルノデアル。

吾々ニ取ツテハ國家ノ「問題」ナルモノハ、内政及ビ外交關係カラ成立シテ居ル、併シナガラ、カクノ如キ事件ガ東洋ニ於イテハ他ノ価値ヲ持テ、又時ニハ少シモ意義ヲ有シナイガ、故ニ吾々ノ判断ハ概シテ誤ツテ居ルノデアル。若シ吾々が誤解スルノデナイトスルナラバ、吾々ハ少クトモ理解シ損ツテ居ルノデアル。

以上ノ事ハ現代以上ニ眞実デアツク事ハカワレナク、

又如何ナル事ト謂ヘドモ支那以上ニ其ノ善キ説明トナツテ居ルモノハナイ。吾々が新聞ヲ読ンダ事ダケデ、支那ヲ知ルトスレバ、ソレハ内乱ノ底抜ケ騒ギデアリ、法律及秩序ノ無用デアリ、此歐刺政府ノ隨落デアリ、而シテ「廓清」ニ対スル絶叫的専求、即チ術語的表現ヲ以ツテスレバ混沌トシテ、我々ノ目ニ眩ズルノデアル。

事實支那ニ於イテ、起リソフアル事柄デアリトシテ重大ナル事柄ハ世界ガ覆リソフアル事デアル。此レハ東洋ニ於イテハ到ル処ニ起リソフアル。併シ支那ニ於イテハ

其ガ最モ尖鋭ナル点ヲ露ラサレテ居ルノデアル。支那ニ付イテハ真理、東洋全体ニ付イテハ真理ハ吾々が智識ノ因襲的ナ水路ニ在ルト考ヘテ居ルヨリモ又教ヘラレテ居ルヨリモ遙カニ重大ナ物デアル。ソレハヨリ深ク進ンデ居リ、更ニ亦吾人ガソレニ付イテ「何物ヲモ爲シ」得ザル或ル物デアル。東洋ハ今ヤ混沌トシテ居ル、其ノ混沌タルヤ外交問題ノ記者ヤ外交問題ノ觀察者ヤ亦無法ナ「汚染アル人々」専門的ナ用語トシテ用ヒラレル言葉デハナクシテ、形ニトラハレザル正シイ意味デ用ヒラレタ言葉トシテデアル。

支那ハ混沌ニ陥ツテ居ル、其レハ秩序ノ古い原則ガ最早ヤ効果ガナイガタメニデアル。二千五百年ノ間支那ハ国内的ニ一ツノ結晶セル高度発達セル複雑ナル、ソシ

テ、ホバリ強イ文明ニ依リ、又現ニ吾々ノ時代ニ尚且残ツテ居リ、然モ恐ラクハ最モ顕著ナル最古ノ連綿タル文明ニヨリテ、保持セラレテ来タノデアル。殆ンド百年ノ前、国外ノ世界トノ關係ノ根柢ハ西洋列強ノ優越ト白人ノ優劣性トデアツタ。支那ハ国家トシテノ本質ヲ失ツタト云フ意味ニ於イテ、征服セラレタノデハナカツタ。併シテ支那ハ支那自身ノ運命ニ対スル統制ヲ失ヒ、併シテ他國ノ命令ニ従ハネバナラナカツタノデアル。併シテ支那ハ單ニ優越列強ノ何レノ國モ敵対列強ノ反対ニ抗シテ平存スルニ足ル程強クナカツタガ、故ニ一個ノ実体的国家トシテ生き残ツタノデアル。支那ハ列強ガ支那ヲ変改シタ以上ニ至リ、ニクミ合ツタガ故ニ救ハレタノデアル。支那ノ文明ハ精心ニ於イテ死ンデ居ル、ヨリ大ナル活動力ヲ持ツタ文明ノ衝撃ニ依リ又西洋ノ機械文明ニ依ツテ紛碎セラレタノデアル。支那ノ社会様式及ビ支那國民ノ生活手段ヲ決定シタ所ノ慣習ハ最早ヤ束縛セラレテ居ナイ。価値アル古イ制度ハ最早マ受ケ入レラレテ居ナイ。

組織ハ振ヒ落サレテ居ル、信仰ハ最早ヤ確信ヲモタラナサイ。風俗ハ流動シテ居ル、時代カラ時代ヘ手渡サレテ来タ習慣サハ破レテ居ル。全支那社会ノ構造ノセントハ一時代ノ間ニユルメラレテ今ヤ俄カニ遺棄シ去ツタ。若シモ吾々が確實サヲ求メルナラバ 支那人ハ盲目ニ、

新シイ道ヲ求メ、新シイ運命サハモ求メツツ滅亡ノ中ニ墮キ倒レテ居ルノデアルト云フ事が出来ル。

厂吏ニ於ケル一章ハ因ジタノデアル。極東ニ於ケルカノ吾々ノ時代ハ終ツタノデアル、カクノ如キモノハ、吾々ノ時代ニハ再ビ曉ノ光ヲ惹スル事ハナイデアラウ。吾々が、始メニカニ依ツテ得タ所ノモノハ、カニ依ツテ失ツテシマツタ。併シカニ依ツテノミ再ビ得ル事が出来ルノデアル。併シ吾々ハ今ヤ吾々が十九世紀ニ於イテ、ニミノ砲艦ヤニミノ騎兵部隊ヲ以ツテ、服従セシメタ所ノ支那トハ異ツタ支那ヲ相手ニセネバナラナクナツテ居ルノデアル。支那ハ今ヤ過去ノ眠レル巨人デハナク、世界ニ村イテ無智ナ中世紀ノ武器ヲ持ツテ武装シテ居ル巨人デハナイ。支那ハ国家觀念ヲ持ツテ居リ、国家ノ危機ニ対シテ油断ナク、又軍事的見地カラ見レバ未ダ効果ハナイガ、如何ニシテ戦フベキカヲ急ニ学ビツツアル。

支那ハ国内的ニハ如何

スキナ地方的中心ノ或ル所デ遂最近私ハ或ル旧友ニ話シカケタ事ガアル。其ノ人ハ当時其ノ地方ノ中央委員会ノ委員デアリ、其ノ地方ヲ統轄シテ居ル行政主務方ノ一員デアツタ。實際彼ハ其ノ委員会並ビニ其ノ地方ニ於ケル決定的ナ発言者デアツタ。私ハ彼ガ何ヲ考ヘテ居ルカヲ質問シタ被曰ク「ソウデス、其ハ一種ノ紛乱デアル。私ノ胸中デハ

ソレガ最モ横柄ヲ上海ノ外国実業家が云ツタ總べラデア
ルト云フ事ヲ知フテ居ル。併シ一體、ソレ以外ノ何ニテ
アリ得ルドラウカヲ見ヨ。私ハ此処カラ程遠カラヌ。或ル
村デ生レタノデス。私が少年ノ時代ニ、嘗ツテ突然労働
者ガマツテ来テ、柱ヲ建テ村ノ城壁ノ外側ニ其ノ柱ノ間
ニ電線ヲ張り始メテ事ガアル。私ハ奇妙ニ思フタ。皆
奇妙ニ思フタノデアアル。最初ハ吾々ハ村ノ運命ヲ決定ス
ル風ヤホノ実質ニ天ヘル影響ニ付イテ心配シタ。マダテ
私ノ父ガ、或ル日其ノ地方ノ市場町カラ帰ツテ来テ説明
シタ。才前ガ此ノ電線ニ手紙ヲ託スレバ一日カ或ルイハ
一時間デ——其ハ余リ明瞭デナカワタガ。——イ
マント。其線ヲ停ツテ行フテ、縣ノ向ノ端カ目的地ニ當
着スルデアラウ。私ハ暫ク其ノ事ニ付イテ思ヒ運シタ。
併シ私ノ父ガ、ソウ云ツタナラバ、ソレハ信實デアツタ
、ソレカラ偶々正月ガマツテ来テ、私ニハ一寸商レタ町
ニ住ンデ居ル從兄弟ガアツテ、私ハ贈物ヲシタイト思フ
テ居タ。若シ其ノ電線デ手紙ヲ送ル事ガ出来ルトスレバ
贈物デモ何故ニ送レナイ事ガアラウカ、私ハ一足ノ
立派ナフエルト靴ヲ買ツテ、元日ノ朝早く、ソツト町ノ
城壁ノ外ニ出掛ケテ、電線ノ下ニ立チソシテ先ツ一方
ノ靴ヲソレカラ靴ノ靴ヲ電線ニ投ゲ付ケタ。
靴ハ電線ニアツテ落ケテ来タ。私ハ解ラナカワタ。私

ハ泣イテ走ツテ家ニ帰ツタ。ソシテ私が未ダ中年ノ頃
私ハ鉄道ヲ管理シテ街路ヲ建設シ、公益施設ヲ組織シ指
導シ灌漑及ビ開墾計画ヲ企テ、化学農業ヲ組織シ、到ル
所ニ起ツタ新シイ工場ヲ整理シ、労働問題ヲ考ヘ、小学
校制度ヲ構成シ当轄シ、ソシテ近代的病院ヲ創設スル事
ヲ學ンダト想像シテ下サイ。

ソレガ私ノ半生ニ爲サナケレバナラナカワタ整理デア
ル。其ハ吾々總べラガ一時代以内ニ爲サナケレバナラナ
カワタ整理デアアル。併シ記憶シテ載キタイ。私ハアメリ
カデ學ビ、ソシテ欧羅巴ニ旅行スルト云フ非常ナ便宜ヲ
得タノデアアル。我々ノ多岐ノ者ハ未ダ始メテ居ナカワタ
。私ハ我々が建設シタ新シイ自動車道路ニ資ヲ初建レ
シテ、農夫ガ乗合自動車ノ放熱機ヲノゾキ込ミ、ソレヲ
動かシテ居ル、隠レタル動物或ハ人間ヲ搜シテ居ルヲ
貴男ニオ目ニカケル事ガ出来ル。勿論我々ハ未ダ整理ヲ
完成シテハ居ナイ。吾々ハ現在ヲ眞ニ理解シテハ居ナイ
。カクノ如キ種類ノ新シイ世界ヲ如何ニ建メテ行くベキ
カト云フ事ヲ、タダ知セセテモラヒタイ。

併シソレハ吾々が、正ニ、同様ニ生キテ行カネバナラス
世界デアアル。勿論吾々ハ、乱雑ナ事ヲマツテ居リマス。
貴男ハ不思議ニ思ヒマスカ。

我々ハ支那ノ傳統ニ貴バレテ居ル或ル湖水ノ岸辺ヲ歩イテ居タノデアアル。此処ニハ黄金ノ豪華ナタング時代ニ詩人が来ツテ、其ノ美ヲ歌ヒ、画家ガ来ツテ絹ノ上ニスケッチノ一觸ニ其ノ美ヲ風キ下シタノデアアル。此処ニ諸王ハ来ツテ彼ノ吹樂ノタメニ建テラレタ。赤イ燈火ノ塔閣ヲ線ト黄金トノ光ヲ昇イタ殿堂ニ慰安ヲ求メタノデアアル。其ノ上ニ静カニ起ツテ居ル丘ノ上ニ僧院ガ、竹ノ林ニ半バ隠レタ。涼シイ、静カナ隠レタ所ニアル。

台々ノ周圍ニ支那ノ古代ノ偉大ト栄光トノ推積物ガアル。彼ハ其ノ湖岸ノ「改卷」——假ニ其ノ言葉ヲ用ヒタガ——ノ計劃ヲ私ニ話シテ居タ。無学者ノタメニ設ケラレテアル公用ノ図書館モ出来ルダロウ。商品陳列ノ建物ヤソレニ類ルモノモ出来ルデアラウ。

其ハ如何ナル種類ノ建物ニナルデアラウカト私ハ尋ネタ。其ノ建物ハ下ニ傾イタ屋根ヤ底イ旋ヤ右イ旋ニアル由リクネツタ木陰ノ造ノアル台々ノ周圍ニアル様ナ建物ノ建築法ニ従フノデアラウカ。彼レハ激シク答ヘテ曰ク「ソウ云フ物デハナイ、斷ジテナイト」

ソレデハ空地ヲモツト安場ニ、モツト経済的ニ利用スル西洋式ヲ採用スルノデアラウカ、否 ソレハ差出口ダ。全然ソナラ物デハナイ、其ハ西洋式ニナルダラウ。純粹ノ西洋式——過去ヲ持ツタ、出来ルダケ完全ナ建物ト

ナルデアラウ。然リ此処ニ現在アル物ハ美シカワタ。況シテ其以上ニ勝レタ物ハ出来ナカワタラウ。ソシテ其ハ種族ノ傳統ヲ象徴シテ居ル。

正ニ然リ——— 其レハ種族ヲ過去ニ結び付ケタ物デアアル。然中其ノ聯繫ハ破レナケレズナラナカワタ。

ソレカラ熱情的暴漲ヲ持ツテ話シタ。

彼曰ク「若シモ、其レガ確實ニ破ル爲メニ必要デアルト

私ガ考ヘタトスルナラバ、私ハソレヲ總テ破リ棄テテ其ノ代リニ ニュージヤイシイ工場ノ建物ヲ建設スルデアラウ」。

此レハ現代支那ノ心持デアアル。全種族ガ 其ノ根柢ヲ破壊シツツアル。世界ノ最ニ保守的ナ種族。過去ニ最ニ固執スル種族ガ 神聖ニ保持シテ来ツタ總テノ物ヲ、ソシテ三千年間続イタ文明ヲ保持シ来リ。其ノ行程ニ於イテ偉大ナル建設ヲ爲シタ所ノ文明ヲ保持シ来ツタ所ノ總ベテノ物ヲ意識的ニ熱慮シテ、破壊シツツアルノデアアル。

時代ガ始メタ物ヲ支那國民ハ自ラ滅ボシツツアル。若シモ彼等ガ没落ノ裡ヲ歩ムナラバ、彼等ハ進ミナガラ又没落ヲ築キツツアルモノデアアル。

右イ教育制度ハ棄テ去ラレテシマワタ。支那人ニトフテ母字デアリ、道德ノ綱領デアリ、行爲ノ法典デアリ。

政治学及び社会学ノ教條デアリ。智的訓練デアツタ所ノ儒教並ビニ、儒教ノ用田ニ集ツタ所ノ学问ハ、最早ヤ教ヘラレテ居ナイノデアル。ソレ等ハ簡單ニ振落サレテシマツタ。ソレ等ハ尊敬サヘモセラレナカツタノデアル。

北京ニハ皇帝時代ニ官吏ノ子息等ニ古典ヲ教授スルタメニ裕福ナ文人ノグループニ依ツテ建テラレタ学校ガアル。其ノ学校ニハ評議員——普通ハ年長ノ学者及び官吏——ニ對シテ孔子ノ牌ニ礼拝スル正統派的儀式。即チ何世紀カノ間、規定セロタル儀式ニ對スル、ス開練訓ニ出席スベキ習慣ガアツタ。

昨年ソレハ例ノ如ク行ハレタ。外ノ内ノエニハ一ツモ牌ガナカツタ。一同ハ集會堂ニ行進シテ入ツタ。上座ノエノ壁ノ、クホンダ所ニハ、何モナカツタ。彼等ハ調息シタ。ニツノ牌ガ中庭ノ隅ニ投込マレテアルノガ発見サレタ。

到ル処ソウナノデアル。事實ニ於イテ、總ベテノ学童ハ、彼等ハ彼等ノ親達ガ学ンダ物ハ何モ教ヘラレテ居ナイノデアル。孔子ヤ孟子ハ單ニ教ヘラレテ居ナイノミナラズ、殆ンド其ノ名サヘ譽ゲラレテ居ナイノデアル。其ノ代リニ西洋カラ余リニモ、明カニセキ止メツツアル所ノ偶然ニシテ、絶エズ变化スル課程ガ「問題」ニナ

ワテ居ルノデアル。ソレハ恰モ千九百年以前ニ書カレタ總ベテノ物が、突然吾々自身ノ教育カラ振落サレテ居ルカノ如クデアル。

時代ノ青年ハ支那ノ思想ノ根底ヲ知ラズ。又他ノ如何ナル思想ノ真ノ根底ヲモ無クシテ、成長シツツアルノデアル。時代ノ青年ハ支那社会ノ基礎、即チ家族制度カラモ亦切り离サレテ成長シツツアルノデアル。

祖先崇拜ハ、モハヤ第一ノ義務デハナク、又存行ハ、最高ノ徳操デハナイノデアル。家族ハ社会組織ノ單位トシテ、採用セラレテ居ラズ、又家族ノ幸福ハ單一ナ、標準トシテ採用セラレテ居ナイ。個人ハ自分自身及び自分ノ権利ヲ主張シテ居ル。彼ハ何処ニ彼ハ住ムベキカ、如何ニ職ニ就クベキカ、如何ニ財產ヲ処分スベキカ、ソシテ亦大抵ノ者ハ誰レト結婚スベキカト云フ事ニ関スル両親ノ決定ヤ年長者ノ相談ニ從フ事ヲ拒ムノデアル。

婚結ガ仲人ノ複雑ナ交渉ヲ通ジテ、両親ニ依ツテ取極メラレ又、花嫁ト花婿トガ長ク仲バサレタ骨ノ折レル、結婚式ガ、終ル迄オ互ニ知リモシナケレバ、見ダコトモナク、其時花嫁ハ自分自身ノ家庭トノ關係ヲ總ベテ絶テソシテ夫ノ母親ニ服従ト尊敬トヲ尽サナケレバナラナイ所ノ夫ノ家ニ入ルト云フ事ハ、聖人ノ法律デアリ、太古ノ習慣デアル。而カモニ三ヶ月前、上海ノ支那新聞ニ

次ノ友告が表レタハ、面白イモノノ一ツノ場合デアアル。

即チ「何故人ノ鬼ヲ居ル前デ、年長者ノ許可ヲ得テ、結婚式ヲ挙ゲルト言フ全ク面刺ナル事ヲスルノカ、ソレハ、昨日結婚ヲシタカラ、今日ハ夫婦デアルト云フ事ヲ知ラセルタメデアアル。」其レハ唯ダ空威張リト云フ実デ特色ガアルノデアアルガ、其ノ後ニ擧ハツテ居ル感情ニ於テハ、特色ノアルモノデハナイ。

古イ時代ノ人々ニトフテハ、結婚ト云フモノハ、個人ニ関係ガアルノデ、家族ニ関係ガアルノデハナイ。ソノ故ニ個人的嗜好ノミガ、考ヘラレホバナラナイノデアアル。

生涯ノ伴侶ヲ選ブタメニ両親ノ叔判ニ反対シタ大ビラナ争ガアル、ソシテ何処ノ町ニモ、両親ノ意志ニ逆ツタ、夥シイ結婚ガアル、ソシテ両親ニトフテハ、カクノ如クシテ結バレタ。

結婚ハ、アメリカノ親ニトフテノ友愛結婚ト同等ノモノデアアル。要スルニ何時デモソウデアアル様ニ、変北ト云フモノガ鏡ク、ソウシテ急激デアアル場合ニハ、個人的悲劇ガアルノデアアル。

何処デモソウデアアル様ニ、破壊ハ女性ノ状態ニ最モ明カニ、ソウシテ劇的ニ表ハレル物デアアル。十年前北京ノ私ノトコロハ支那教師ノ一人ガ困ワテ、マフテ来夕事ヲ憶ヘテ居ル。

彼レハ心配ノ余リ、其ノ日ハ私ニ控業スル事ガ出来ナカワタト彼ハ語ツタ。彼ハ最近結婚シタノデアツタ。彼ノ妻ハミフシヨン、スクールニ行ツテ居ルノデアツタ。彼ガ云フニハ、彼ハ過去ニハ、ソウデナカワタガ、其時ハ進歩的デアツタト云ツタ。

ソシテ外国人ト其ノ妻トノ間ニソレガ如何ニ見アルカラ見タノデアアル。彼ガ妻ト一緒ニミフシヨンスクールノ会ニ行ツタト云フ事、彼ガ妻ト一緒ニ知ラナイ人ノ間ニ出タト云フ事、ソシテ又妻ト一緒ニ歩イテ家ヘ帰ワテクルノヲ人ニ鬼ラレタト云フ事ガ旧式ナ彼ノ母ノ耳ニ入ツタノデアアル。彼ノ母ハ怒ツタ、紳士ガ丸デ百姓デモアルカノ様ニ、公衆ノ中ヲ見セビラカシテ歩イタリ又妻ガ

歌唱ヒノ少女デモアルカノ様ニ、鬼知ラ又男ニ話シカケテ居ルノヲ、デワト鬼テキル事ガアリマスカラ、彼ノ母親ハ、コウユウエ合デアツタガ、彼ノ妻ガ同ジ様ニ怒ツタノデアラウ。彼レハ近代的デアツタノカ、ソウデナカワタカ、又彼ハ「旧イ國ノ人間」ノ一人デアツタノカ。彼母ハ自分トシテハソウデハナカワタデアラウ。彼トシテハ、悲シイカナ運命デアツタノデアアル。何ントナレバ彼ノ母ガ、存行ハ無頼漢デナイ人ニハ、第一ノ要求デアルト云フタガ、全ク当然デアツタ。彼ノ妻モ彼母ノ事ハ何ニモ言ハズ、彼ガ彼ノ教育ト信念トニ対シテ、忠実デ

アラネバナラヌ。ト云フタノハ同様当然ナ事デアワタ。
「貴男方、外国人ハ何ント幸福デセウ。貴男方ノ生活ハ
大変簡易デアアル」。ト彼ハ曰ワタ。

私ハ支那ニ五年位住ミ。多数ノ支那人ノ友人ガアリ。
其ノ多数ハ友人デアワタ。私ハ彼等ノ内ニ唯タ三人タケ
ノ妻ヲ見タ事ガアワタ。私ガ1927年ニ支那ニ最後ニ
行ツタ時、数年間不在デアワタ事ガアル。

私ガ到着シタ翌晩 私ハ上海ノ新ラシイ流行ノホテル
ニ於イテ、支那人ノ宴会ニ招カレタ。私ガ入ルヤ離レタ
戸口ニ棒ドラレタ光景ニ衝動ヲ受ケテ、根ガ生エタ様ニ
突立ワタ。

ソコニ私ハ女——支那人ノ女——トソウシテ、
ダンスヲシテ居ル所ヲ見タ。男トダンスヲシテ居ルノタ
、ソシテ其ノ男ハ彼女等ノ夫テハナイノダ！
ソシテ私ハ僅カ、ニ三年前ノ北京ノ教師ノ事ヲ思ヒ出シ
タ。

本質的ニハ支那ハ、今ヤ産ニアル。殆ンド支那ハナイ
ト云フテモヨイダロウ。
過去ノ支那ハ既ニ去リ、若シクバ去リツツアル。萌芽ノ
中心カラ、離レテ対外的ニソウデアワタ様ニ、村内的ニ
モ生活ノナイ。皆イ支那ノ痕跡ガアル。今日支那ニ在ル
物トルヲ捕ヘル事ハ出来ナイ。何ントナレバ、目ハ何等

ノ映像ヲ形造クル事ガ出来ナイカラデアアル。

ソレハ庶幾ニ向ワテ、余リニモ運カニ移ツテ居ル。来ル
ベキ支那ハ直覺サヘモサレ得ナイノデアアル。

此処彼処ニ、明滅スルデアラウ物ハ、ボンヤリシタ前途
ノ影響モ余リニモ雲ワテ、輪廓ヲ形造ル事モ出来ナイ。

一ツノ種族ガ、ニツノ生命ヲ持チ得ルデアラウカ
如何ナル人モ、再生ヲ有シ得ルデアラウカ、其ノ精心ガ
注ガレ根柢カラ破壊サレ三千年ノ間共ノ根ガ、土ノ中ニ
節ヲ持チ、マダテ他ノ文明ノ中ニ、再ビ実ヲ結ブ所ノ
文明カラ離脱スル事ガ、出来ルデアラウカ。

如何ナル種族モ、嘗ツテ、ソウ云フコトハナカワタ。
一度朽チ果テタル、絶ベラノ種族ハ彼等ノ記憶ノ中ニ唯
ダ亡霊トシテ生き残ワタノデアアル。

又一方ニ於イテ、支那ノ歴史ハ常ニ循環シテ動イテ来
タ。然シテ、コレハ單ニ直線ノ下ノ振動ニ過ギナカワタ
カモ知レナイ。

支那國民ハ従前ノ如ク、低ク落ち、ソウシテ常ニ表ハレ
テ来タノデアアル。過去百年間ニ於ケル、彼等ノ生存コ
ソハ、正シク其ノ種族ガ、マダ衰ヘナイト云フ証據デア
ラウ。兎角新シイ局面ニ入ツテ来タ。決シテ戻ル事ハ
出来ナイ。

支那ノ混沌ハ文明ノ拂曉デアアル。政治的陰謀及ビ内乱

報尊ヲ為ス所ノ物デハナク。ソレハモワト重大ナモノ
デアル。

第十三章 将介石

P. Q. R.

支那人ハ丁史ハ繰返シテ居ルト云ヒタガツテ居ル。
支那人ハ張作霖及ビ滿州王朝ノ衰微、ソレ等ハ大平朝ノ
亂士匪ノ興起、強國ノ假面ノ元ニ野蠻人ノ侵入及ビ
三王朝ノ物語ノ十九世紀ノ輻位ニ依ツテ、頭着ナ物デア
ソタ。ching 又ハ滿州王朝ノ衰微ヲ見タ今日、彼等ハ二
十世紀ノ漢朝ノ勝利ノ望ミアル。将介石將軍ノ指導下ニ
南京政府ノ成長シツツアル叔ガヲ見テ居ル。

殆ンド問題ナシニ、彼等ノ繁榮、衰微、混沌、復興ノ
大キナ因ニ、彼等ヲ置イテ居ル宿命ヲ受メレテキル。
ソシテ彼等ハ殆ンド、混乱ノ一期ノ後、命ゼラレタ天國
ハ、今ヤ Fenghua 地方ノ無口ノ軍人ノ賜デアフタ事
ヲ諸君ニ告ゲルデセウシ、又(若シ彼等ガ、尚モ古典的
ナ言葉ヲ用ヒルナラバ、告ゲタデアラウ)

宿命以エノ何ニカラ、人類ノ丁史ニ見テ居ル支那人ハ
又人間自身ノ精心ノ中ニ、秘密ナ出来事及ビ行動ノ彈力
ヲ見ル事ヲ克ブ所ノ支那人ハ、此ノ人間ノ性格ノ見切リ
ニ於イテ、一時的ナ支那ノ判ジ物ヲ読ムグロウ。

ソシテ彼等ハ、偉大ナ物ノ精確ナ度合ヲ測定スルノニ
時間ヲ費サナイダラウ、ソシテ彼ノ資質ハ人間ノ間ニ、
異状ナ高度ニ彼ヲ上昇セシメルノヲ知ツテ居ル。

蒋介石ハ亦 *Chiang Chicksih* トシテ知らセテ居
ルガ、此月デ四ハゴデアラダラウ、ニゴノ時ニ父ヲ喪フ
テシマツタ彼ハ有名ナ母ニ依ツテ、養育サレタ。——
ソシテ支那ハ有名ナル母ノ土地デアル—— 英ノ有名ナ
母ハ *Chiang* 地方ニ於ケル、小サナ商人ノ資本カラ
起ツタ、彼ノ生レ場所 *Funghua* ノ村ハ彼ガ、最初ニ
英ノ村デ生レタ爲ニ有名ナノデアル。

彼ノ初メノ経歴ハ善ク知らレテ居ル。彼ノ日本ニ四年
間滞在シタ事ハ、東京ノ士官学校デ、何ニカノ戦争技術
ヲ彼ニ教ヘタ。併シモツト重要ナ事ハ、彼等ハ亦彼ヲ支
那革命ノ羊小舎ノ中ニモタラシタ。何ントナレバ「*Kuo
min tang*」ノ先駆者デアル *tung min idui*ニ
参加シタノハ、日本ニ於イテデアツタカラ、革命ガ起キ
タ時、彼ハ自己ノ運命ヲ孫逸仙ニ託シタ。ソシテ1913
年ハ孫逸仙ニ非常ニ信頼サレテ秘書トナリナガラ彼ハ投
資ノ上海ノ適度の熱烈ノ一ツデ收穫シタ相當ノ額ヲ、
イケカバチカノ軍事資金ニ注ギ込ンダ。

孫ノ特別使者トシテ、モスコヲ訪問シテ帰国シタ後
数年後ニ、彼ノ後ノ経歴ノ基礎ヲ築イタ所ノ今ノ有名ナ

Whanupoa ノ軍官学校ノ指揮者ニ任命サレタ。ソヴ
エツトノゲレン將軍ハ彼ヲ高く教授シタ。ソシテ、ボロ
ゲンハ彼ヲ統率者ノ地位ニ於イテハ彼ノ時代ノ總ベテノ
統率者ニ卓越シテ居ル一人トシテ選リ抜イタ。實際ニ被
ノモツト公平ナ臆間ノ一ツニ於イテ、カントンノ国家主義
者尊者ハ終ニ *Yangtze valley*ニソレカラ北京ニ運動ヲ
及ボシタ所ノ「北方征討」ノ彼等ノ計畫ヲ定メテ居タ時
ボロンゲンハ言ツタ「君ハ黨カラカカル戦役ヲ全ウスル
能カハナイ併シ若シ君ガ *Chiang* (將)ノ命令ノ下ニ
君自身ヲ置クナラバ君ハソレヲ爲スダラウ」ト此ノ称揚
サレタ支那ノ若者ハ支那カラ彼ヲ方向転換させ、ソシテ
世界革命ノ極東ノ翼トシテノ一線ニ支那ノ国民主義者ヲ
揺レ動カスソヴエツトノ(役割ヲ演ズル者ノ彼ガソヴエ
ツトニハ)容ニモタラス運命ニアツタ事ヲボロゲンハ少シ
モ考ヘナカツタ。正シクソノ様ニソレハ証明シテシマウ
タ、何ントナレバ1926年革命政府ハ、ハンコウニ建設
シタ後蒋介石ハ国民運動ノ見解ニ於イテハ、支那ノ目的
ト一緒ニ進ンデ行クオドウカ、又ソレハ露國ノ主人ノ從
屬的ニ從順ト召使トナラネバナラヌガドウカノ右スルカ
尤スルカヲ決定セネバナラヌ時期ガ未ダ事ヲ自覚シタ。
彼ハ特殊的ニ堅固サデ、彼ノ決定ヲシタ、露國トノ同盟
ヲ破棄シタソシテハンコウノ極端論者ノ政府ヲ解体シテ

ソシテ南京ニ國民政府ヲ建設スルタメニ英河ヲ下リ移ツタ。其當時カラ今日迄九年経過シテ居ル。蒋介石將軍ハアノ政府ノ主ナル支持者デアツタ。ソシテ今ハ英ノ主人デアル。彼ノ叔父ハタダテニ根本的ナ支那デアル特性カラ流レテフル。而モ支那民族中ニ普通見出サレナイ資質ニヨツテ強制サレテ居ル。彼ハ靜カデ自己ヲ信ジ、硬ク忍耐強ク、己ノ時期ヲ待ツ能力ガアリ。ソシテ本誌ラエル反対ノ裏ヲカク速カナ、決定的ナ動作ヲ持ツテ先手ヲ打ツガ能ガアル。彼ハ尙ニ從フ時ヲ知ツテ居ル又ソレヲ索廻ス時ヲ知ツテ居ル。公然タル責任ヲ取ル事ヲ避ケテ彼ハ回響者ニ蒋介石ハ老槍ナル程デアルトサヘ云ハレタ程ニ屢々示シクノデアルガ、ソレニモ拘ラズ彼ハ殆ンド統ベテノ失フタメノ原因ヲ棄テ去ル程ソシテニ熱烈ニ憤然ニ當面シ、生き残ツタノダ

南京政府ノ生命ノ初階段ニ於イテ、彼ハ自身ノ限界ヲ明瞭ニ熟知シテ居ル。特ニ國民的仕事ニ於イテ、純然タル政治的側面、及ヒ經濟的側面ニ、ソシテ数年ノ間彼ハ假定ノ將棋盤上ノ政治上ノ軍勢運動及ヒ内乱ニツイテ、毎日、毎時間毎ニ專心ニ身ヲ浸シテ居タカラ彼ハ時間ハナカツタ。ソシテ恐ラク嗜好モナイシ、彼ノ廻リノ昇騰スル騒キモ定メル問題モ吟味シナイ。其ノ時ニ於イテスラ、彼ノ耳ヲ得タ人々ハゲームニ於イテ、次ノ運動ノソレヨリ

モツト大ニイ見解ヲ取ル可能性ガアツタ事ヲ知ツテ居ルソシテ彼ハ革命ノ基礎的問題ノ彼等ノ議論ニ熱心ニ耳ヲ向ケタ。併シ彼ハ自分ノ相談相手ヲ備ヘテ置イタ。ソシテ或ル遠イ未来ニ此等ノ終局ノ問題ヲ追ヒマル癖ガアル様ニ思ハレル。今日彼ノ精進ハ非常ニ増大シソシテ成熟シ切ツテ居ル事ハ明瞭デアル。ソシテ特種的ナ現實主義ヲ以ツテ、彼ハ困難ノ過程ニ於イテハ或ル基礎的ナ真理ヲ悟ツタ事ハ少シノ疑問モナイ。ソシテ *Kiangsi* = 於ケル共產主義者ト屢々無益ノ戦争ヲシタ。而モ日本トノ今ノ圧致スル傷勢ナカリセバ彼ノ政策ハ此ノ経験ノ成果ヲ示シタラウ。

日本ノ主張スル要求テ、対抗シタノデ、彼ハ今マ優レタル決定ヲ下サズバアラヌ時期ニ到達シテ居ル。彼ノ道ハ *scylla* ト *charybdis* 同ニ横ツテ居ル。例ハ支那ニハ餘程ノ犠牲デアツタニシテモ、彼ハ今迄ノ所デハ、成功裡ニ交戦ヲ避ケテ持久戦ニヨツテ、勝ヲ制スル古代ノ *フアビアス* 將軍ノ戦畧ニ倣ヒ、緩慢ケル人ノ方ノ役ヲ務メタ。併シ靈巧ノ彼ノ自由ニ動かヌ事ノ出来ナイ制限ハ狭クナリツツアル。若シ彼ガ日本ノ圧迫ニモツト屈服スルナラバ、彼ハ自分ノ國ノ國民カラノ支持ヲ失フ重大ナル危機ニ當面スル。然ルニ若シ勇敢ニ日本ノ要求ヲ排除シタナラバ、彼ハ自分ノ首府ガ、日本艦隊ノ大砲

次ノ下ニ見ラレヨウ。ソシテ国家内ニ於ケル新シイ根柢ヲ求メルクメニ、走り廻ルデアラウ。其ノ系争問題ハ彼ニハ全クソレ程ニ赤標々ニハ表ハサレテ居ナイカモ知レナイ。何ントナレバ、日本ノ政策ノ実行ニハ或ル中庸ノ北根ガアルカラ吾人ハ次ノ事ヲ確信シテ居ル即チ日本ノ軍部ハ玄田氏ノ中庸政策ハ蒋介石ニ取ソテハ余リ容易ナモノトナラナイ様ニ監督シテ居ル、ソレ故ニ蒋介石ノ道ハ實際狭イ海峡ノ中ニ横ハツテ居ル。總ベテノ出来事ニ於イテ、此レハ信頼ヲ以ツテ言ヒ得ル。又蒋介石氏ノ如ク自信ヲ以テ航機ヲ取ル事ノ出来ル、他ニ生キテ居ル支那人ハナイト云フ事モ言ヒ得ル。ソシテ漢朝ノ後継者ニモ、政治的統率ノ困難ナル技術ニ於イテ、蒋介石ノ如ク出ルト呼バレル人ハ全支那丁史ニ於イテモ多クハナカツタ。

{ 1936年十月九日 スペクテイター
(ロンドン) 誌ヨリ取載

第十四章 極東問題

J. O. P. ブラント.

満州、マダラレナア湾、又ハ マアシャル群島ニ何が飛用シヨウトモ、日本ノ政治家ハ完全ナ首尾一貫セル正当ノ政策ヲ指示シタ。其ノ政策ハ日本ト アングロサクソン民族間ノ重大ナル摩擦トナル様ニ總ベテノ直接ナ見止メノアルモノヲ排除センガタメニノミ正当ニ会得サレネバナラヌ物デアル。

日本人、自分ノ國カラ支那ヤ安南ノ労働者ヲ放出スル事ヲ一寸モ、躊躇シナイ日本人ハ、アデア人排斥運動ヲ組織スルタメニ、アメリカ、カナダ、オーストリアヲ強例シテ経済的仕事ニ完全ニ生キテ居ルノデアル。(経済的ニ同ジ状態デアル) 總ベテノ問題ヲ越エテ、彼等ハ此等ノ行動ノ正当ナ保護スベキ目的ナル事ヲ認メテ居ル。彼等ガ異議ヲ申立テル事ハ非常ニ正当ニ、白人種ノ人種的、道德的、優越感ノ言ハズトモ知レタ層越デアル。彼等ハ大平洋ニ面シテ居ル、国家ニ居ル支那ノ労働者ニ対スル異議及ビ カルフォルニアノ諸学校ノ日本人ノ子供ニ対スル異議ハ丁度露國ニ於ケル反セミ族運動ト同ジ経済的原因ニ全ク帰セシメラレル事ヲ善ク知ツテ居ル

彼等ハ次ノ事ヲ知ツテ居ル、即チ亞細亞人ハ彼ガ汚スカ
ラデハナクテ、單ニ機械的均等ナ労働競争ニ於イテハ、
人ヲ滅ジテシマウタメニ排斥スルノデアルト云フ事ヲ、
自由貿易、無制限移民ヲ信仰スルト宣言シテ居ル、英國
ハ、此ノ問題ニ付イテハ「虚心淡白ナ構心デ相談」ヲス
ル事ハ出来ナイ。其ノ相談ニ對シテハ、同盟ノ原文ヲ精
ヘテ居ルカラ、打明ケテ言フ事ハ英國政府又ハ海外植民
地諸法令ニ對シ不合理ニ見エサセル事ニナル。同様ニア
メリカモンロウ主義及ビ亞細亞ノ門戶開放主義ヲ抱持シ
又各人ハ国籍、住居ヲ自由ニ移ス事ヲ得ル権利ヲ有スト
宣言シテ居ル條條ヲ持ツテ居ル、合衆國ハ慣習化サレタ
高尚ナ政治的道德ヲ、日本ノ政治家ト排斥法令ヲ討論ス
ル位置ニハ居ナイ。アングロサクソンノ最終ノ議論ハ吾
人ガ、ソレヲ懲服シテ居ル様ニ、カニ泳ツテ尻押ヲシテ
居ル自己保持ノ嚴固ナ原理ニヨルノデアル。

猶テ過去十年間ノ歴史ニ於イテ、何ニカ他ノ物ヨリモツ
ト顯著ニ見エル一箇ノ事實アリトスレバ——即チポー
ツマス條約ノ締結以來——日本ノ政治家ハアングロサ
クソン人種ノ自己保護的活動ヲ認識シ、受ケ入レル用得
ヨシテ居ル事デアリ、又日本ハ經濟的の必要ニヨリ、指導サ
レテ居ル。地理的の重力ノ線ニ沿ヒテ單ニ自己保持ノ日本
自身ノ國民的本能ニ從フヲ認メテ居ル事ヲモ備ヘテ居

ル。言葉ヲ換ヘテ言ヒバ、支那人ノ綿薄ニ住ンデ居ル滿
州及ビ蒙古ノ屬國ノ擴張ニ依ツテ、極東ノ最近ノ歴史、
粗略ナル研究デスラ、此ノ結論ヲ明瞭ニ指摘シテ居ル。
日本ハモンロウ主義及ビ亞細亞人排斥法令ヲ受ケ入レル
用得ヲシテ居ナイト同時ニ商業勢力ノ因襲的政策ニ從フ
用悉モシテ居ナイ。其ノ商業上ノ勢力ノ因襲的ナ政策ハ
支那ノ現状維持ニ存スルノデアル。ポーツマス條約及ビ
他ノ條約ノ規定ニ依ツテ、日本ハ自身支那ノ領土の完全
ヲ並ビニ主權ニ對スル侵襲ヲ懼ンタ事ハ確實デアル。併
シ最近ノ改羅邑ノ慣習ニ訓練サレタ日本ノ外交ハ條約ヲ
造リエゲタリ、條約ヲ破棄シタリスル優シイ技巧ニ入勝
レテハ居ナイ。日本ノ外交術「特別ノ原本ノ解釋」及
既逆事實ノ決定的ナ価値ニ對スル「時」及「場所」ニ余
リ、モテヨウメンスギル事ヲ始メタ。支那ニ関スル限り
ポーツマス條約ノ保護ノ節ハアメリカニ於イテハ、非常
ニ満足デ敬禮サレタ。ソウシテ日本ト露國ハ各自ノ領土
ニ於イテお互ニ敵對シテ居タニシテモ、有効デアル様ニ
ハ思ハレナカツタ。アノ條約ニ從フテ、支那ハ此ノ肥沃
ノ地方ノ富源ヲ防害モナク、彼等自身ノタメニ政務スル
様ニ認メラレテ居ルデアラウト云フ事ヲ希望シ又信ジタ
此等ノ人々ハ日本ガ旅順港ノタメニ露國ト無理ニ戦フ様
ニサセラレタ。避ク可カラザルは要ヲ少シモ知ラナイ。

ポーツマス條約締結後同モノク其ノ同ジ必要ガ英國ト併
 蘭西ノ情アル納得ヲ事實上確實ニシタ所ノ條件ノ元ニ
 分捕品ノ分割ノタメニ露國ト協約ヲ結ブ様ニ彼ヲ導イ
 タ。分捕品ノ此ノ協約ノ締結ニ基ヅイテ「一協商」トシ
 テ知ラレテ居ル外交ニ依ワテ、ポーツマス條約ハ反古ニ
 ナワタ。ポーツマス條約ハ時ト体面ヲ保ツ秀案以外ノ何
 物モナカツタ。其ノ結果ハ多事デアツタ。支那ハ北部鉄
 道ノ拡張ニ依リ滿州ニ於ケル支那ノ商業ノ發展ヲ認メナ
 カツタノミナラズ、又日本ト露國ヲ分離サセ而シテ、青
 島ノアイグン自動車道路、英米ノ資本ニヨル建設ヲ連合
 シテ否認シタノミナラズ彼等ハ更ニ此レ以上ノ事ヲ行フ
 タ。即チ支那ガルーズニ維持シテ居タ蒙古屬國ノ特別
 ナ權利、利益ヲ確實ニシ、玄メタ又支那ノ臣民ニヨル植
 民ヲ禁ジ、彼等ノ一般ノ貿易、鉱山局ヲ確立シタ。1910
 年ノ終リ迄ニ大城壁(万里ノ長城)ノ北方ノ全地方中ノ
 支那ノ主權ハ明カニ運命ヲ定メラレタ。アメリカノ大蔵
 大臣ノ指揮下ニアル、セクレタリーノワクス氏ハ滿州鉄
 道中立ノ彼ノ計劃ニヨリ又華外交ノ孤立ノ速出ニ依リ、
 又總ベテニ関シテ居ル門ヲ開放ノ誓言ハノ真面目ニ世論
 ニ訴ヘル等ニ依ツテ、避ケ得ガル物ヲ防グベク單ニ無欺
 ナ計劃ニ一時ダケ骨ヲ折ツタ。彼等ノ唯一ノ結果ハモツ
 ト有効ナ協約ノ締結ニ日本ト露國ヲ一層密接ニスルタメ

デアツタ。1910年ニハ、俄立ガ日本ニ依リ又總ベテノ
 露國ニ依リ嚴格ニ保護サレテ居タ朝鮮ハ朝鮮ノ主權ノ喪
 リ津ヲ証文ニ善イテ讓ル様ニ説得サレタ。ソシテ日本帝
 國ノ完全ナル一部分トシテタ。隠遁者ノ王国ノ此ノ消滅
 ハ改竊色及ビアメリカニ依ツテ煙滅スベク送ラレタ。其
 ノ一片ノ紙ハ現實若シクバ重要ナル利益ヲ代表スル様ニ
 止ワタ。コレガソウデアアルノハ地理的ニ重要ノ勢力ガ反抗
 ニ公認ハナイ。サウシテ經濟的ノ利益ノナイ國民ノ消滅
 ハ新聞ニ於ケル表面上ノ告別ノ論題ヲ呼ビ起スニスギナ
 イ。我々が支那ニ深く同情シテキタノハ、我々が日本ノ
 領土擴張論者ノ政策ヲ速急ニ批評モシナカツタデアラウ
 シ。又非難モナイデアラウ。重要ナル原因ニ於テ又其ノ勝
 敗ノ可能ナル結果ニ於テ或ル根本的ナ眞實ハ屢々感情ノ
 見解カラ極東問題ニ近付イタ所ノ著者ニヨフテ見落サレ
 テ居ル。先ヅ第一ノ場所ニ於テ日本國民ハ印度ヤ支那ノ
 代表的ナ不活動ノ東洋ノ人種カラ根本的ニ異ツテアルト
 キフ考ヘサヘ心ニ持タネバナラヌ。デヨン・スチユアート
 ミルノ言葉ノ中ニ、日本國民ハ活動的ナ「自助」ナ國民デ
 アル。帝國主義ノ理想ニヨツテ鼓吹サレタノミナラズ、
 強イ物質的ノ本能ヲ持ツテアル一國民デアアル。印度ヤ支那
 ニ於テ、食物ノ供給ニ對スル人口ノ互迫ガ鏡クナツタ時
 ニ心擇改イ動キ疲レタ数百万ノ人達ハ宿命論ニ從フテ、

死ニ就イタ。数千人及数万人ニ依ツテ殆ンド不平モ云ハズニ彼等ハ疫病ヤ流行病及人道学者ノ避ケル事ノ出来ナイ、重荷ノ一部分デアアル飢饉ヲウケナガラ寢床ニ行クカ如クニ彼等ノ墓場ニ行ク、南方ノ海岸地方ニ於イテノミ支那ノ更ニ多クノ男ノ住民達が移民ニヨツテ此ノ荷ヲ少クシ様ト務メテキル、ソレカラ又仕事ヤ海外カラ富ヲ求メル事ニヨツテコノ荷ヲ少クシ様ト務メルデアツタ。然シ個人個人ニ又團體的ニ其ノ民族ハ戦争ヤ適者生存ニヨツテ拡張ノ新ル問題ニ解決シタ所、自助ノ本能ニ欠ケテ居ルデアアル。

第二ノ場所ニ於イテハ日本、広イ國境ノ重要ナル地帯サマ食物ノ新ラシイ源ヲ供給スル事及日本ノ産業ノ捌ケ口デアアル新ラシイ市場ハ非常ニ大キイ度合ニ於イテ、アングロサクソン國民ノ政策ヤ例ニヨツテ日本ニ強制シタト云フ事ヲ思ヒ浮ベネバナラナイ。自己防衛ニ於テ彼等ハ我々カラ都會ニ於ケル機械労働ノ組織ヲ学ンダ、吾人ノ例ニ從ハバ 彼等ハ農業ノ状態カラ産業國民ノ状態ニ素早く通リスギテシマツタ、之等ノ經濟的ナ変化ヲ以テ現代ノ衛生科学が生ジタ、其ノ直接的ナ結果ハ其ノ國ノ農業ニヨツテ生キ、又農業ノタメニ生キタ時ト思換ハラレタ夫レヨリモ遙カニ大キイ住民ノ増大ヲナシテキル。産業主義ガ始ツタ前ノ一八七五年ニ十五万平方哩ニ住ン

デ居ル日本ノ住民ハ三十四百万人デアツタ、昨年ソレハ五千四百万人デアツタ、ソシテ死亡ヲ差引ケバ新ラシク生レル人ノ平均毎年ノ超過ハ概略七十万人デアアル。日本ノ古來ノ政治家ハ、彼等ノ統ベテ、常規ヲ逸シナイ政策ガ立証シタ様ニ産業競争ノ永続的ニ増大スル激烈サノ日本ニ及ボス重要性ハ、大分前カラ豫期シテ居タ、彼等ハ次ノ事ヲ実感シタ。即チ食料品並ニ原料品ヲ生産品トノ交換ニ彼等ノ生存ガ頼ツテ居タ況山ノ因ガ増シタノデ、又余リ有ル食料ヲ供給シテ居ル國ガ段々少クナフタノデ、日本ハ大量ノ移民カ又ハ領土ヲ擴張シテ、物資ヲ供給スル新ラシイ富源ト日本ノ有リ余ル人口ノ捌口トヲ発見スルノガドケラカヘノ政策ノ変更ニ当面セネバナラヌト云フ事ヲ彼等ノアデア人排斥法ニ依ツテ、アングロサクソン人ハ、日本ノ労働者ハ豊富ト收穫ヲ收得シテ居タ世界ノ此等ノ部分ハノ移民ヲ禁ジタ。

次ニ少サイ驚嘆ガアル、ソレハ日本ノ賢明ナ統治者ノ眼ハ朝鮮及ビ肥沃ナ、人ノ住ンデ居ナイ滿州地方及ビ此等ノ土地ノ所有ガ、日本ノ政策ヲ万事終局スル様ニ爲フタ所ノ蒙古等ニ集注スル様ニナツタ事デアアル。其ノ政策ニ向ツテ進ンデ行ク目的ハ、國民ノ全希望及ビ精力ヲ常規ヲ逸シナイ様ニ指導スル事デアツタ。三年前ニ議會ニ於イテ小村伯ガ、次ノ様ナ事ヲ話シタ。

「極東アジア 日本ノ移民ニ対スル唯一ノ安全ナ烟デア
ル」ト伊藤公及ビ他ノ現代日本ヲ作り上げタ人達モ同様
ノ意見デアル。大隈伯モ此ノ問題ニ付イテハ、迷想論ヲ
持タナカッタ。若シ往々日本人ガ、カルフォルニア及ビ
メキシコニ於ケル、モンロウ主義ノ反映スル勢力ヲ試
ント望ンテ居ル様ニ思ハレタニシテモ、若シ彼等ガ、バ
ンクバー及ビボノルルニ於イテ活潑ニ展開シタニシテモ
又南方海上ニ於ケル島ノ生産高ニ被等ノ眼ヲ投ゲタニシ
テモ、此等ハ政治的側面ノ發生デアツタシ又最善ヲ爲ス
ト (do ut des) ノ原理ノ適用ノ好機ヲ作り出スタメニ
深ク考慮サレテ計劃サレ追求サレタ。露國ノ侵襲ガ黄海
ノ海岸カラ掃蕩サレナカッタ前ニハ、日本國民ハ西洋世
界ノ機械、軍事科学ヲ習得シ様ノ忍耐強イ別レザル愛國
心ヲ持ツテ働イテ居タ間、全國民ハ日本ノ運命ハ朝鮮及
ビ滿州ノ背地ノ争鬭ニ懸ル事ヲ知ツテ居ル。極東アジア
ハ露國ガ勝テ残り、旅順港ヲ有シテ居ル限り、日本ノ移
民ニ取ツテハ安全ナ烟トナル事ガ出来ナカッタ。
ソレハ常ニ視界ニ於ケル唯一ノ可能ナ烟デアツタ、下関
條約以來ノ日本アタノ各員ハ、出来ルダケ早く極東アジ
ア(アノ烟)ヲ安全ヲ收穫ノアル物ニセンガタメノ日本
ノ政治家ノ意識的ノ目的ヲ明カニシテ居ル。日本ノ領土
擴張政策ハ露國ノソレトハ同ジデハナイガ、昔メカラ

終リマデ自己保存ノ優越ナル原則ノ認識ニ依リテ指揮サ
レテ居タ。數百萬ノ無防備ノ支那人ニ重大ナ不正ヲ加ヘ
ル事ニ依リ又舌シマセル事ニ依ツテノミ日本ノ東アジア
ハノ移民ガ、実行サルト云フ事實ヲ吾人ハ悲シム。蒙古
ハノ植民ヲ策ジ、段々ニ滿州ニ於イテ服從民族ニ化シ、
又有力ナ勢力ノ衣ヲ被ツタ權利及ビ独占ニ依ツテ彼等自
身ノ利益ノタメニ彼等ノ國ノ富源ヲ改竄スル事カラ防イ
ダト告々ハ假定シテモヨイ。支那人ハ生活ノタメノ鬭争
ガ、非常ニ烈シクナツタ事ヲ察明シタニチガヒナイ。
ソレニモ拘ラズ、全ア史ガ其ノ人種ノ現實ノ及ビ未來ノ
必要ヲ豫期シテ領土ノ擴張ヲシテ居タ、アングロサクソ
ン人ハ日本ノ政策ヲ批評シタリ又ハ善惡ノ判定ヲ下ス倫
理的ノ根據ヲ想定スル事ハ出来ナイ。國民ノ間ニ適用サ
レテ居ル如ク自己保存ノ原則ハ利他主義ノ目的ヲ認メナ
イ。赤色人、黄色人、褐色人ハ太陽ノ輝ク場所ヲ求メル
争鬭ニ生き残ル事ハ不適當デアル事ハ歐羅巴人ニヨリテ
辨棄サレタ條約及ビ協約ガ、過去ニ於イテ爲シタ様ニ
私利ニ基ヅイテ日本ノ行動及ビ意思ニ反対スル事ハ正当
デハアラウガ、高イ道德的ニ根柢ニ基ヅイテ日本ノ行動
及ビ意思ニ反対スル事ハ偽善デアリ、無駄デアル。極東
問題ニ於ケル英國ノ利益ハ一部分ハ經濟的デアリ、一部
分ハ政治的デアル。日本ノ利益ハ国家的デ生死ニ関スル

物デアル。

着者ハ極東ニ彼ノ生涯ノ大部分ヲ費シタ
 英國ノ新聞記者デアル。
 此ノ論文ハ極東ニ於ケル日本ノ目標ノ一
 解決ヲ下シテ居ルモノデアル

第十五章 日本はこれを護り権利を有するや

チヨ一、ブロンソリ一

庫倫の脅威

露國ヲ包含スル全強國ヲ簡潔ニ述ベタ、而シテ彼等ノ一
 國家的保障ノ保護或ル根本的ナ主義ヲモ付加シタ。滿州
 ニ於ケル日本ノ最近ノ行動ニ就イテ、全強國ノ唯一ツノ
 日本ガ自己ノ生死ニ関スル利益ガ、危クサレタ時ニ、自的
 ノ法律ヲ引証ス權利ヲ付与セラレテ居ルカドウカニ關ス
 ル質問ヲ惹起シタ所ノ干涉ヲ求メテ支那ハ、直チニ國際
 聯盟ニ提訴シタ。「吾人ハ世界ノ一部分ニ一原則ヲ適用
 シ又他ノ場所ニ、他ノ原則ヲ適用スル事ハ出来ナイ」
 總ニル器械ノ敗北ヲ招ク事ナシニ、更ニ世界平和保持ノ
 計劃ヲ立テク。印度、エヂプト並ビニメソポタミアニ於
 イテ大英帝國ニ正当デアリ、又善クアル事ハ同様ニ、ア
 ルゲレリー、モロワゴニ於ケルフランス、地中海ニ於ケ
 ル伊太利、カリビアンニ於ケル合衆國等ノ正当デ善クア
 ル事ハ亦滿州ニ於ケル日本ニモ正当デアリ、善クアラホ
 バナラヌ。而シテ更ニ大キキ理由ヲ持つテ居ル、柯ント
 ナレバ是等ノ他ノ戰畧的地方ニ於ケル脅威ハ違クテ、未
 解決ノ問題ナルガ故ニ、滿州ニ於イテハ急層デアリ、眞
 實デアルカラ、露國ノ脅威ハ日本ニ段々ニ近ツイテ居ル

ソシテ日本ハ自己ヲ保護スルタメニ、速カニ次カラ次ハト移ルニ非ラザレバ、国際聯盟、国際裁判所、ケーロツク不戦條約、四ヶ國・若シクバ九ヶ國條約ノドチラモ、避ケ得ラレザル衝突ヲ避ケル事ハ出来ナイ。何ントナレバ、此レニ付イテハ誤リハシナイカラ、露國ハ全世界ト戰爭ヲシテ居ル。其ノ戰爭ハ五ヶ年計劃ヲ通ジテ、又經濟的攻撃ニヨリテ、始メラレタ。時期ガ好都合デアル時ニ、偉大ナル赤軍ハ移動スルデアラウ。而シテ第一ノ目的ハ支那ニアルデアリマセウ、特殊ノ極東軍ハ支那ノ形勢ニ注意ヲスル様ニナツタ。其ノ勢カハ秘密ニ隠クサレテ居ル、併シソレハ歐羅巴 ロシアト復線鐵道ニ依ツテ此等ノ中心ヲ連結シテ居ル、イラスクトケタニ根據ヲ置イテ居ル。而シテ一ツハ *kentnetz* ニ今一ツハ *magneto-gorak* ニアル。ニツノ巨大ナ鋼鐵工場ハ軍隊ニ、軍需品ヲ供給スルタメニ鋼鐵ノ三百万トン以上ヲ産出スル能力ガアル。此ノ赤軍ノ勢カヲ知ツテ居ル者ハ何ニモナイ、併シソレノ攻撃カハ蒙古ノソヴエツトノ支配下ニ横ハツテ居ル事ハ絶バテノ权威アル軍事視察者ニ依ツテ認めラレテ居ル。ソレ故ニ條約ノ確實サ並ビニ滿州ニ興スル他ノ問題ヲ越エテ、日支間ノ論争カラ全ク高レルト各國ガ、ソレ自身ノ保証ニ脅カサレテ居ル別ノ権カニ依ツテ為サレタ行爲ニ服従スル事ヲ享受スル権利ニ入ル。

專莫ハ骨ヲ折ル事ニ依ツテ得ラレル事ハ少イ。事實ヲ陳述スル事ハ事件ヲ陳述スル事デアル。スラブ民族ト蒙古民族トノ中間國トシテ、蒙古ヲ保持スル專政主義露國軍ノ根本的ナ改メル事ノ出来ナイ主義ニ執着スル事ハ支那ノ侵入ト植民ニ到達スルノテアル(終ル)。ソヴエツトハ大成功裡ニ此ノ地方ヲ支那本部カラ切斷シタ。而シテソレヲ獨立社會主義共和國ノ組織ニ合体シテシマツタ。ソレヲ爲ス事ニ於テ、露國ハ更ニ支那侵襲ヘノ領土ヲ近づケタ。ソシテ外國ノ旅行者ヲ觀察ニ逆ツテスラソレヲ封印シタ。外國人訪問モ出来ナケレバ居住スル事モ出来ナイ。ソヴエツト、ボスポートガナケレバ蒙古ヲ横斷スル事ハ出来ナイ。——ソシテ、ボスポートハ支那ニ信任狀ヲ受ケテ派遣シタ外國ノ領事デスラモ当然ニ下付サレハシナイ。1896年カラ1904年迄滿州デ露國ガ実行シタト同じニ、露國ハ今蒙古デ行動シテ居ル。露國ノ地方(領土)ニテツタ滿州ハ外國貿易ヲ旅行ニ塞イダ。蒙古ハ今秘密ニ封印シテ居ル。ソシテ閉ジター個ノソヴエツトノ保管物デアル。此ノ深遠ナ秘密ト入込マレナイ腹ノ元ニソヴエツトハ蒙古軍隊ヲ組織シタ。ソシテ南滿州ノ日本ノ戰畧的位置ノ側面ヲ攻撃シテ居ル。スラブ人ノ終局的決勝戦ニ向ツテ、スラブ人ノ慘酷ナル進行ニ於イテ、次ノ侵襲的行動ニ對スル準備ヲセンガタメニ、支

那ノ領土ヲ再三用立テテ居ル。支那ハ此ノ脅威ニ對シテ又國際的義務ノ免責ニ對シテ、支那ノ領土ヲ防護スルカガナイ。支那ハ蒙古ノ強奮ニ反對シテ、露國ニモ、國際聯盟ニモ、ケーロツク不戰條約ノ署名強國ニモ、九ヶ國條約ノ何レニモ抗議ヨシナカッタ。支那ハ温順ニ露國ノ侵襲ヲ受理シタ、而シテ完成シタ所ノ事實ヲ認メタ、而シテ「權論ノ命令ノ脅威」ニ反對シテ自己ヲ防護センガタメニ、日本ノ絶エル努力ニ對シテ反抗シタ。障壁ノ後ニ漏洩シテ居ル所ノ物ニ付イテ消息ヲ集メ極ト蒙古ノ境界地帯ヲ旅行シテ居ル日本ノ陸軍士官、文官、科学者ノ團體ハ逮捕サレルカ、中村大尉ノ場合ノ如クニ、ソヴエツト若シフバ蒙古當局ニ依ツテダハオクシテ、國境守備軍隊ヲ指揮スル支那ノ將軍ニ依ツテスパイトシテ即決ノ死刑執行ヲサレテシマウ、總ベテノ實際的ノ目的ノタメニ支那ハ日本ニ逆ツテ露國ト同盟ヲ結ンダ、ソシテ彼女自身ヲ防グ權利ヲ後者ニ拒否シテ居ル間ニ、戰畧的位置ヲ強メル前着ノテラユル好機ヲ許共シテ居ル、其ノ形勢ハ自尊シテ居ル軍隊組織、世界ノ如何ナル他ノ場所ニ於イテモ、黙認サレナイ物デアル。結果ニ於イテハ、日本ヲ紛碎センガタメニ露國ヲ好都合ナ戰畧的位置ニ置クタメニ支那ガ滿州ヲ露國ニ手渡シタ時ノ一時、1898年ノジヨン、ハイノ主義ニ日本ハ執着スル事ニ依ツテ、創造

シタ物ト其ノ形勢ハ殆ンド同じデアル。1890年ノ支那ノ秘密外交並ビニ支那ノ主權ノ尊重ヲ強メ、及ビ支那ノ中立ヲ防グタメニ支那ノ無能トヲ合セテ、露國ノ後ノ行動ニ於ケル支那ノ黙從ハ、滿州平野ニ於ケル1904年ニ彼女ノ生存ヲ賭ス様ニ日本ヲ強制シタ。丁度ハ本來ハ繰返シテ居ル更ニ離レテ新疆ノ遙カ西部地方ハ、ソヴエツトノ組織ノ中ニ自動的ニ引カレテキル。猶ガカナリヤヲ名メノハ唯時期ノ問題デアル。ボルガアノ蒙古人ハ独立ノ彼等ノ權利ヲ主張シテ居ル。ケレドモ支那軍隊ノ大君主及ビ匪徒將軍ハ彼等自身ノ意味ノナイ無用ノ戰爭ニ熱中シテ居ル。而シテ彼等ノ國ノ完全ヲ保存スル事ニ努メナイ。紅雲ヲ満足ト大ノ如キ相異デ、晚カレ早カレ滿州ノ野デ生存ノタメニ戰フ様ニ再ビ日本ヲ強制スルソヴエツトノ努力ヲ侵入ヲ能望シナガラ

自衛ノ法

弱イ事、無効、腐敗、支那軍閥ノ無関心及ビ日本ニ對スル彼等ノ義務ヲ果ス事ノ不承不承又ハ無能ハ、自衛法ノ發動ヲモタラス。ケマレス、シユーネイ、ハイド武ハ、彼ノ最近ノ國際法(Hague氏ガ述ベテ居ル着看ハアメリカノ障害ニ永続的ノ信頼ガテル)ノ着書ニ於イテ、次ノ言葉デ其ノ原則ヲ要畧シテ居ル。
「或ル國家ガ、行動ノソレ自身ノ自由ノ運動ニ於イテ、

悉ク爲サナカウタ他國ノ平和安全ヲ直接 危クスルト云フ事ハ國家的ノ不正ノ敗壞デアル。カカルー出来事ニ基ゾイテ、脅威サレテ居ル國家ハ自由行動ガ取レルノデアル。ソレガ侵入者ノ政治的獨立ヲ無視シテ又ソレヲ爲ス事ニ於イテ正当デアル限リ、ソレハ自身ノ防衛-----ノ要求ニヨリテ守ラレルカモ知レナイ。ソレ致ニ自己保存ノ明瞭ナ基礎ハナイガ併シ自己保存ノ一形態及ビ自己防衛ノソレノ狭小ナ確固タル基礎ガアル。其ノ基礎、エニ正義ハ勝ヲ落シテ居ルノデアル。」

モンロウ主義ニ適用サレタ如キ此ノ健全ノ原則ノ完全ナ説明ニ於イテ、国際法ニ依ツテ認めラレタ物トシテ又獨立主權ノ必要ナ系論トシテ自己保護ノ權利ヲ強制シテガラ、エルフロット氏ハ次ノ如ク述べテ居ル。

「自己保護ノ權利ノ作用ハ其ノ効果ニ於イテ、ソレヲ実行シテ居ル國家ノ領土的管轄ノ制限ヲ超越シテ拡張サレ又屢々拡張サレタト云フ事ハ善ク理解サレテ居ル。恐ラク最モ強クナ例ハ國境ヲ直接渡ル他ノ力ニ依ル軍隊ノ動員デアラウ。他ノ能力ニ依ツテ爲サレタ總テノ行爲ハ、ソレ自身ノ領土ノ内ニアラウ。ケレドモ天下ノ形勢ニ依ツテ脅威サレテ居ル國ハ否泰直接ノ戰爭ニ依ツテ保護スル事ニ於イテハ正当デアル」。Hughes 氏ガ説明シタ如ク、モンロウ主義ハ「余リニ違過ギテ、ソレ自身ヲ

保護サレナイ事件ノ一條件ヲ防グ事ニ依ツテ、ソレ自身ヲ保護スル各主權國ノ權利ノエニ安座シテ居ル」。

モンロウ主義ノ場合ニ於ケルト同じニ日本ノ場合ニ於イテモ、同様ニ國際的保障ニ害アル事ニ反対スル目的ノ宣言ハ萬國モ建設スル試ミハ包含シテ居ナイシ又或ル方法ニテ隣國ノ主權ヲ侵入スル試ミモ包含ナレテ居ナイ。合衆國ガ其ノ將來ノ平和 保障ヲ防護スルタメニ、モンロウ主義ヲ解釈シタト同じ作法デ、同様ニ日本ハ滿州ニ於ケル其ノ生命ニ関スル利益ノ同じ原理ヲ引証スベキ等シイ疑問ノナイ權利ヲ持ツテ居ル。若シモンロウ主義ガナカワタナラバ、合衆國ハ、モンロウ主義ヲ創造スル事ヲ余議ナクサレタウ、ソシテアズノ出来事ヲ以ツテ、又滿州ニ於ケル日本ノ要求スル權利ヲ以ツテ、日本ハ亦日本ヲ保護スルタメニ同様ナ主義ヲ創造スル事ヲ余議ナクサレタノダ。日本ハ滿州ノ不定ノ状態ニ於イテハ、常ニ定義ヲ下サレナイ權利ト義務ヲ有シテ居ル、而シテ又蒙古ト中央アジアノ障壁ノ後ニ漏洩シテ居ル物ニ関シテハク弘マツテ居ル秘密ヲ持ツテ居ル。弱クテ、不秩序デアル支那ガ彼ノ義務ヲ果テオカツタ時ニ、此等ノ權利及ビ義務ヲ主張スル事ハ日本ニ取ツテハ必要デアル。自己防衛ノ法則ヲ引証シ適用スル日本ノ權利ハ、日本ノ國際聯盟ヘノ執着ニ依リ、又日本ト支那トノ爭論ヲ統合スル。

又日本ノ独立ノ行動ノ自由ヲ明カニ制限シテ居ル。権利ヲ他ノ強國ニ與ヘテ此ノ國際的行爲ニ依リ多少害セラレタ。併シ自己保護、自己防衛、武装シテ干涉ノ法律及ビ現實的の幸福ニスラ適用スル直接的行動ヲ正当化スルタメニ強スル事情ハアルシ。又常ニアルデアラウ、滿州ニ於ケル論争ヲ定メル事實、及ビ現在ノ状態ニ誘導シテ出来事以上ノ論争ハ有り得ナイ。強圧ノ元ニ引出シテ(圧迫シテ締結シテ條約)條約ノ確實性カラ強スル論争ニ、國際聯盟ガ干涉スル事ガ正当デアルカ否カ、及ビワシントン會議ガニツノ興味アル黨派ニ依ツテ確定的ニ定メ様ト強シテ條約ノ有効性カラ強スル論争ノ干涉ニ正当デアルカ否カ、此ノ先例ニ依ツテ運動ニスツテ將來ノ出来事ニ依ツテノミ答ヘラレルノデアル。初ノ段階ノ論争ガ、國際聯盟ノ管轄ニ制限サレ得ル物デアル限リ、ソノ干涉ニ関シテハ、或ル口實ガアル。併シ最近大キイ系争問題ガ戰間的ナ、侵襲的ナ仲間外レノ國ノ政策ヲ最ト嚴密ニ詰シタ時ニ、カクノ如キ干涉ハ日支兩國ニ取ツテ四倍サレ得ナイ善ヲ生ズル。此等兩國ノ系争問題ノ解決ハ日本ニ對スル支那ノ義務ヲ忠實ニ果スト云フイクラカノ危ニ入ツタ保障ヲ支那ガ日本ニ與ヘルニ非ザレバ解決ニ到達シ得ナイノデアル。ソシテ支那ノ現在ノ不組織(不秩序)及ビ弱イ現状ニ於イテハ、支那ハ此等ノ保障ヲ與ヘル事ハ

出来ナイ。國際聯盟ハカカル系争問題ニ於イテ、及ビ國際聯盟ノ行動ヲ通ジテ、自己防衛ノ日本ノ権利ヲ害シタカラ、露國ノ味方ニ加ツテ居ルト同等デアル。此處ニ再ビ此等極東問題ニ於ケル國際的干涉ハ日本ノ反對スルカヲ制限シ。且ツ彼女ノ破毀ノタメニ設定シタ努力ガ、自由行動ヲ認メテ居ル間ニ日本ノ手足ヲ抱束シテ居ルト云フ事ガ表ハレタラウ。モツト不正デアル物ハ何ニモナイシ又世界平和破潰及ビ國際聯盟ノ墜落ヘノ此レ以テノ伝導性アルモノハナイ。ソシテ日本ノ決心ハ、強シク自殺スルヨリモ、寧ろ戦争スル事ヲ歡迎スルデアロウ。

支那ハ自己ノ機械ヲ濫用シタ

ワシントン條約ハ支那ニ大憲章ト支那ノ家ヲ秩序立テ、又充分ナル平等ト尊敬トノ平面ノ家族國民ニ置キ換ヘルタメニ機械ヲ與ヘタ。Hughes 氏ハ次ノ事ヲ指摘シタ。「外部ノ力カハ支那ノタメニ安定ハ用意シハシナカッタガ、彼等ハ支那ノ主權、獨立及ビ領土の行政上ノ誠實サ及ビ支那其ノ物ヲ充分ナ、ソシテ堅固ナ政府ニ發展サセ支持スル十全ナ防ゲラレザル好機ノタメニ保証ヲ備ヘテクレタ。總ニル物ハ支那ヲ憤ラセル干涉ニアル手前デ、ワシントンデ爲サレタ(モウカシ露骨ニヤルト支那ヲ憤ラセル意味)支那ハ權利ノ充分ノ手形ヲ認メタ、而シテ諸國民ノ家族ニ入ツタ事デ支那ノ主

権ニ対スル議ラレナイ或ル義務及ビ國際的交際ニ対スル
 或ル義務ヲ自動的ニ取ツタノダ。支那ハ自分ノ家(國)
 ヲ制理スルタメニ。又他國ニ対スル權利義務ヲ深スタメ
 ニ十年ヲ要シタ。併シ信用ニ生キル代リニ此等ノ重荷ヲ
 引受クルタメニ支那ノ能力ニ依頼シタ。支那ハ今日一國
 家トシテ破滅ニ当面シテ茲、軍國主義、無法、不秩序、
 失政ノ泥ノ中ニ段々ニ沈ミナガラ、悪カラ悪ヘト進ンデ
 居ツタ。支那ノ狀態ハ彼等ガ捨テ置カレナイ所ノ莫ニ到
 達シタ。即チ世界平和ノ脅威、及ビ日本ノ生存ヘノ積極
 的ナ危險トナツタ。ワシントン會議ノアヤマカシテ、増
 長シタ子供カラ、支那(子供)ハ自分ノ義務ヲ果ス事ヲ
 嚴然トシテ拒否シテ居ル間ニ、主權ト奉行シテ進ンデ行
 ク全權利ヲ要求シテ居ル一國ノ國際的苦惱ニ爲ツタ。

即チ支那ハ自分ノ近隣及ビ世界ノ安寧、幸福ヲ脅カス
 所ノ不幸ナル一國ノパンドラマーノ箱トナツタノダ。

米國ノ例

同ジ事情ノ元ニ、カリビアン海ニ於イテ、米國ノ利益
 ヲ保護センガタメニ合衆國ハ如何ニ行動シタカヲ見ヨウ
 1898年ニ合衆國ハ(イスパニヤハ各々ノ全要求ニ同意
 シタ後デスラ)人道エノ原因ニ依ツテ キューバニ干渉
 シタ。而シテ合衆國ノ戸口ノ所ニアルト云フ一條件ノ出
 来事ノタメニ、合衆國ノ利益ヲ非常ニ害シタカラ、合衆

國ハ捨テ置カレナイ様ニナツタノダ。合衆國ノ行動ハ
 「邪惡物ハ無効」トシテ私法ニ於イテ知ラレテ居ル物ニ
 類似ンテ居ル我國ノ第一等ノ國際法學專門家ノ一人ニ依
 ツテ記述サレタ。吾々ハ吾人ノ健康ト保障ヲ脅威スル
 又人道エノ吾人ノ概念ヲ迫害スル此ノ堪ヘラレナイ邪ナ
 物ヲ消滅セシメルタメニ、イスパニヤハ戰爭ヲ戦ツタノ
 ダ。其取極メニ於イテ、キューバ共和國ノ建設ニ從ツタ所
 ノ事ヲ呼起スノハ善イ。合衆國ハ其ノ獨立ノ保持、及ビ人
 名、財産、個人ノ自由保護ニ対スル政府ノ適當ナル主張
 ニ対シ干渉スル權利ヲ合衆國ニ付與シタ新國家トノ條約
 ヲ締結シタ亦彼等ノ獨立ヲ害スル傾向ノアル他ノ強國ト
 ノ條約ヲ締結スル キューバノ自由ヲ制限スル他ノ規定モ
 アル。又債務ヲ負フ契約ニ対スル自由ノ制限モアル、合
 衆國ハ此ノ如クニキューバトノ關係ニ於イテハ特殊的地位
 ヲ保有シテ居ル。ソノ事ガ法律及ビ秩序ノ支持ニ対スル
 種々ノ場合ニ干渉スル事ニ於イテ合衆國ヲ正当化シタノ
 ダ。滿州ノ日本ノ利益ハ殆ンド アメリカノ場合ト同様
 デアル。ソシテ日本ノ特殊的地位ノ保護ニ対シテモ亦國
 際的の保障ニ対シテモ、日本ハ日本ノ主權ノ下ニ系ルト同
 ジニ認めラレタ地方ニ於ケル政府ノ責任ヲ支那ガ引受ケ
 ルニ充分強クアル様ナ時期迄、滿州ニ於ケル日本ノ利益
 ヲ保護スルタメニ同様ノ保障ヲ要求スル同様ナル權利ヲ

ヲ持ツテ居ル。

サントードメンゴ と ハイチ

サントードメンゴニ於イテモ合衆國ハ干渉シタ。何ントナレバ、1907年迄40年ノ間完全ナル政治的及ビ経済的墮落ニ依ツテ、引立ツタ十六回ノ革命運動ガ勃発シタカラ、ルーズベルト大統領ガ「ソレヲ記シタ如ク此ノ共和国ノ武装占領ハ「文化社会及ビカクノ如ク要求スル干渉ノ羈絆ノ減少スル事ニ於ケル一ツノ重要ナル結果ニ帰ス」ト云フ事デアツタ。而シテ吾々ハソノ戦政ガ確立サレ及ビ暴動ヲ防ガ及ビ軍人ノ長ニ依リテ権力ノ横領ヲ妨ゲタ所ノ公平ニ選挙シテ作ツタ法律ノ下ニ、法律秩序ガ維持サレル迄サントードメンゴカラハ撤兵シナカツタ。合衆國ハ法律、秩序、平和ノ利益ニ於イテ、サントウ、ドメンゴニ干渉シタ、ソシテ此等ガ確實ニサレタ時、兵ヲ撤退シタノダ。サントードメンゴニ於ケル米國ノ干渉ガ正当化サレタ同ジ條件ガ滿州ニ行ハレテ居ルノダ。一連ノ経統的ナ革命ガ終リ、英共和国ハ荒ラサレ及ビ西半球ノ支配ニ永遠ニ横領サレタ悪漢ノ長及ビ亢奮スル政治家ノ最モ無慈悲ナ、野蠻ナ、血ヲ好ム國民ニ渡サレタ後、合衆國ハ1915年ハイチニ干渉シタ。「大多敬ノハイチ人ハ完全ニ強慾ナ軍人寡頭政治ノナスガママニアツタ。英ノ寡頭政治ハ最モ簡單ナルは要ヲ

超越シテ何ニカラ生産シ又所有スル事ニ於イテ、寧ロ眞ノ危險ガアル以外ハ利戦ガナカツタ様ナ広サニ人々ヲ屈折シタ。長年ノ間農民ノ穀物ヲ没收シテ居タ強慾ナ軍閥ニヨリ統治サレテ、捕獲シタ生産物ノ支拂ニ、六億以エノ無価値ノ紙幣ガ發ラレタ。滿州ト此ノハイチノ此ノ画像トヲ比較シテ見ヨ。アメリカノ軍隊ハ法律秩序ガ回復シタ迄及ビ軍人ノ悪者ノ権力が破壊シテ、通貨制度ガ確固タル基礎ノ上ニ建設サレ、而シテ政府ガ正当ニ選挙サレタ人ニヨツテ作ラレタ法律ノ下ニ定メラレル迄ハイチヲ撤退シナカツタ。日本ハ滿州ニ於ケル法律秩序ノ制限ヲ要求スル権利及ビ其ノ國ヲ貪婪ニシタ又自分ノ投下資本ヲ破壊サレ及ビ軍閥ノ権力ヲ永続サセタ教徳門ノ通貨幣ヲ回收スル事ヲ主張スル権利有リヤ、日本ハ彼等ノ軍人親方ノ権力カラ國民ヲ自由ニシ、且ツ自治制代表組織及ビ個人ノ自由ヲ確立スルデアラウ支那共和国ノ其ノ選挙ニ於イテ、正当ニ選挙人ニヨリテ作ラレタ法律ノ強制ヲ要求スル権利ヲ有スルヤ。

ニカラガノ干渉

同ジ理由ノタメニ合衆國ハ軍隊ニ依ツテ、革命ヲ鎮ムル事ニスラニカラガニ干渉シタ。ソシテ吾々ハ共和国ノ市民ト同様ニ彼等ノ根本的ナ権利ガ困ラサレタ國民ヲ保障シタ選挙人ニヨリテ作ラレタ法律ノ下ニ、眞ノ代表

政府が、建設セラレタ近アメリカ軍ハニラガラヲ撤退シ
 ナカフタ。統治スル事及ビ己レ自身失政スル事ハ支那ハ
 ハ如何ニ選抜スルカハ各々ノ商売ノ誰レニモ不問デア
 ルガ、併シ其ノ場合ハ正当ノ償還ニ対シテ善イ政府ニ積
 テ居ル。殆ンドニ億ノ投資ヲ持ツテ居ル満州ニ於ケル日
 本トハ相異シテ居ル。満州国民ヲ賣込ニシテ没収組織ハ
 亦其ノ地方ニ於ケル日本ノ投資ノ土台ノ下ニ抗道ヲ振
 タノデア。国内政策ノ概念ニ於ケル支那軍閥ハ窮乏ノ
 兵ニ対シテハ、彼等自身ノ国民ヲ締付ケル事ハ自己ノ
 権利内ト考ヘテ居ル。併シ彼等ノ日本ノ企業ノ価値ヲ間接
 ニ破壊スル没収規定ヲ課スル事ノナイ責任ノ下ニアル。
 ソノ事ノタメニ支那ノ課税制度ガ、ドンナ額ニエルカハ
 明瞭デア。ソレヲ変装セヨ。ソレヲカモフラゲセヨ。
 ソレヲ或ル他ノ名前デ呼ベ、中味ヲ取ツタカラハ、イヤナ
 モノデア。併シ「バラノ巻ハ尚ソノ廻リニタダヨウテ
 居ル」。没収ハソレヲ残ス。米國政府ハ殆ンドメキシコ
 地方ニ於ケル米國ノ投資ヲ破壊スベク仕組ンダ没収立法
 ニ対シテ、メキシコト戦争ヲシタ。合衆國ハ衡平ナ取極
 メガ、此ノ問題ニ関シテ一致スル迄ハメキシコ政府ヲ承
 認スル事ヲ拒絶シタ。暴力的権力ニテ確保シテ居ル満州
 ノ支那軍閥ハ間接ノ方法ニ依ツテ没収ニ訴ヘタカモ知レ
 ナイ。併シ其組織ガ彼等ノ努力シテ得タル権力ノ破壊及

ビ外國ヘノ投資ノ崩壊ニ於イテソレヲ課セラレタ結果ナ
 ル時ハ、無理ニ強奪シタモノハ、國際的交際ノ基礎的理
 理、及ビ衡平ナ取扱ヒニ日本ニ依ツテ要求サレタ利益ト
 直接ニ衝突スル様ニナル。ソシテ此ノ組織ガ支那ノ分商
 ニ対シテ、及ビ軍閥ノ支配ノ永續ニ対スル責任ガアル時
 及ビ支那ノ認メラレタ政府ガ、ソノ國際的ノ責任ヲ果ス
 権力ナキ時ハ、日本ハ己レノ經濟的幸福ニ対スル此ノ脅
 威ニ対シテ自分ヲ保護スル明々白ナル権利ヲ持ツテ居ル。
 クーリツチ大統領カステートメント。

人命及ビ財産ノ保護ニ対スル干涉ノ権利ニ関シテ、過
 去150年ノ間、米國政府ハ百回ノ場合以テ此ノ目的ノ
 タメニ外國ニ軍隊ヲ送ツタト云フ事ヲ述ベル必要ガアル
 ルービン、フラーク氏(前國務次官)ハ次ノ事ヲ述ベ
 テ居ル、「米國政府ガ正当ナル安全ト市民及ビ財産ヲ確保
 シテ、保護センガタメ外國ノ一部分ヲ一時ノ占領ノ目的
 デ米國軍隊ヲ用ヒタ以テニ屢々用ヒタ國ハナイ」ト生命
 財産ノ保護ニ対スル干涉ノ権利ハ我が國ノ第一流ノ生存
 政治家ノ六、七人ニ依ツテ活潑ニ表現サレタ。此ノ根本的
 アメリカノ政策ヲ理解センガタメニ此等ノ政治家ノ内ノ
 一人ヲ引用スルノハ必要デア。1927年3月25日聯合
 新聞ニ対スル彼ノ有名ナル演説デ、カルビン・クーリツチ
 ハ次ノ如ク述ベタ。 自分ノ國ノ市民ヲ取扱フタメニ、

他國ノ純然タル國內問題ニ干渉スル権利ハ、吾人ガ有シ
 ナイノハ國際法ニ依リ明カニ實証サレテ居ル。米國政府
 ハ市民カ何處ニ住マウト米國市民及ビ財產ニ對シテ、或
 ル權利ト、ソレニ對スル義務トヲ有シテ居ル事ハ同様ニ
 明ラカニ是認サレテキル。外國ニ居タ時デモ、市民ノ人
 格及ビ財產ハ、國民ノ一般的ニ支配ノ一部分デアリ、他
 方政府ガ彼等ガ何處ニ住マウト市民ノ人格ト財產ノ保護
 ヲ與フル事ハ自治制ノ方ニ於ケル明瞭ニ拘束カナル責
 任デアリ。此ノ事ハ政府ガ市民ニ利益ヲ持ツテ居リ、
 又市民ニ對シテ責任ヲ持ツテ居ルト云フ西方ノタメデア
 ル。合衆國ノ境界内ニテ、人ヲ殺害シタリ、掠奪スル事
 ガ不正デアラバ我國境以外デモ同様ニ不正デアルト
 云フノハ、完全ニ明々白デアラウ。正義ノ根本法ハ彼等
 ノ適用ニ於イテハ万人平等ナノデアリ。市民ガ行ク所、
 何處デモ我ガ政府ノ是等ノ義務ハ市民ニ從ハホバナラヌ
 」ト

ケバーレス、E. Hughes氏ハ、1928年5月プリンスト
 ンデ連続三回ノ講演ニ於イテ、ラテンアメリカノ干渉政
 策ノ根本ニ言及シテ曰ク「若シ或ル大統領ガ、危難ノ時
 ニ我國民ヲワザトオケヘタナラバ、彼ハ國中カラ非難セラ
 ルデアリマセウ」ト、別ノ公平ナル宣言ヲ擧曠スル事ハ
 不必要デアリ。米國政府ハ一寸ノ注意ニ於イテモ警戒モ

ナク、自己防衛法ヲ適用スル権利ヲ政府自身保持シ、又
 敵意ニ心ヲ惹ク程デスラモ、他國ニ於ケル市民ノ生命、
 財產ノ保護ヲ軍隊ニ依ツテ干渉スル事ノ権利ヲモ有スル
 對外政策研究會ノ會長デアリ、レイモンド・レスリー・ブ
 エルハ外國ニ武装保護ヲ用ヒル政府ノ機能ヲ註解シテ居
 ル。曰ク「-----國家ハ權利ヲ持ツト同ジニ
 義務ヲ持ツテ居ル。而シテ此等ノ義務ノ一ツハ暴亂ニ對
 スル生命財產ノ保護デアリ。此レハ他ノ國モ負フ義務デ
 アリ。國法ニ於イテハ、個々ノ人ハ他ノ個人ニ對シテ、
 彼ノ義務ニ則ル事ナク負ハサレタ時ハ其ノ責任ヲ調査シ
 及ビ其ノ眞實サヲ決定スル法官席ガアル。國際法ニ於イ
 テハ、カクノ如キ機關ハ欠ケテ居ル。而シテ、カカル機
 關ガナイノデ強國ハ已レノ意見ニ於イテ、他ノ國ニ
 テ負ハサレテ義務ガ遂行サレナイ時ハ屢々自助ニ訴ヘタ
 ノダ-----」國際聯盟ノ契約ノ結果、又及戰協約ノ結
 果トシテ、種々ノ種類ノ戰爭ハ不合法トナツタ。併シ此
 等ノ公文書モ亦不合法ヲ武装干渉スル様ニナツタカ。註
 解者達ハ武装干渉ハ戰爭デハナイト云フ根據ノ下ニ反對
 ニ論ジタ。ソレニモ拘ラズ彼ハ付ケ加ヘタ。國際聯盟契
 約ノ下ニ於イテハ少クトモ統ベテノ軍事行爲ハ國際的支
 配下ニ置カレタト信ズベキ理由アリト、聯盟契約及ビ
 及戰協約カラ離レテ、或ル事情ノ下ニハ合法的ニ政治的

干渉ハナイト云フ事ハ、右導的強國ノ横行ニ依ツテノミナラス、國際法ノ原本ノ着者ノ大多數ニ依ツテモ支持カレテ居ル。」

ベラークラウズの軍事占領

九月十九日ノ夜、自己防衛ノ権利ニ訴ヘテ、日本軍隊ハ正当デアラウガ、ナカラウガ及那ニ対シテ日本ノ全部ノ事情ヲ表明シタ後ニノミ決定サレル事ガ本表ル。日本軍ノ取ツタ行動ガ前以テ、豫メ計劃サレ及ビ攻勢ノ敵意ガアツタトノ宣言ハ他ノ国々ガ正当ニ武装シタ干渉ト現実的ノ敵意ニ用ヒタ所ノ多クノ本表事ノ觀察ヲ失ツテ居ル。若シ日本軍隊ガ單ニ中村事件ニ日本ノ事情ヲ倚リ掛カラシムルナラバ、彼等ハ1914年ニ合衆國ニ依ツテ、ベラークラウズノ軍事占領ニ導イタ物ヨリ遙カニ大キキ拒戦ヲ持ツテ居ル。アメリカ軍隊ニ依ルメキシコ湾ノ此ノ武装占領ハ、トムペーコーノ禁ジラレタ軍事地帯ニ於イテ、ガソリンヲ積ンデ居ル同ニ、米國軍用船隊ノ差押ニ依ツテ、拒戦シタノダ。其ノ軍用船隊負ハ、スグニ開放サレ、而シテ言談ガ、メキシコノ將軍カラ表タニシテモアメリカノ將軍ハメキシコノ將軍ニ差押ヲ爲シタ士官ノ処罰ヲ及ビアメリカ軍旗ニ対スル24発ノ礼砲ヲスル事ヲ要求シテ居ル。24時間ノ最後ノ通牒ヲ失ヘタ。メキシコ大統領Huertaハ彼ハ國際法ヲ破リ、ソシテ

ヘーグノ仲裁裁判所ニ問題ヲ提起スル事ヲ願フタ、調査委員會ニ依ツテ証明ナレルニ非ザレバ、差押ヲ爲シタ士官ヲ罰スル事ヲ拒絶シタ。彼ノ要求ハ合衆國ニヨリ拒絶サレタ。二三日後ニアメリカノ郵便注文ニ別ノ少サナ防害ガベラークラウズデ起ツタ、ソシテ、ウイルソン大統領ハ此處ニ及ビ「Huerta 將軍及ビ彼ノ部下カラ、合衆國ノ権利及ビ名譽ノ十分ナル認許ヲ得ルニ必要デアルカモ、知レナイ様ナ、カクノ如キ方法ニ於イテ、及ビカクノ如キ範圍ニ迄合衆國ノ軍隊ノ」使用ヲ議會ニ是認シテモラウー理由トシテ、トムペーユオ事件ヲ引証シタ。

メキシコ政府ノタメニ軍需品ヲ持ツテ居ルー独エノ汽船ガ、次ノ日ベラークラウズニ到着シタ。ソコデウイルソンハ速座ニベラークラウズヲ占領スル様ニ、メイヨ將軍ニ命ジタ、ウイルソンノ訓命ヲ実行スルニ當ツテ、約200ノメキシコ人ト21人ノ米國人ガ殺サレタ。ウイルソン大統領ハ此ノ大畧ナ行動ヲ取ルニ於イテ、國際法ニ照ラセバ正当デハナカツタ。併シニ國ノ關係ハ合衆國ノ権利及ビ名譽ハ少シモ顧ミラレルコトナカソタ兵ニ到達シテ居ルノダ。ソシテ劇烈ナ行動ハメキシコニ一個ノ教課ヲ教ヘル必要トナツタノダ。一人ノアメリカ士官ヤ彼ノ部下ガ海岸デ通常ノ服ヲ着テ居ル間ニ捕ヘラレ、ソシテスパイトシテ、畧式ニテ死刑ヲ執行シタナラバ

米國ノ軍隊ハ、申訳及ビ損害賠償が、今マフルテビツクノ御殿ニ引出サレタ迄、決して進軍ヲ止メナイデアラウ。此ノ一個ノ出来事ハ、外國領土ノ武装占領が正当な調査ノ密接ナ尤ヲ支ヘルデアラウ。緊張シタ時ニ不意ノ出来事ヲ促ガサレルカモ知レナイト云フ事ヲ指示スルニ充分デアアル。

支那の争端

日本ノ軍事当局ハ支那ノ兵隊ニヨル南満洲鉄道ノ一部分ノ襲撃ニヨル、9月19日夜、彼等ノ行動ヲ正当化シタ。戦産ヲ保護センガためニ、止メル事が出来ナカウタ運動ヲ始メタ砲火ガ、放タレタ。遂ニ満洲ニ於ケル全戦畧的中心ハ日本ノ掌中ニ帰シタ。支那ハ日本人ハ満洲合併ノ豫メ仕組ンダ計画ヲ実行スルためニ其ノ事件ヲ作り出シタト宣言シタ。最初ニ於ケル正義ハ、現在ノ状態ノ直接ノ機関ト同様ニ正直ナ裁決ノ——裁判トシテ立ツ所ノ証明——衝突デアアル。奉天ニ於イテ指揮シテ居ル日本ノ陸軍士官ハ9月19日夜ノ事件ガドウシテ始ツタカヲ報告シタ。日本ノ参謀官ガ、満洲ノ全戦畧中心地ノ軍事占領ニ対スル階程ヲ研究的ニ用意シテ居タナラバ、日本軍ハ實際ニ、ソコニ在ワタヨリ以上其ノ土地ニ漢山ノ軍隊ヲ置イタデアラウト云フ事ハ論理上当然ニ思ハレル。日本ノ陸軍士官達ガ、25万ノ善ク訓練サレタ支那軍

隊ニ依ツテ保持サレテ居タ領土ノ、南満洲鉄道線ニ沿ハテ散在シテ居タ。僅カ1万ノ守備兵デ支那カラ満洲ヲモゴ取ル更ニ大ナル軍事的冒險ニ入ワタト云フ事ハ表面エハ有リソウナ事デハナイカ、カクノ如キ物語ハ支那國民ノ誇リ、名譽、威嚴、ニ有害デアアルノミナラズ、彼ノ軍法會議及ビ罰ヲ正当ニスルデアラウ。奉天ノ日本陸軍ノ指揮者ノ一部分ノ全クノ不注意ト大膽サノ一責任ヲ構成シテ居ル。若シ125人ノ日本軍隊ノ一隊ガ、午後十一時三十分ニ敵対行動ヲ始メルナラバ、5000ノ支那兵ガ宿ツテ居ル立派ナ支那ノ軍營ヲ包圍シテ、午前三時三十分ニ125人ノ四倍以上ニ増兵サレル迄、125人ノ一隊デ、保持シ、午前五時三十分ニバラツクヲ捕獲シタナラバ、支那軍ニハ斷乎タル悪イ事ノ何ニカガアル。支那人ハ満洲ニ於ケル戦畧ノ中心ヲスツカリ取ツタ。行動ニハ五万ヲ数ヘル日本軍隊ガ、従事シテ居タト主張シタ。然ルニ日本人ハ9月18日ニ満洲ニ於ケル日本軍隊ハ一万四百ヲ数ヘルニ過ギナイト主張シタ。朝鮮カラノ増兵ニ依ツテ事實上増兵サレタ。併シ其ノ時デスラ總額ハ尙15000以下デアワタ。最大數一万五千ハ條約ニ依リ許サレテ居タ。日本ノ政治家ハ証據立テ得ベキデアリ、又忝スベキ手續ニ於イテ、正当ナオブザーバーヨリ証言サレルデアリマセウ。

支那人ハ進行ニ於イテハ前以ツテ秀ヘラレ及ビ残忍ナ
 実行サレタ。總ベテハ世人ヲダマシ手段ヲ講ジタ物語ニ
 執着シテ居ル。世界平和ノ利益ニ於イテ。國際聯盟ノ尊
 敬ニ於イテ。及ビ戦争放棄協約ニ於イテ。彼等ハ日本ノ
 挑戦ニ手向ハズ。武器ヲ擡ヘ。戦争ヲ拒否シ。日本ヲ滿
 州ヨリ引退サセルベク。強ヒル様ニ世界ニ訴ヘタ。彼等
 ハ日本ハ支那ノ軍事的弱點ヲ利用シタ。ソシテ人道。名
 譽。及ビ正当ナル處理上ノ總ニル概念ヲ乱シタト主張シ
 タ。

滿州ノ軍隊ハ常備軍ニ於イテ(若シクバ日本ノ全戦國
 軍隊ノ總額ノ二倍)40万ヲ數ヘラレテ居ル論ズルハ要ノ
 ナイ事實ノ面前ニ於イテ。此レハ世界ニ於イテ最モ大キ
 ナモノデアルト噂サレテ居ル。兵器廠ニ依ツテ支持サレ
 テ居ラケレドモ。彼等ハ争闘スル事ナク。彼等ノ兵器庫
 及ビ飛行場ヲ拋棄シタ。

盜賊ノ行動

9月19日ノ出表事ハ判定ヲ通ル事ナク。最近數ヶ月
 間。種々ノ場所デ支那軍隊ガ。交通ヲ妨害センガタメノ
 南滿州鉄道ノ線路ノ破壊計劃ヤ。日本ノ我慢ヲ破裂サシ
 タ。日本人ヲ刺戟シタ別ノ方法ナドモ包含シテ居タト云
 フ事ガ責任ヲ負ハサレテ居ル。此等ノ些細ナ事ヲツツキ
 ジラス事ノ日本ノ我慢ト遠慮ハ優越ナ戦争ヲ好ム自負ト

シテ。支那人ニ依ツテ誤マラレタ。ソシテ彼等ノ態度ハ
 段々傲慢ニナツタ。其ノ年ノ始メ以來59ノ事件ガ起
 ツタ。其ノ事件ハ皆。南滿州鉄道ノ線路及ビ交通ヲ妨害
 シタモノデアル。

此レニ加ヘテ。鉄道線路ニ沿ツテノ盜賊行動ハ142
 件デアツタ。支那軍隊ニヨル。中村大尉ト彼ノ部下ノ殺
 害ハ今ヤ支那人ニ依ツテ認めラレタ。何等カノ公然ノ行
 動ハ衝突ヲ促スダロウ所ノ兵ヘノ緊張ヲ増大シタ。

九月十八日夜ノ南滿州鉄道線路破壊ノ襲撃ニ對スル。
 責任ヲ決定スル——一士官ノ調査ハ無用ナ目的ニナルデ
 アリマセウ。

合衆國ノ國民ハ1898年イスパニヤト戦争ヲスル爲メニ
 行ワタ。ソレハハバアナア送ノ戦艦メイン号ノ襲撃ヲ復
 讐シ様ト決心シタノダ。

タガ。此ノ時ニ於イテスラ。吾人ハ其ノ爆發ガ。ドウ
 シテ勃發シタカヲ知ラナイ。未來ノ史家が。大戦争ノ責
 任デアツタ所ノ人ヲ決定スル事ガ出來ルデアリマセウガ
 ソレハ此ノ時代ニ於イテ。若シクバ次ノ時代ニ於イテ
 ハ決シテ決定シナイデアリマセウ。アメリカ軍隊ハ條約
 ガ締結サレタ後ニ。マニラヲ占領シタ。ソシテサンタア
 ナア一橋ノ哨兵ニ依ツテ放タレタニ卷ハフイリッピン共
 和國ノ滅亡ニ終ツタ戦役ニアメリカ軍隊ガ出陣シタ。

他ノ戦争モ同様ニ取ルニ足ラス発端ヲ持ツテ居ル。
一発ノ砲火ハ日本軍等機関ノ運動ヲ始メルノニ充分正当
デアラフ。又日本ノ鉄道巡察兵ハノ発砲ハ滿州ニ於ケル
得意ノ遊戯ノ外遊戯トナツタ。騒動ガ、ドウシテ始マ
ツタニ関スル真ノ差異ハナイノデアル。吾人ハ完成シタ
事案ト、前ニハ何時モ滿州問題ヲ解決セントノ日本ノ決
定ヲ目前ニ見タ。

(1931年十月「極東評論誌」上海ヨリ取載)

第十六章 次の戦争

ドリエウ、ラ、ロシエル

五年ノ中ニ戦争ガ勃発スル。佛蘭西ト独乙ハ敵味方ニ
ナル。佛蘭西一國デハ敗レルデアラウ。比事ハ千九百十
四年當時ヨリモ、モット確實デアル。数年ノ内ニハ兩洲
域セル独乙人二人毎ニ對シテ一人ノ佛蘭西青年ガ居ルコ
トニナルデアラウ。故ニ他國ノ介入ガ必要トナル。南ラエ
ル他國ノ介入ガ必要トナル。多量ギルト去フ事ハ有り得
ナイ。

英國ト伊太利ハ自己ノ援助ガ余計ナコトデハナカラウ
カト思フ。承ラク死ンデ居タ孤立ヲ維持スルコトハ英海
海峡ノ下ニ區置ヲ造ルノヲ拒絕スル十分ナ理由ニハナラ
ナイト云フコトヲ英國人ハ知ル。一箇ノ政治的、經濟的
実體ヲ考ヘルト、英帝口ハ死ンデ生レタ理窟郷デアルカ
ラ大陸ニ於ケル独乙ノ勝利ニ反対スルノニ歐洲以外ニ
アル英帝口ノ専カニ頼ルコトハ出来ナイト英國人ハ亦知ル
ノデアル。濠洲、加奈地、南南ハ重ク瀕シテ居リ、然モ
彼等自身ノ仕事ヲ持ツテ居ル。ニツノ自治領ハ太平洋ニ
於ケル日本ノ爆発ト印度ノ不可理的ナ革命ニ依リ震撼サ
レルデアラウ。彼等ハ合衆國ニ接近シ、太平洋ニ横ハル
唯一ノ白人ノ國家——彼等同様豆細豆ニ脅カサレテ居ル

一ト同盟ヲ結成スルデアラウ、其ノ上日本ノ時勢は
展ハ世間戦争ヲ判教スルデアラウ。欧洲ノ戦争ハ結果
逃ギナイデアラウ。若シ独乙ニ味方スレバ、勝利ヲ得
場合家求ニナルニ逃ギナイト云フコトヲ伊太利ハ知ツテ
居ル、之ハ明デアル。

併シ他カヲ見ヨ。政蘭ハ何ヲヤラントスルカ。政蘭ハ
独乙ニ対スル。確デアルカ。

予ハ此向頭ニ答ヘル。尚有答ヲ続ケルカ故ニ。

露西亞ハ何ヲヤラントスルカ。露西亞ハ次ノ戦争ガ起
ツタ際日本ト戦ヒツ、アルト云トヲ聞ハズ独乙ニ向ツテ
進軍スルデアラウ。何トナレバ、ヒットラー若クハ其他
ノ者ニ統治サレテ居ル独乙ハ露西亞ニトツテハ他ノ如ク
ナル国ヨリモ脅威デアルカラ。独乙ハ其ニ其成功ガ得
ニ抗戦デアルト云フ左近のナ隣邦デアル。独乙フアシス
トノ半社会主義ト露西亞共産主義ノ半フアシズムトノ向
ニハ口マノフ王家ノ帝口主義トホーヘンツオルレルン
成マハツプスブルグ王家ノ帝口主義ノ向ニアツタノト同
理ノ憎悪ガアル。双方ノ側ニ因 基調、世間ヲ戰
争ニ導カントスル宣傳ト世間征服ノ傾向ガ見ラレル。

露西亞ガ其カヲ善ヘルノハ此戦ノ爲デアル。

ソシテ露西亞ハ極東ニ於ケル帝政派ノ政略ヲ放棄スル
ノニ其資源ノ全部ヲ使用スルコトヲ避ケルデアラウ、ソ

サイエツト露西亞ハ口マノフ王家ノ政略ヲ繰返サナイデ
アラウ。露西亞ハ新シイ殖民地戰等ニ於テ西比利亞鉄道
ヲ守ル爲ニ其薄弱ナ勢力ヲ送ラナイデアラウ。露西亞ハ
其方面ニ於テハ防禦的地位ニ合衆口ノ後始ガフル
ヲ維持スルコトヲ希望スルデアラウ。日本ガ右海州ヲ略
取シタ際ニハ露西亞ハシベリヤニ於テ小戦闘ヲ行フノミ
デアル。

政ニ露西亞ハ独乙ニ進軍スル。政蘭ガ独乙ノ敵トナル
ト味方トナルトヲ向ハズ、露西亞ハ政蘭領ニ侵入スル。
此等ハ次ノ大戦ノ性質ヲ決定スルモノデアル。

味方トシテカ敵トシテカ、露西亞ハ政蘭其他自国ニ隣接
スル「スラブ」人ノ国ノ国境ヲ通過スル。露西亞ハ「バルツ
ク」沿岸諸国ニ進入スル。之等諸国ノ總テ「モスコフ」ノ承
継ヲ經、若シクハ經ナイデ「ソビエツト」政体ガ建テラレル。

我々ノ知ル如ク政蘭ハ千九百十八年ニ多クノ土地ヲ奪
ツタカラ、露西亞ノ成功ハ略確實ガト思ハレル。露西亞
ト境スル政蘭領ニハ其ノ住民中ウクラナイ人、白露人、
リスニア人が優勢ヲ占メテキル。最初ノ砲撃カ行ハ
レルマ、之等ノ人々ハ革命ヲ起ス、産業的、軍事的見知
ヨリスレバ露西亞ハ弱イカモ知レナイガ若サトイフカヲ
有スル。

露西亞ハ一層容易ニルーマニアヲ通過スル。

徳西亞ハバルカンマ中央政權ニ進入スルコトハ出来ナイデアアラウカ。直チニ反動ノ連鎖が起ル。其反動ハ政體危機ノ心臓部へ攻メテ暴乱ニ陥レル。併シ此反動ハ事件ノ予想ニ依ツテ起ル。起ルベシ事件自体ヲ彼等ハ荷ツテ居ルノデハナイ。

政蘭トルーマニアハ独乙ニ接近スルデアラウ。東歐洲ニ於ケルブルジョア的要素ハ独乙フアシスト攻路ヲ露西亞共産主義統治ヨリモ好ム。

若シ戦争が勃発シタナラバ独乙ハ少クモ千九百十四年ニ於ケルヨリモ多クノ事ヲ為サネバナラナイデアアラウト予言シテモ宜シイ。

独乙ハルーマニアマ政蘭ノ領土ヲ完全ニ奪ルコトハ出来ナイデアアラウ。ソコヲ独乙ハ共産主義者ノ面下ニ對シ緩衝國ヲ為シテ英レタヴエルサイコ條約ヲ感謝スルデアアラウ。(余ガ千九百三十年ニ「政魯巴對諸國」ニ於テ予言シタマウニ)併シ独乙ノ防禦が困難ナル限リ独乙ハ共産主義ニ對スル防禦トシテブルガヨア的政權ニ現ハレルデアアラウ。此點ニ於テモ亦反動ガ事件ニ先行スル。反動ハ現在カラ始マツテ居ル。即チフアシストノ結成、歐洲ノ至ル所ニ於ケル——佛蘭西ニサヘ存スル——親戚關係ガソレナル。

人ハ國家的區別ヨリモ社會的區別ヲ貴ブカ。

我々ハ直チニ之ヲ見ルデアアラウ。次ノ戦争ハ千九百十四年ノヨリハ、更ニ明確ニ、國際戦争タルト同時ニ社會的戦争デアアル。結果ノボス標ニ前ノ戦争ハ抵抗スル政體自身ノ戦争デアツタ。西政民主主義ハ中政ノ貴族政治、君主政治ヲ破壊シタ。「ハツプスブルグ」家ト「ホーヘンツォルレルン」家トハ「ロマノフ」家ト同様ニ千九百十四年ノ犠牲者デアツタ。ソシテ「サボイ」家ハ或見掛ケニヨラヌ光榮ニモ拘ラズ、免ニ再兵合ヨクマツテ居ラレル。

併シ次ニハ、共産主義ト「フアシズム」トノ間ニ死闘が行ハレルデアアラウ。此闘争ハ伯林ノ反民主主義ト「モスコ」ノ民主主義トニ挾マレタ西政ノ「ブルガヨア」ヲシテ其ノ民主主義的附屬物ヲ灰燼ニ投入レシメルデアアラウ。併シソレデモ十分デハナイ。新舊共産主義者若シクハ親独フアシストトナル為ニ彼等ハ民主主義ヲ放棄スルデアアラウカ。若シ西政「ブルガヨア」ガ独乙ニ勝ツタナラバ、露西亞モ亦隔タネバナラナイ。西政ノ「ブルガヨア」軍ハ独乙ニ進入スルガ、其後デハ「ソヴイエツト」ヲ建設シツ、アル事ヲ見ルノミデアアル。西政軍ガ攻撃スルコトハ明カケ。併シ西政軍ハ戦フコトカ出来ルカ。

彼等モ独乙ニ対抗スル願望ニ依ツテ佛蘭西「ブルガヨア」ハ其ノ特色ヲ失フデアアラウ。西政軍ハ独乙ニ對スル憎悪ノ為ニ共産主義的トナルデアアラウカ。

カ、ル假使ハ馬鹿ゲタコトデハナイ。若シ聯合軍が勝利ヲ得タ場合何カ取ルカヲ考ヘヨ。

佛蘭西ハ中政カラト独乙カラサヘノ連衡ニ依ツテ強クトナリ、「ソビエツト」ヲ撃破セネバナラナクナルゲラウ。佛蘭西ハ取勝セル独乙軍一少クトモ共産主義ニ戦フシラ馬ナイ軍隊一ノ革命ニ依ツテ存サレナイデアラウカ、佛蘭西「ブルジョア」ガ独乙「フアシスト」ニ対抗シテ露西亞共産主義ト同盟スルトイフコトノ危険ハ大キイ。

此危険ハ取勝ノ場合ニ一層重大ナルゲラウ、共産主義ノ政略征伐一佛蘭西、英国ヲ包含スル一ト脅威ハ同ジデアアル。佛蘭西「ブルジョア」ハ撤回シナイゲラウカ。丁度佛蘭西「ブルジョア」ガ独乙ニ接近シツ、アルマウニ、尤モ佛蘭西ハ「ヒットラー」ノ恐怖政治ガ始ツテカラ露西亞ト条約ヲ締結シタケレドモ。

併シ若シ佛蘭西ガ此危険ヲ拒絶スルナラバ、此ノ危険ハ投込マレナイゲラウカ、スイ若シイ戦争ノ後ニ共産主義ニナルヨリ外ニ選バベキ道ガナイデアラウト云フコトヲ佛蘭西ガ恐レルナラバ、佛蘭西ハ独乙トノ同盟ト云フ迄ルベク危険ニ走ルデアラウカ。佛蘭西ハ全テノ傳統、民族的忠義ヲ忘レテ、政略、亞非利加、亞細亞ノ一部ニ佛蘭西ノ支配ヲ樹テントスル同盟ヲ恐シクモ要求シ維持スル

デアラウカ。独乙トノ同盟ニヨツテ息ノ根ヲ止ムラレル危険、換言スレバカ、ル同盟ノ恐怖ハ露西亞トノ場合ノ危険ヨリモ一層早く来ルト恐ハレル。

予ハ独乙トノ同盟ノ危険ヲ誇張シツ、アルゲラウカ。佛蘭西同盟ハソノ假面ヲ投捨テ、其足下ニ平伏スル世取ヲ物トモセヌ。ニ帝口ニ戦國策ノ冷笑的ナ同盟ニ選ギナイ。ヒットラー派ガ希望スルマウニ若シ或口ト伊太利ガ此同盟ニ参加シタナラバ、此ノ本範圍ナ協定ト「ゼネバ」ノ議席トノ間ニドレズノ相違ガアルカ。佛蘭西同盟ガ「ヒットラー」派ニ對シテ何事カヲ意味スルトスレバ、ソレハ羅馬ノマツタ標ニ世界ヲ分割スルコトヲ意味ス。革命的青年独乙ハソノ凶ハル、コトナキ熱情ヲ満足セシムル必要ハ「ヒットラー」ヲ取リテ「ナポレオン」ニ似ト同様ノ道ニ外カシメル。

佛蘭西ト伊太利ノ孰レカバ独乙ト同盟スルト云、スイ若シ新範圍ガ発見カレネバナラヌ。其ノ活動範圍ハ東欧、露西亞ニ在ル。

是カレ四カレ、ニ同盟目一其ハ必ず独乙デアアル一ノ中ガ優勢ナ國ガ弱イ口ヲ取テスルデアラウ。故ニ敵對行動カ開始カレル前ニ西欧ノ列強ガ独乙ニ有利ナ隊勢ニ轉ズルノヲ予期スルコトハ出来ナイ、巴里ト柏林トノ同盟ハ巴里ニトツテ非常ニ危険デアアル。モロハ赤軍ガ伯

林威門=進ツタ時=初メテ同盟ヲ採用スルデアラウ。

其ノ時=於テ今日ノ敵ハ隊方トナルデアラウ。

孰レ=セヨ、現今ヨリ存在スルニツノ假令ハ警戒ト感
感デアアル。

国民ハ及婦ノ覺醒ノ列=入ルデアラウ、佛蘭西=モ親戚
団体モアレバ、親戚団体モアルノデアラウ。

此事ハ次ギツギニ物ノ秩序=激シイ複雑ヲ惹カセルデア
ラウ。第ニ形勢ナ佛蘭西共産主義ハ、第ニ排除シテキル
モノ耶サ、強イ國家ヲ得ルコト=ヨツテ努力ヲ得ルノ
デアラウ、ダガ、佛蘭西ブルジョアノ或ル分子ハ、口家
主義ハ彼等が信ジテ居ツタ程必要ナルモノデハナカッタ
ト云フコトヲ知ル=至ルデアラウ。

彼等ハ強乙=対シテ左翼ノ紳士が夢=モ恐ハナカウタマ
ウナ許容ヲ讓步ヲナスコトヲ理由ツケルデアラウ。

ヒットラーハ弱カ=抗力ヲ減ケル。此非第=複雑シタ立
場ハ次ノ「ゲレムマ」へ進ジ進メラレル。

佛蘭西ハ強退ノモノトナラヌタメ共産主義者トナルコト
ヲ望ムデアラウカ。又ハ共産主義者トナラヌタメ=強
ノモノトナルデアラウカ。ソシテ同様ノコトが英口マ、
伊太利ニモ起ラナイガラウカ。

此ノ「ゲレムマ」ハ全テノ史的可能性ヲ存スルニシテ
デアアルカ、恐ラクハソウデハナイ、政界=オ三団体ガ存

在ナルコトヲ想像出来ナイカ。

オ三ノ団体ハ上=進ベタ「ゲレムマ」ノ両方ノ角=依ツ
テ生ジタ及花ハ導クデアラウ。

オ三団体ハ西政ノ古イ民主主義ト東政ノ若イ民主主義ト
——「フアシズム」ノ色彩ヲ帯ビタ——トノ向ノ和
解=其ノ基礎ヲ置クデアラウ。

オ三団体ハ亦伊太利フアシズム——独乙ヒットラー
主義=比シテ中庸=シテ、「ブルジョア」的=見エヨ
——ヲ包含スルノデアラウ。

此オ三団体ハ、伯林マ、モスコート戦フデアラウ。

此等ノ諸国ハ、其ノ軍隊ヲ以テ、其ノ任務ヲバ引キ度ケ
ルデアラウ。スラヴ人ノ諸小国マ、「バルタック」海
沿岸ノ諸小国ハ露西亞ト独乙トヲ同ジ程度=恐レテ居ル。
佛蘭西マ英國ハ独乙ヲ恐レルト同様=共産主義ヲ恐レ
テキル。

伊太利ハ佛蘭西ノ味方ヲスルカガ、独乙ノ味方ヲスルノ
ヨリハ得ル所ガ多イデアラウ。

然モ伯林ガ勝戦シタ場合ヨリモ、巴里ガ戦場シタ場合ノ
方がズツト危険ガ少クテ有ムデアラウ。

何シ、此目的ヲ達スル爲=佛蘭西ハ露西亞トノ新同盟
ヲ中止マネバアラヌ。英口ト伊太利ハ進ゲテ打ツキバテ
ラナイガラウカ。避道ヤルカ。事ハ既=決シテハ為ナイ

カ。佛蘭西ハ政權ヲ能ク犠牲ニシテ了ツテハ吾ナイカ。
改國ト伊太利ハ能クマデモ「ヒットラー」ノ傀儡トナル
ノデハナイカ。

我々ハ歐洲ヲ看カス此戰ノ三ツノ憎ムベキ特色ヲ能ク
知ツタ。オ一ニ一見異レルニツノ政治組織ノ向ニ戰ガ引
キ起サレル。即チ フアシズム、共產主義、民主主義、
併シ此ニ組織ノ中ノニツハ實際非常ニ暗以シテ居リ互ニ
接近セントシツ、アル。物事ヲ眞直ニ考ヘル人ハ全ク
認メルヤウニ。モスコノ社会主義者、共產主義者ハ半
民主主義デアル。此ノ真ニ於テ彼等ハ口家資本主義ヲ進
行セシメツ、アル羅馬ヤ、伯林ノ フアシストト似テ居
ル。国家資本主義ハ社会主義ニ距離スル速カヲ増進スル
今一ツノ方法デアル。尚又佛蘭西ノ民主主義的制度ハ、
必要トアラバ社会的フアシズムニ駁行スルノニ大シタ面
倒ハナイデアラウ。

次ノ戰爭ハ互ニ、惡口ヲ云ヒ合ツテ居ル凡コル種類ノ
フアシズムノ前進デアル、凡コル国家主義ノゴツタ蒸
アル。

此ノ戰爭ニ參加シタ各国ハ戰爭開始當時ノ味方ヲ能ク
廻ス事ノミヲ考ヘネバナラナイデアラウ。例ヘバ伊太利
ガ独逸ヲ敵トシ、佛蘭西ガ露西亜ヲ敵トスルヤウニ。
オ一ノ特色ハ戰爭ヲ氣狂ジミタ複雑トスルデアラウ。其

滅亡ニ依ツテ最強國ノ独裁ヲ生ズルデアラウ。戰勝セル
国家主義ハ反對者ヲ見ナイゲラウ。国家主義ハ自由ノ滅
亡ニ他ノ滅亡ニモ束縛サレズ蔓延スルデアラウ。国家的
自由ハ歐洲ニ於テハ死滅スルデアラウ。個人的自由ノ死
滅ト同様ニ。最後ニ、次ノ戰爭ノオ一ノ恐怖ハ戰爭ニ使
用カレル武器デアル。之ノミニテモ次ノ戰爭ヲ憎ムベキ
モノトスルニ十分デアル。

(筆者ハ佛蘭西小説家、近時國際政治ノ批評家トシ
テ有名、本名ハ ガ、リゲイング、エーケヨリ取
載)

第十七章 日本は同盟か敵か

ドナルド・カーズウエル

二十年前英国政府は日本と同盟を締結シタ。外交政策ノ専門家ノ間ニハ辛蕪ニ認ミナガ、其ノ便宜主義ニ付イテ沢山ノ論争ガアツタ。併シ新聞マ一般公衆ハ多分神託ノ加護ニ依ッテソレヲ喝采シタ而シテ、外務大臣、故フランスダウン卿ノ倡子ニ一因ノ大々ナ報章ニソレヲ披露シタ。

日本ノ盛ハ此ノ時代ニハ非常ニ信頼シタ。画ノ様ナ中世カラ現代文化ノ結テノ恩恵ニ浴シテ居リ、単一時代ヘノ日本ノ出現ハ、且ツ議會政府ノ模倣トシテ居リ、一般兵役義務ト返コシイ海軍ノ実体ヲ備シテ居ル其ノ日本ガ単一時代ヘノ行路ニ突然出現シタノハ西洋世界ヲ驚カシタ。併シ全体ニ於テハ一致シタ感念デハナイ。アメリカ及西改議強口ノ大部分ハ緊ト警戒スヲ持ツテ、日本ノ世界政策ヘノ出現ヲ見テ居タ。ソノ緊ト警戒ハ日清戦争ノ出来事ニ依リ明確ニ表現サレタ。ソシテ又ニ三年後ニ日本ハ挑戦シタノミナラズ極東海岸ノ確保ノ露國ノ平谷計画ヲ明カニ破ツタ時ニ益々彼ノ頭ニ日本ノ緊ト警戒ガ表現サレタノデアツタ。大英帝國ハ独リ、其ノ現状ヲ靜カニ、喝采スラシテ喝采シタノダ、其ノ態度ハ半バセンタ

メンタルデアツタ。特ニ地圖一覽シタ後東洋ノ日本ハ西洋ノ大英帝國ニ類似シテ居ル様ニ見ルノハ容易デアツタ。一少サイガ弱後アル強口ハ近隣ノ大陸ヘノ自己ヲ主張シテガラ、此レハ最モ今ナイロマンズヲモ育シナカッタ重大ナ政策ニ対スル小説ジミタル覆ヒデアツタ。大英帝國ハ考慮スベキ重要ナル東洋ニ利益ヲ持ツテ居タ。而シテ此等ハ新シイ東洋ノ強國ト相談シタキガ最モ善イト云フ事ヲ憶ツテ居タ。昇ル太陽(日本帝國)ノ前ニ暗カニ跪カナイナラバ尊敬スル感謝ノ手段ヲ日本ニ捧ハント決意シタ。ソコデ日英同盟ガ締結シタノダ。

今日試ノ同盟ハ世界大戦後ノ次々ノ顧ミラレナイ取残物トナツテ横ハツテ居ル。日本帝國ハ然リニ然シテアツタ。海軍カマ軍事カデ日本ガ吾々ヲ直接ニ脅カスコトハナク、タトヘ「シンガポール」ノ如キ根據地ガアツタトシテモ、アノ海軍ノ人々ハソレニ付イテハ気持ノヨイモノトハ考ヘナイカラ、彼等ノ唯一ノ相産(不幸ニモ一個ノ重要ナルモノ)莫ハ、シンガポールヲ強大ナ海軍根據地ニスル事ハ、ソレヲ其ノ儘ニシテ残シテ置クヨリ以上ニ危険ニナリハセヌカドウカニアル、日本ノ海軍ノ脅威ハ経済的デアル。一極東ノ市場ニ於イテ西マニ投売スル彼女ノカハ、其ノ力ハ根本的ニハ、生活費ノ昇降ニ安イコトニ帰因スルノデアル。此ノ経済的ナ攻撃ハ支那ニ

於ケル政治的攻勢ト一致シタ。ソシテ原國滿洲ノ建設ニ一生懸命ナル。日本が國際聯盟ト其ノ氣ニテ優シク競争シタ時、日本ハ聯盟ニツマ彈ヲ食ハシテ、其ノ會議カラ引退ガリ而シテ勝手ニシロト云ツタ。而シテ聯盟ハソレニ於イテ日本ヲ夫ラセネバナラナクツタ。此ノ事高ノ下ニ英國民ハ不愉快ナ新シイ國家ニ苦面セネバナラヌト云フ事ヲ認メ始メタ。其ノ新シイ事實ノ性質ハ明瞭ニ理解サレネバナラヌ。多クノ人々ハ今使節ヲ他ノ若クハ代ノ向彼等ニ囁イタノダト云フ事ヲ思ヒ出シテ居ル。彼等ノ忠告ノ荷ガアル。「私ハ日本ヲ信ジナイ」何時デモ余ニ支那ヲ与ヘヨ。支那ハ政變ヲ持ツテ居ル、併シ小クトモ彼ハ根本的ニハ正直デアアル。私ノ經驗ノ行ク限り、此レハ普通ノ英口人ガ現在ニ於テ取ル傾向ノアル方面デアアル。

ソレハ健全ナル方面デアラウカ、又ハ吾人ハ舊情ノ革命ニ依リ又此等ノ非常時ニ依リア生ジタ苦難ニ依リ是ハサレテハ居ナイゲラウカ。其等ノ非常時ハ他人ノ罪ヲ責フ者ヲ懲更スル事ヲ吾人ニ熱心ニサセタノデアアル。一冊ハ英國人ニヨリ一冊ハ英口人ニ依テマ度出版サレタニ冊ノ本ハ少シノ躊躇モナク其ノ傾向ニ答ヘテ居ル。彼等ハ云ふ「此レハ健全ナル方面ではない、而シテ吾人は送テてゐる」ト日本人ハ彼等ガ画イタ(想像シタ)極悪イ政

ヲ持ツテハ居ナイ。ソシテ支那人ハ債權ノ賤奴デアアル。ソレハ「世襲ニ於ケル日本ノ場所」ニ於イテジュリアン、グラント氏ニ依ツテソシテ「暗黒ト著」ニ於ケルラルフトウンセント氏ニ依ツテ、悉クフレタ意見デアアル。ニツノ本ハ補助ノモノデアリ、グラント氏ノ意見ハ徹底的ニ日本賛成デアアル。然ルニタウンセン氏ノ感情ハ最高カラ最下等ヘ、北、南、東、西、ソシテ、時ノ始メカラ現在ヘノ間ノ支那ノ熱心ナル公新狀デアアル。極東ニ於ケル新聞通信員トシテノ彼ノ長イ間ノ經驗ノタメニ、グラント氏ハ蒸シク固ク資格ガアル、吾人ガ彼ガ善ハネバナラヌ事ニ如何ニ不一致デアラウトモ、彼ハ日英同盟ノ衰失ハ出スルダケ速カニ補修サレネバナラヌ一編ノ穴キナ不幸デアツタト云フ事ヲ最モ強調シテ居ル。吾人ハ世襲ニハリノ火山ノ灰塵ハ持タナイカラ、吾々ハ殖民地並進ノ下ニ、反東洋政策ヲ在ホスルコトニ依ツテ日本ノ好意ヲ矢フト彼等ハ主張シテ居ル。英國ハ排外的西洋思想ノ要諦ニ於イテ強イテ政略的ニ看做サナイ。世襲住民ノ四分一ヲ數ヘ、白イ駝島カ又ハ莫ニ言イ西インゲーノドケラガデアアル凡ヲシテ吾ル、總ニル大洋ニ面シテ居ル一帯口ガドンナ正氣ガソコニ有リ得ルカ。英國ハ東ト西ノ向トシテテハナクテ、東ニ於イテ西ニ於イテ、然レノ場所ヲ占有シテ居ル……、長イ間維持シテ居タカ方ノ觀念ハ

「進路を向見ず」当世凡ノ弱イ人ノ政策ハ慢セニ避ケ
シムベキガ。日本ハ一方ニ於テ不均衡ナ不誠實ナ詭ヒ
カラ苦シミ、又平手打ガ西洋ノタメノ一正義カラ極限
……ノタメノ別ノ正義カラ生ジタ機微ナル疑カラ苦シテ
居ル。

各自治領ハ白人移民ヲ拒メネバナラス又ソシテ又英國コロ
ンビヤニ於ケル日本人ノ墾天マ北方クイニランド沖ノ日
本人ノ演説モケリ取算ニツイテノ少ヤイ尙頭ヲサソレ自
身ヲ進ハス事ヲ止メネバナラス。移民ノ最上ノ策尙ニ於
イテ、日本ハ一匹ノ色目ヲ付ケタニシテニ違ギナイ、少
数ノ住民ト非常ニ大キナ領土ヲ持ツテ居ル若イ国民ハ論
争シタ日本ノ危險ヨリモツト恐怖セネバナラス……長
イ尙頭領ハ世襲ノ批評ト嫉妬及び日本ノ注意ノ増ニ依ル
忿怒ヲ遠サケル事ヲ成メネバナラス。

併シオツタマフ政策ハ此ノ齟齬性ノ虚偽ノ不安ヲ殖民地カ
ラ取除イタ。或ル儂口ノ事ヲ論ハ、余リ歪曲セナイ内ニ
彼等ヲバ極ニ誇シタ。

世襲ハ日本ノ目的テハナイガ、併シ最後ニ開放シタ土地
ノ占有者トナルトコロノ目的ヲ持ツテ居ルト云フ様ニ知
リタガルノ一教シナイ。

グラント氏ハ論ジタ、日本トノ新シイ和解ハ困難デハ
ナイカラウ。何ントナレハ英口ハ、少シハ減ジタニシ

シテモ、日本トノ實績ニノ感倍ヲバ享有シテ居ルカラ、
特ニ海軍ノ感カソシテ——グラント氏ハ彼ノ謙者性
ニ、少ヤイ責任ガアルニシテモ——一匹ノ色イ高
尚ナ、昔ノ敵フベキ王將ヲ両口トモ同ジ様ニ有シテ居ル
ノデ、兩國ノ間ニ於テハ或ル精神的ノ同族ガアル。

グラント氏ハ時々、公平ナドハ構ハズニ絶然的ニ激中
スル。彼ガ論ズル時ニハ、口巧者ト云フヨリモ熱心ニ論
ズル。

日本ノ残忍ナル経済政策ハ、目的ニ依ツテ激惹ハナイ、
併シナガラ、内ノ落下ニ加フルニ、日本ニ於ケル生活ノ
底イ、コーストノ避ケ得ラレナイ結果デアル。

支那ニ於ケル日本ノ攻勢ハ如何。グラント氏ハ法外ナ
重イ島帝国ノ住民ヘノ圧迫ノ避ケ得ラレナイ事實ヲバ、
指適シテ居ル。其ノ島帝国ノ住民ヘノ圧迫ハ避ケ得ラ
レナイ拡張政策ガセシメルノデアル。

併シ滿洲ニ於ケル日本ノ行動及び國際聯盟ノ日本ニ對シ
テノ侮辱ノ皮肉ナ現實ニ對シテ言訳モナイノハ同様ニ、
十九百十五年ノ有名ナル「要約」ニ對スル言訳ガナイノト同
ジデアル。

日支紛争ニ對スル國際聯盟ノ干渉ハ、險惡ナ大失敗デア
ツタ。

若シ國際聯盟が、其ノ同盟ヲ唯一ツノ嚴肅ニ残シテ居タ
ラ、ソレハ論外サレル。

其ノ意欲ハ速カ條約ニ基テアラウ。併シナガラ「グラ
ント」氏ノ申込ノ唯一ノ證據ハ支那ノ教授ニ依ツテ敗年
假ニ為サレタ注意ガアル。

ダガ「グラント」氏デスマス、日本ハモット如オノナ
イ地位ヲ把握シタカモ知レナカツタト認ムルノハ無理
デアル。

明カナ無理ハ、全事件ガ想シクモマダ不手際デアツタ
トイフ事デアツタ。「レイトン」委員ノ財政ニ関スルト
コロノ激烈ナル議論ハ、日本ニヨリテ首テラレタ不知ノ
滿洲ノ發生ニ一致シテ居ル。例ヘ其ノ産科病院ニ多少
ノ疑問ガアツタトシテモ。

ゼネバーノ政治家ハ如何ナル犠牲ヲ拂ツテモ、其ノ幼
児(滿洲国)ヲ否認スル「ワシントン」カラノ断絶タル
命令ガ未ダ事ニ当面シタ。ソノ向ニ於テ日本軍隊ハ、
支那ノ万里ノ長城ニ遠征討伐ニ従事シテ居ツタノデアル。
而シテ不意ニ、幼帝國ノ王座ニ *jehel* ト他ノ大事ナ
物ヲ加ヘテ居タ。

親亂ハ更ニ荒廢ヲシテ村クノデアラウカ、西ノ國ニ賦
責ヲ正当ニ認ムルニ逼ヤナイノデアラウカ、
新シイ武器ヲ持ツテ居ル、其ノ取扱ヒニ於テ、舊イ帝

國ノ力ニハ外交術ノ不可解ナル缺欠、及び其ノ帝國ノ後
進ナ同盟ノ取扱ヒニ於テソノ武器ノ指揮者ノ力ニ短欠
ト同情ノ不可解ナル缺欠(ガアツタノデハナカラウカ)

若シモ「予言」ガソレヲ告ハナカツタニシテモ、人ハ
「暗黒デアアル道」ノ若者ハ若者デアルト云フコトガ容易
ニ想像スルコトガ出来る。

彼ハ、三十三才デ上海ニ於テアメリカ合衆國副領事ノ
職務ヲ三年ノ間、支那ニ居タコトガ、唯一ノ経験デアル。
彼ノ経験ニヨレバ、支那人ハ世間ニ於ケル最モ残酷ナ、
ソシテ最モ欺キマスキ馬鹿者デアル。ソシテ、無益ナル
愚蒙デアル。彼ハ虚言者デアル、其ノ虚言者ハ彼ガ、
虚言ヲバ利用スル基礎ノ價値ヲスラモ得ナイ。
併シ彼ハソレヲ好ムカ、及び眞實ガ彼ニハナイタメニ
虚言ヲ言フノデアル。

彼ハ竊賊トナレル盜賊デアル。彼ハ非難ニ巧イ、(
決ツシテ、明瞭ニ彼ノ品物ヲバ「セロハン」ニ包マナイ
)、彼ハ感謝スルコトヲ知ラナイ、彼ハ頑固デ、臆病ナ
大食ナ、ソシテ、好色者デアル。

タウンセント氏ハ彼等ガ支那人ト比較スルタメニ如何ニ
好都合カ、及び滿洲人カ、拜黨ニ有能ナ一民族ノ振動
ノ下ニ屈伏シタ、ハ如何ニ幸運デアルカラ云ハンカタメ
ニ唯不意ニ日本ヲ遊ベタノデアル。

併し彼ハ日本ヲ善ク知ツテ居ル様ニ思ハレナイ。
 又ハ其ノ向來ノタメニ支那人以外ノ東洋ノ、或ル國ハ、
 亦彼ハ中華民口人ノ體裁ノ様ノ話ヲ和ラゲタカモ知レナ
 イ。
 誠ニ吾人ハ屢々如何ニ未知ノ幸福ノ爲ニ於イテ「タウン
 センド」因ガ、「劬」マサレタト云フコトヲ不思義ニ思
 フノデアル。
 句ントナレバ、彼ノ最モ親シイ懐敵ヲバ刺戟スルトコロ
 ノ或ル支那ノ特色ハ過カニ、西ノ「スエズ」附近ニ行ツ
 タコトノナイ吾々ノ大部分ニトツテハ不愉快ニモ、善ク
 解ツテ居ル様ニ思ハレルカラデアル。
 併シアガラ、彼ハ非常ニ善ク善イテ居リ面白イ例証ヲバ
 天山ニ持ツテ居テ、或ノ中ニハ彼ノ子供ラシイ衝戟ニ因
 シテ何ニカ非難ニ興味ヲ引ク物ガアル。

ジヨン、オロドン、ウイクリー一語ヨリ取載、
 著者ハ前ニ ロンドンタイムスノ記者デアツタ、
 彼ハ日本ビイキノ二冊ノ本ヲ此処デ評論シタ、

第九章 單語

to keep peace with the time ... 時勢ト共ニ進ム。
keep the peace ----- 和平ヲ言サヌ。
tip ----- ソツト知ラセル。
down to date — *up to date* 現時迄ニ。
shake up 振スツテ直ス。
play ----- 戯曲。 *break away* --- 脱奔スル。
love-making --- 恋愛。 *revelation* --- 啓示。
plot ----- 脚色。 *depressions* --- 本題ヲ離レテ枝葉ニ涉ルコト。
commentator --- 評註者。
sifted - out the best --- 揀抜スル。 スゲル。
for the rest --- アトハ。
subservience --- 補助ノ、阿諛。
evasive --- ツカマイ所ノナイ。

第十章 單語

beast ----- 汚ナイ。 兇惡ナル。
to dine out --- 餘所ニ招カレテ食事ヲスル事。
mackintosh --- 雨衣。 *to gulp down* --- ゲイト呑ム。
find fiendish --- 惡魔ノ如キ。
The palisade --- ハドソン河ノ下流西洋ノ断崖。
ridiculous folly --- 愚鹿ゲタ愚行。
basking --- 日向ボコリヲスルコト。

covort = 跳心廻ル。
 every man jack = 各自、誰モ彼モ者。
 unadultered = 純粋)。 prickings = 刺り立ラル。
 psychoanalysis = 精神分析。
 drunkard = 大酒家。 dyspeptics = 胃弱ノ人。
 ultra-stimulating = 早急ノ刺激。
 breathlessness = 氣
 phantasmagoria = 幻影
 Elgin = 本名ハ Thomas Bruce、英口ノ外交家、希臘彫刻術ヲ蒐集スル。
 Elgin Marbles 卜称シテ英口博物館ニ保存セラル。
 steppes = 野原
 the slow-witted = 遅鈍ノ氣取ナル。
 law-abiding = 法律ノ系統ナル。
 gleam = 閃光。 humor = 氣取。或。
 tough = 硬キ。 souly = 心ノ硬カナル。
 mediterranean seaboard = 地中海ノ海岸。
 polyglot = 数カ国ノ言語ヲ諳ス。
 back = 戻差シテシタ。
 impulse = 衝動。 heave up = 差キエゲル。
 dense = 稠密。 prairie = 大草原。
 gulf-stream = 湾流 (メキシコ湾ニ) 北東流シテ英國近海ニ至ル暖流。
 over-saturation = 飽和以上。

第十三章 軍語

Fabius - n quintus, ~ Maximus Verrucosus,
 ローマノ將軍ニシテ、政治家、ファビウス將軍ハ文戦ヲ避
 ケテ持久策ヲ取ツテ勝ヲ制スル。將々石ハファビウス將
 軍ノ戦術ヲ模倣シタモノト見タノデナル。
 cunctator = 緩慢ナル人。 Idan = 漢、蘇朝。
 Taiping rebellion = 太平朝ノ乱 (1850-1860)
 Boder ----- 土國。
 Predestination = 宿命。
 spring of action = 行動ノ彈力。
 forerunner = 先駆者。
 pre-occupation = 一心不似、患心。
 war-chest = 軍費資金。 substantial sum = 相当ノ額。
 chess-board = 將棋盤。
 so far = thus far = 今迄ハ。 helm = 船機。

第十四章 軍語

sign away rights or titles = 権利ナドヲ証文ニ書イテ
 譲ツテシマフ。
 sentimental points of view = 感情的ノ見解。
 be all = 終局。
 That but blow might be the be-all and
 end-all here = 此ノ一撃ヲ万軍終局スルモノナラバ。

hinterland = 海岸。
 expansionist = 領土拡張論者。
 Valedictory articles = 別レヲ惜シム表面ノ論説。
 Hermit Kingdom = 世双舞台ヲヲ隠進シテ居ル王国。
 第十五章 譯 語
 formulate = 簡潔ニ述ベル。
 give rise to = ...ヲ生ズ。...ヲ惹起ス。
 strategic region = 戦略地帯。 ward off = 防ケ止ス。
 turn out = 産出スル。 czarism = 専制政府。
 buffer state = 中隔国。
 accredit = 信任状ヲ授ケテ承認シタ。
 transpire = 漏洩スル。
 urga = ウルガ(座輪)蒙古ノ古稱。
 John hay = 米国ノ政治家
 Sinkiang = 新疆。 bandit = 盗賊。
 on the part of = (誰)ノ方ノ意味ニヨリ動詞ヲ抽象名詞ニ対スル主格
 関係ノ(誰某)代ツテ。
 state of affairs = 天下ノ形勢。 in view of = ...ヲ以ツテ。
 hayti = haiti = ハイチ、西印度諸島中ノ地名
 Non-member state = 仲隔外レノ国、(独乙ヲ意味スル)
 Task master = 重ノ親方。
 under-secretary of state = 國務次官。
 arbitration = 仲裁裁判。

Chapultepec = メキシコ市南西部ノ要塞アル小山 1847年 =
 米國軍ニヨリ占領セラル。
 Court martial = 軍法会議。
 due course (or process of law) (法律上) 盡スベキ手続。
 to put up a job (on one) 人ヲガマス手続ヲ講ズル。
 arsonal = 陸軍。 pinprick = 坐鍼(車ヲツキカラス)
 gooding = 刺戟ス。 derogatory = 有辱ナル。
 第十七章 譯 語
 acclamation = 喝采ス。
 Russia's grandiose scheme = 露國ノ中谷政策。
 cataclysm = 洪水。(歐洲大戰ノ激変)
 debris = 残骸物。 post-war = 世戰大戦後ノ。
 scapegoats = 他人ノ罪ヲ負フ者。 cut and out = 全ク。
 out and out pro-japanese = 徹底的ノ日本心儀。
 whole-hearted indictment = 熱心ナル公訴状。
 peal diners = 眞珠ノセグリ取り。
 to turn away = 逃ガケテ。
 partisanshp = 黨派ニ献身熱中セル。
 at the expense of = ...ヲ構ハズ。
 out-throat = 残忍ナル。 extra-ordinarily = 法外ナリ。
 He can not effect the impossible, any more than
 we can = 彼ニ不可能ナ事、出来ナイハ我々ニ出来ナイト同シ。
 — 下巻 終り —

昭和十二年十二月十四日印刷

昭和十二年十二月十四日発行

発行所 白 星 會
神田区駿河台三丁目六番地

印刷所 竹 内 騰 場 堂
本郷区湯島四丁目四番地

特214

858

終